

中小企業の知財出願状況

平成27年7月8日

総務部普及支援課

目 次

1. 概観
2. 特許関連
3. 実用新案関連
4. 意匠関連
5. 商標関連
6. 国際出願関連

※使用している統計データは、特記しない限り筆頭出願人の情報に基づいている。
なお、一部のスライドは2013年までの実績を使用。

1. 概観

(1) 2014年の中小企業の国内出願状況 (p5-8)

- ①特許：中小企業の出願は2011年以降反転。出願件数に占める中小企業の割合は約13%に上昇（2013年は約12%）。
- ②意匠：中小企業の国内意匠登録出願は、2008年以降、多少の増減を繰り返しながら、ほぼ横ばいで推移（全出願と同様の傾向）。出願件数に占める中小企業の割合は約34%（2013年は約36%）。
- ③商標：中小企業の国内商標登録出願も、2008年以降、多少の増減を繰り返しながら、ほぼ横ばいで推移（全出願と同様の傾向）。中小企業の出願件数についても同様の傾向。出願件数に占める中小企業の割合は約50%（2013年は約53%）。

※なお、件数ではなく、出願者数でみた場合、2014年の内国人の出願者数に占める中小企業の比率は、

①特許で59%、②意匠で58%、③商標64%であり、いずれも50%を超えている。

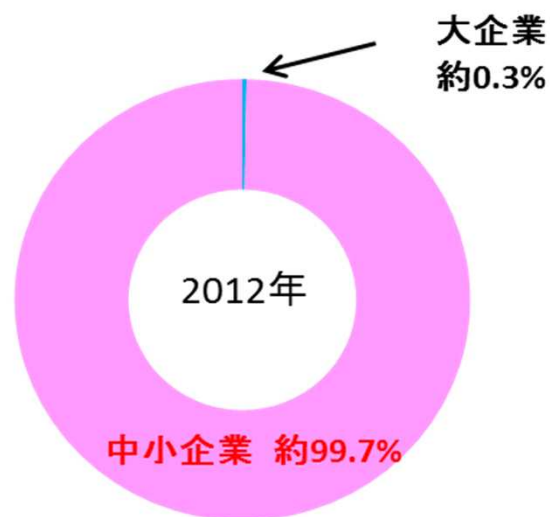
(2) 中小企業の海外出願件数及び海外出願率（海外出願件数／国内出願件数） (p9-10)

- ①特許：中小企業の海外出願件数は2009年以降増加傾向。海外出願率については、中小企業では16%程度と、大企業の30%程度に比べて、まだ低い状況。
- ②商標：（全体の傾向と同様に）中小企業の海外出願件数は増減あり。海外出願率については、中小企業では約3%と、大企業の約7%強と比べるとまだ低い状況。

(1) 中小企業の出願～概要(特許)～

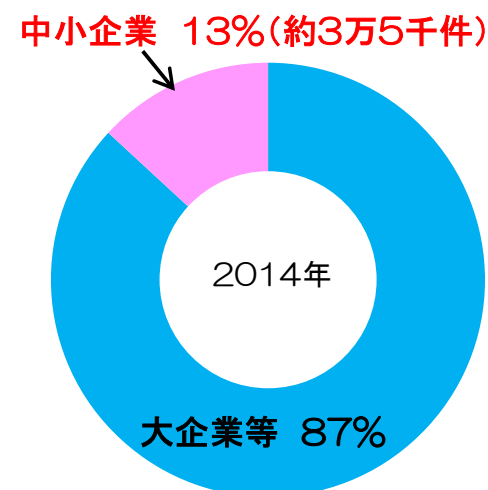
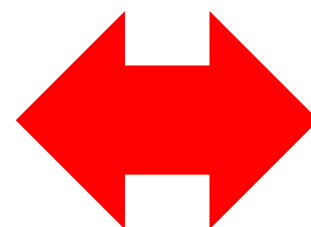
- 日本の中小企業数は、およそ385 万社と全企業数の99.7%以上を占め、イノベーションを促進させる上で中小企業の果たす役割は大きい。
- しかし、2014 年の内国人の特許出願件数に占める中小企業の割合は13%にすぎないが、2013年の約12%に比して上昇している。

【企業数、特許出願件数に占める中小企業の割合】



全企業数 約386万社

中小企業白書2015年版付属統計資料



内国人による特許出願件数 約27万件

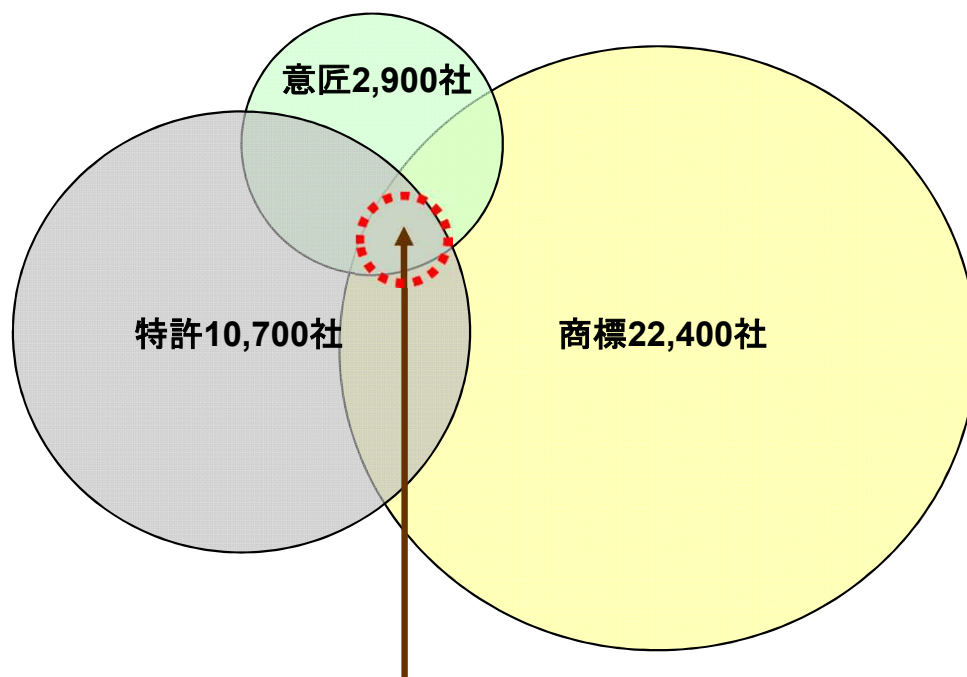
総務部普及支援課調べ

(2) 中小企業の出願～法区分別出願企業数の比較～

- 2014年の中小企業の出願者を法区分で見ると、特許が約1.1万社、意匠が約0.3万社、商標が約2.2万社となっており、重複を除いた中小企業数は、約3.3万社。内国出願全ての企業数（5.3万社）の61%が中小企業となっている。
- 中小企業は大企業に比べて特許、意匠、商標のみの単法区分で出願する傾向が強く、3つの法区分全てに出願している中小企業は2%に過ぎない（大企業は16%）。

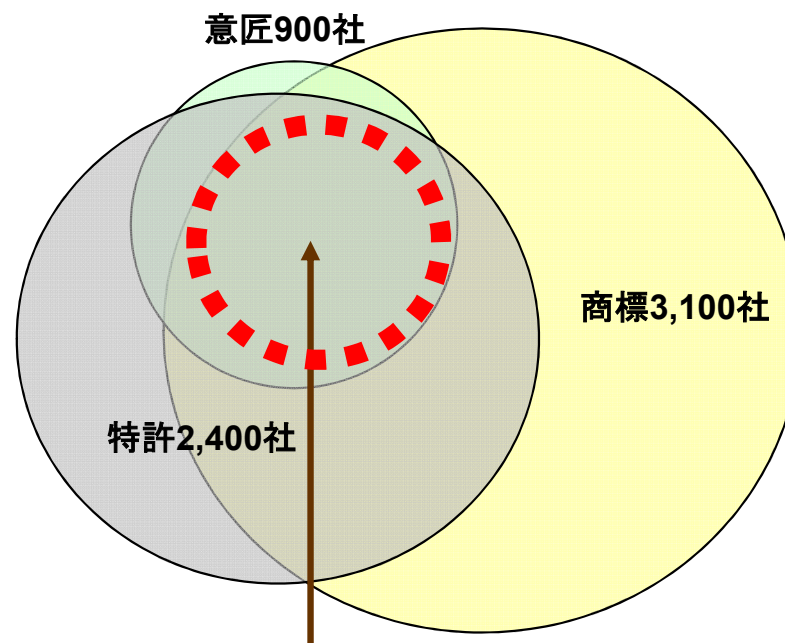
【中小企業】

（重複を除いた中小企業数：約3.3万社）



特許・意匠・商標全てに出願した中小企業は2%

【大企業】

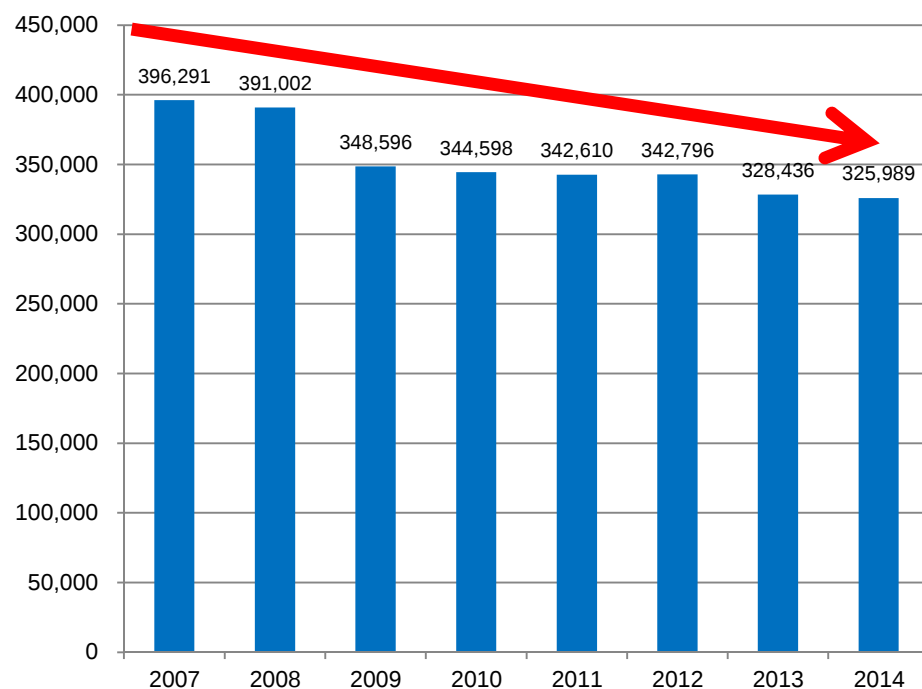


特許・意匠・商標全てに出願した大企業は16%

(3) 中小企業の出願～特許出願件数の推移～

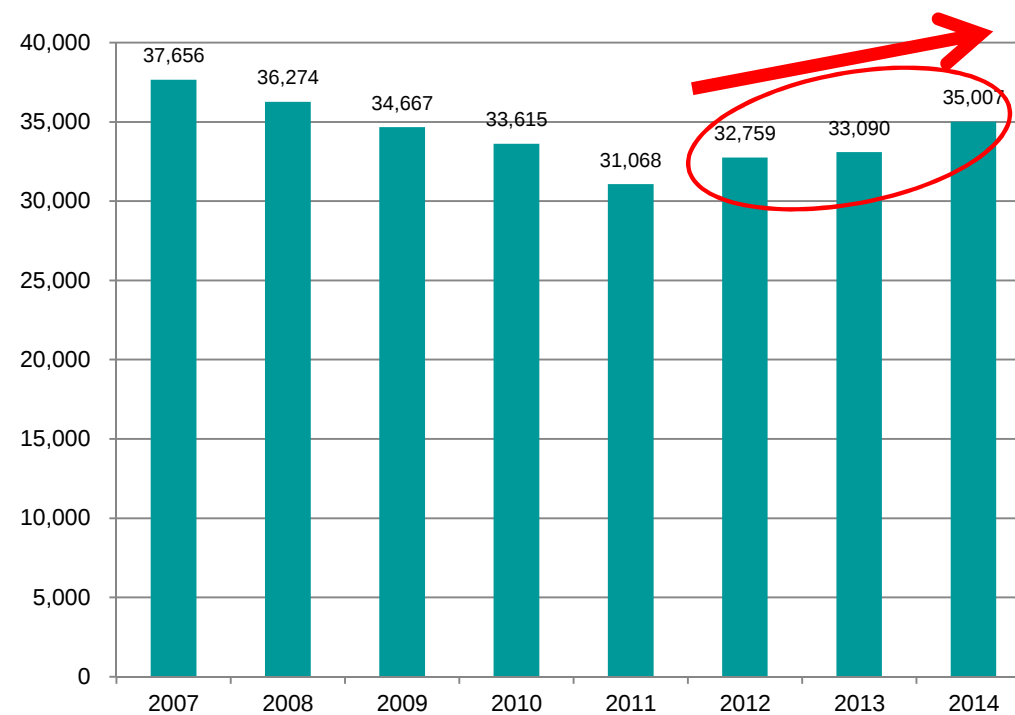
- 国内の特許出願件数は、全体では2007年以降漸減傾向にある。
- しかし、中小企業による特許出願は、2011年以降は反転している。

特許出願件数(全体)の推移



特許行政年次報告書2015年版（特許庁）

中小企業による特許出願件数の推移

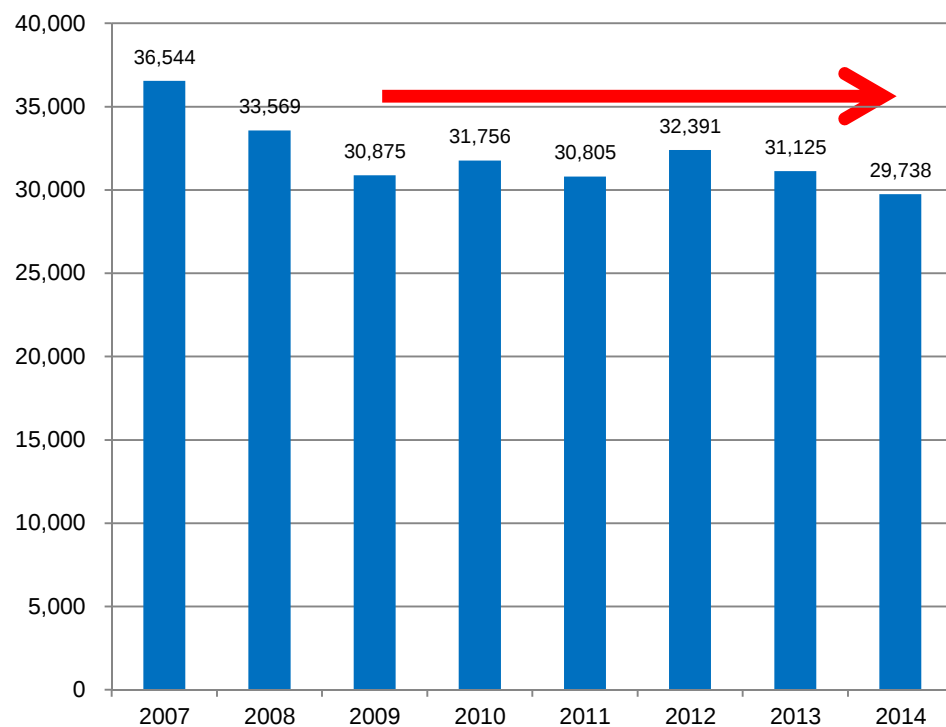


総務部普及支援課調べ

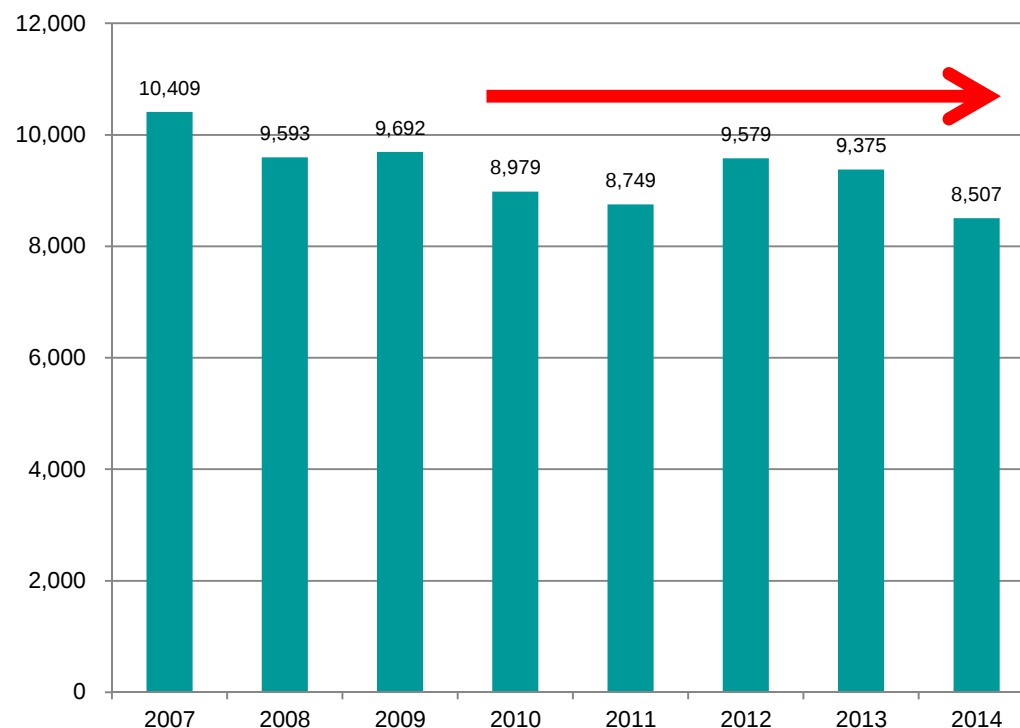
(4) 中小企業の出願～意匠出願件数の推移～

■ 国内の意匠登録出願件数は、2008年以降、多少の増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移。中小企業による出願件数についても同様の傾向となっている。

意匠出願件数(全体)の推移



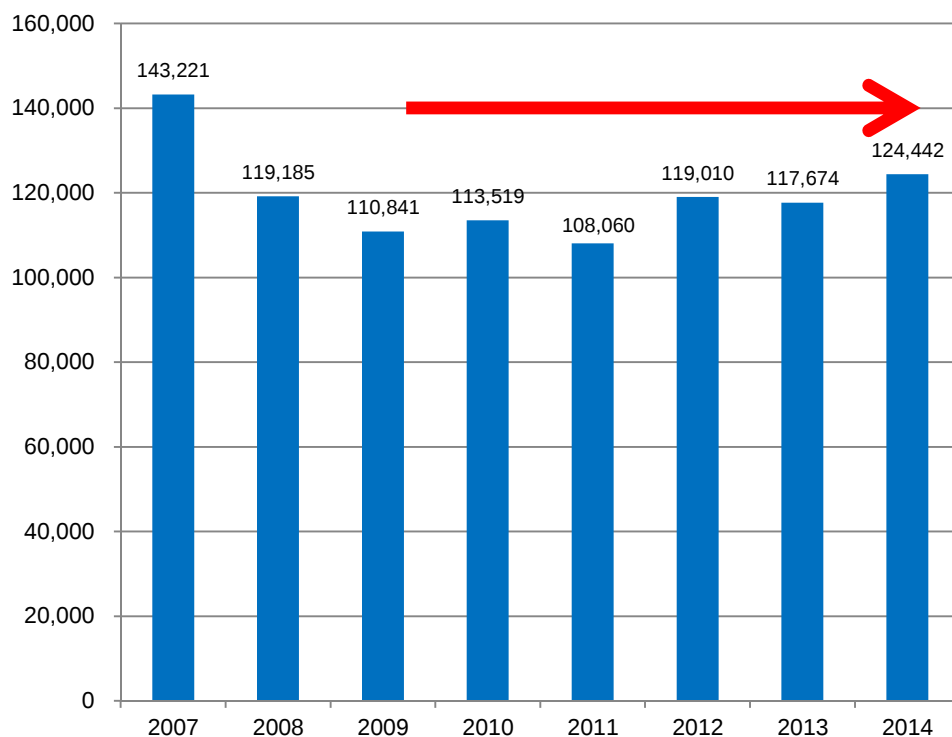
中小企業による意匠出願件数の推移



(5) 中小企業の出願～商標出願件数の推移～

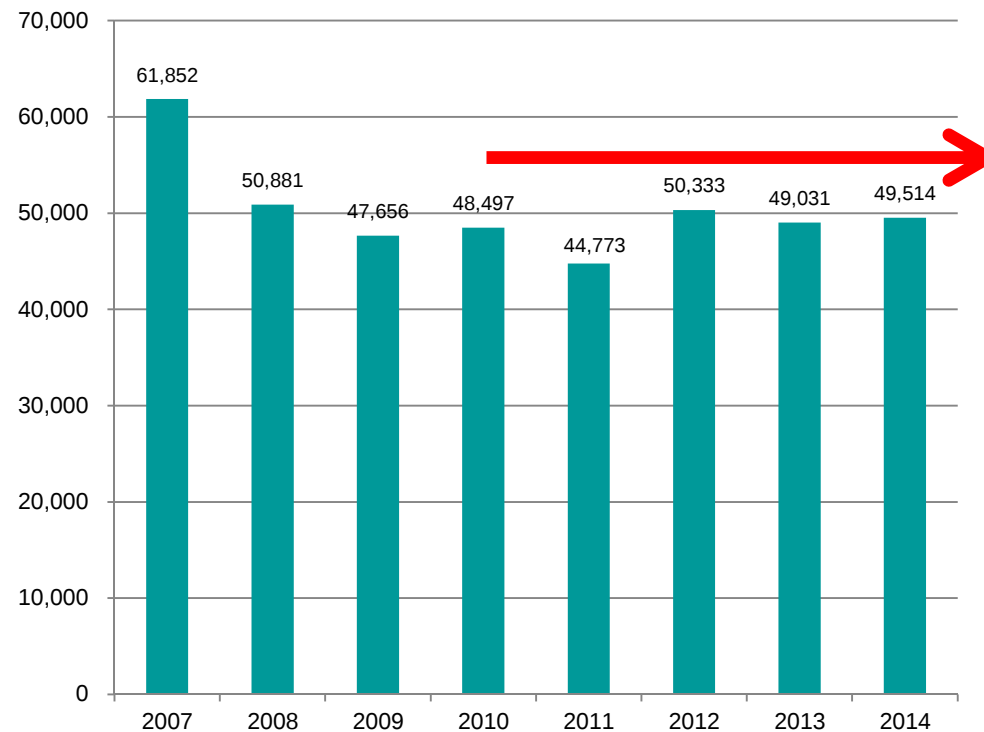
- 国内の商標登録出願件数も、全体では2008年以降、多少の増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移。
- 中小企業による出願件数についても同様の傾向となっている。

商標出願件数(全体)の推移



特許行政年次報告書2015年版（特許庁）

中小企業による商標出願件数の推移

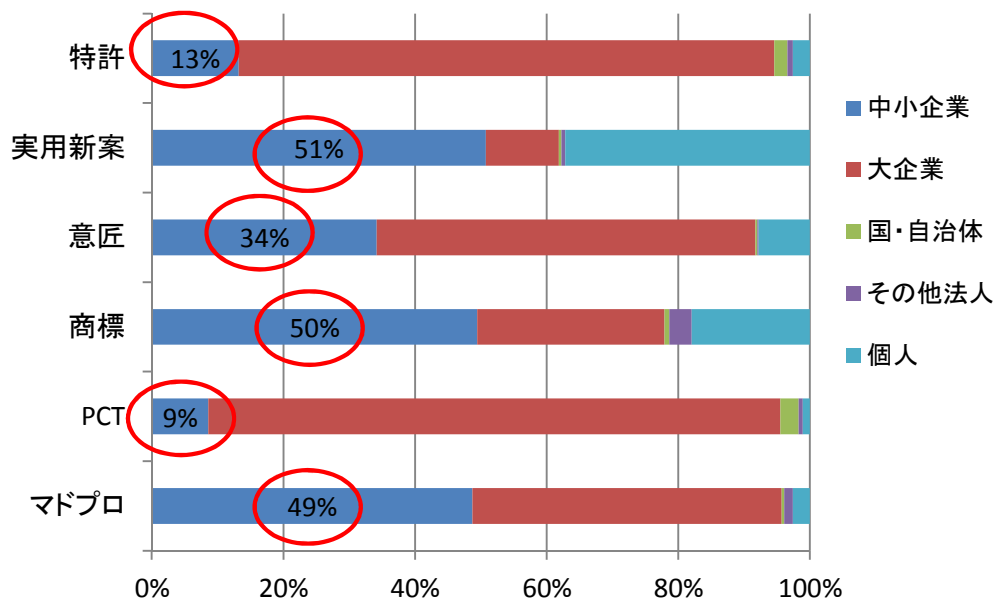


総務部普及支援課調べ

(6) 中小企業の出願～出願人属性別比率～

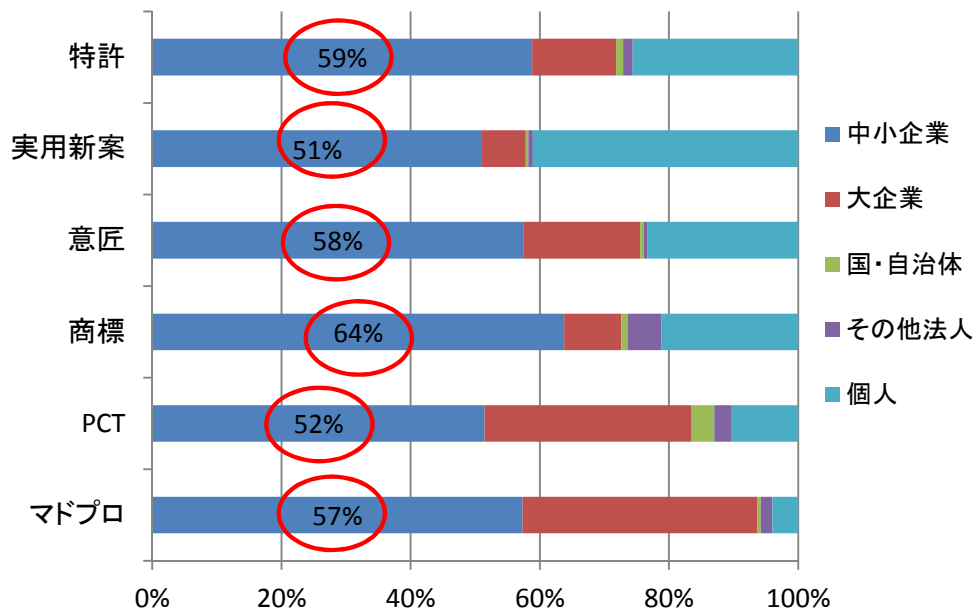
- 内国人に占める中小企業の特許出願は、出願件数で見れば13%にすぎないが、出願者数で見ると59%を占めている。
- 他方、中小企業の意匠出願、商標出願を見ると意匠が34%（件数）、58%（者数）、商標が50%（件数）、64%（人数）と、中小企業の占める割合が特許出願よりも高くなっている。
- PCT出願では、出願件数で9%、出願者数で52%となっていることに比し、商標マドプロ出願では出願件数で49%、出願者数で57%を占め、商標の国際出願においては、件数・者数の両方で中小企業の占める割合が大きい。

出願件数比率(2014年出願)



総務部普及支援課調べ

出願比率(人数:2014年)



総務部普及支援課調べ

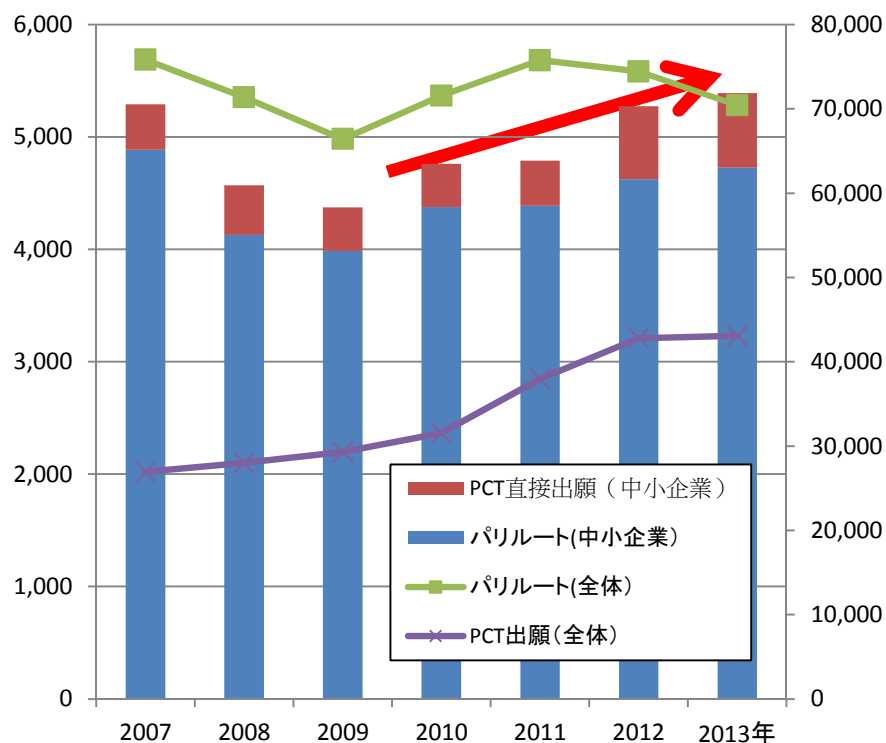
PCT出願：受理官庁としての日本国特許庁に出願された、特許協力条約（PCT）に基づく特許の国際出願

商標マドプロ出願：本国官庁としての日本国特許庁に出願された、マドリッド協定議定書に基づく商標の国際出願

(7) 中小企業の国際出願～日本から海外に出願される特許～

- （全体の傾向と同様に）中小企業による特許の海外出願件数は、2009年以降増加傾向にある。
- しかし、海外出願率については、中小企業では16%程度と、大企業の海外出願率の30%程度に比べてまだ低い状況にある。

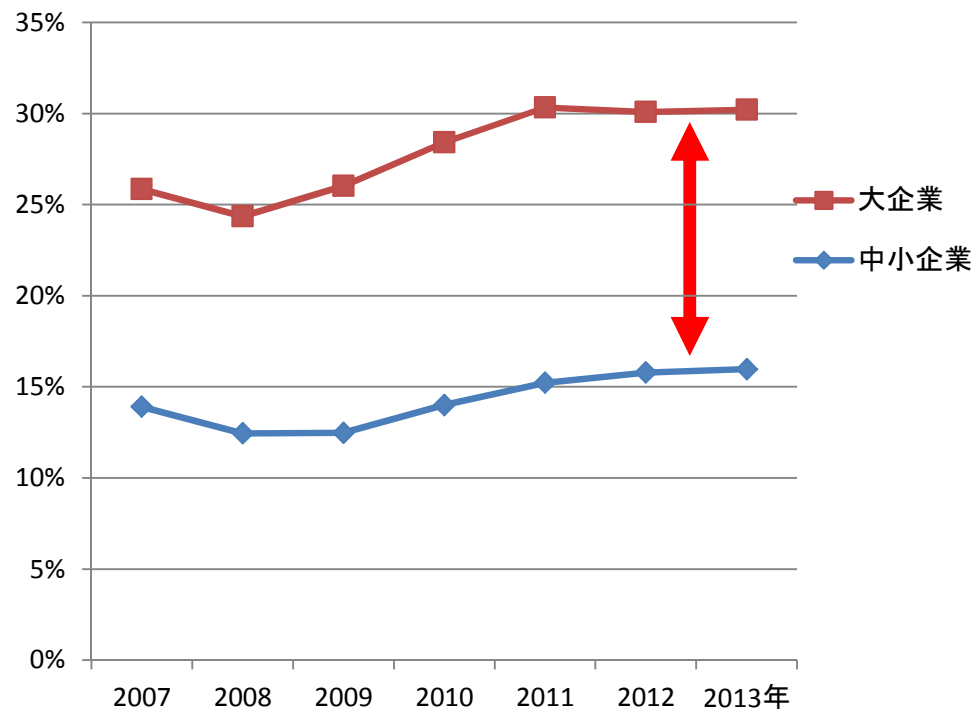
中小企業の海外出願件数(特許)※



※国内へ出願される特許出願のうち外国にも出願される件数。
特許庁で把握できない外国に直接出願された件数を含んだものではなく、日本企業による海外全ての出願件数を意味しない。

総務部普及支援課調べ

特許の海外出願比率※



※海外出願率=（優先権請求件数+PCT直接出願）/（国内出願+PCT直接出願）

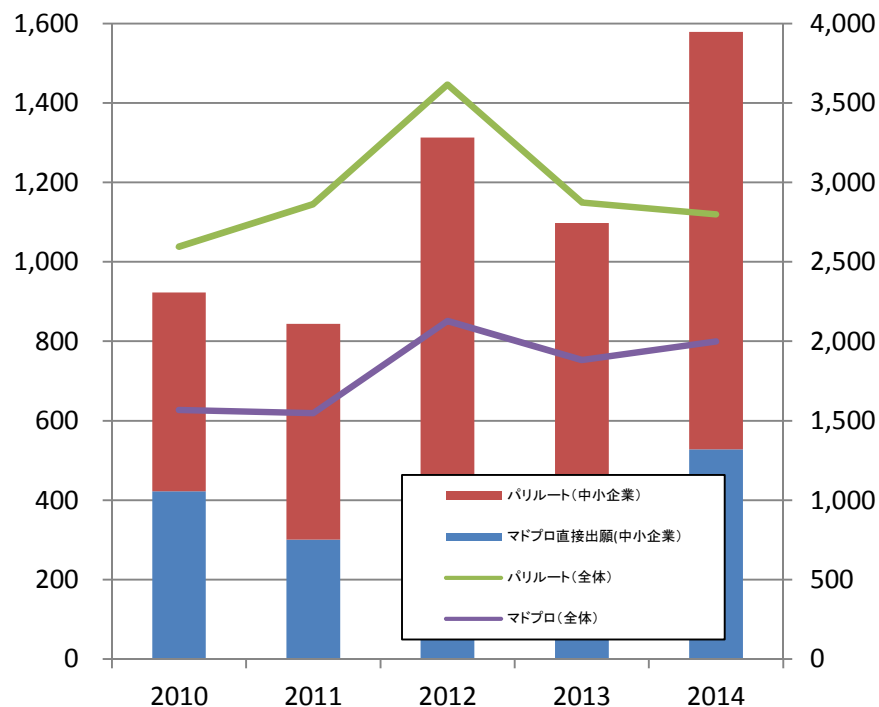
PCT直接出願：国際出願の受理官庁としての日本国特許庁に出願されたPCT出願のうち、国内出願に基づかない出願

総務部普及支援課調べ

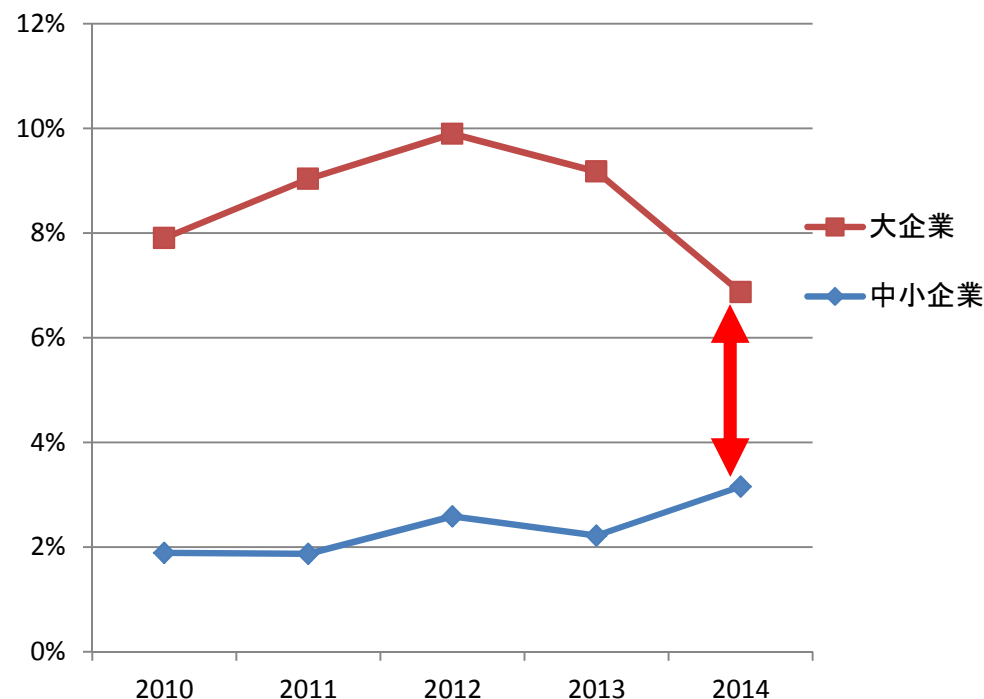
(8) 中小企業の国際出願～日本から海外に出願される商標～

- （全体の傾向と同様に）中小企業による商標の海外出願件数は増減がある。
- しかし、海外出願率については、中小企業では3%程度と、大企業の海外出願率の7%程度に比べるとまだ低い状況にある。

中小企業の海外出願件数(商標)※



商標の海外出願率※



※国内へ出願される商標出願のうち外国にも出願される件数。
特許庁で把握できない外国に直接出願された件数を含んだものではなく、日本企業による海外全ての出願件数を意味しない。
特に商標の場合、現地語での出願ニーズ等を踏まえると外国に直接出願される件数もかなり多いと推測される。

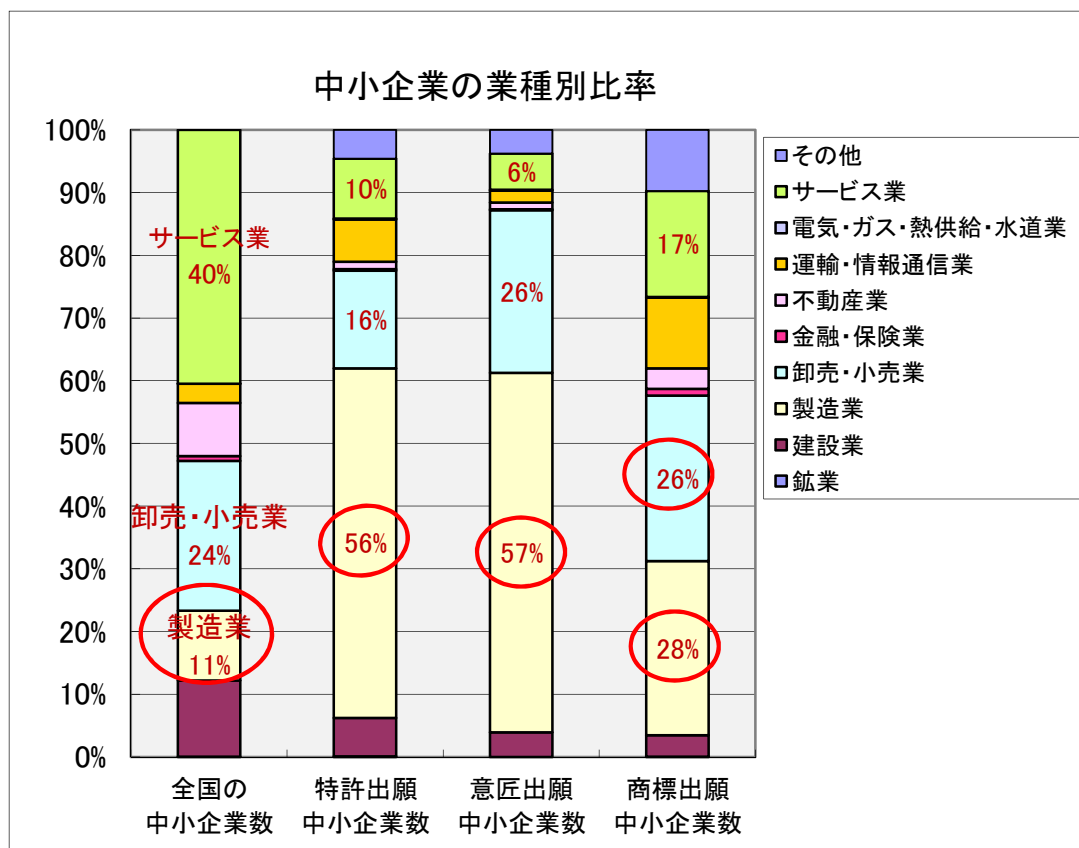
※海外出願率=（優先権請求件数+商標マドプロ直接出願）/（国内出願+商標マドプロ直接出願）

商標マドプロ直接出願：商標マドプロ出願のうち優先権主張を伴わない出願

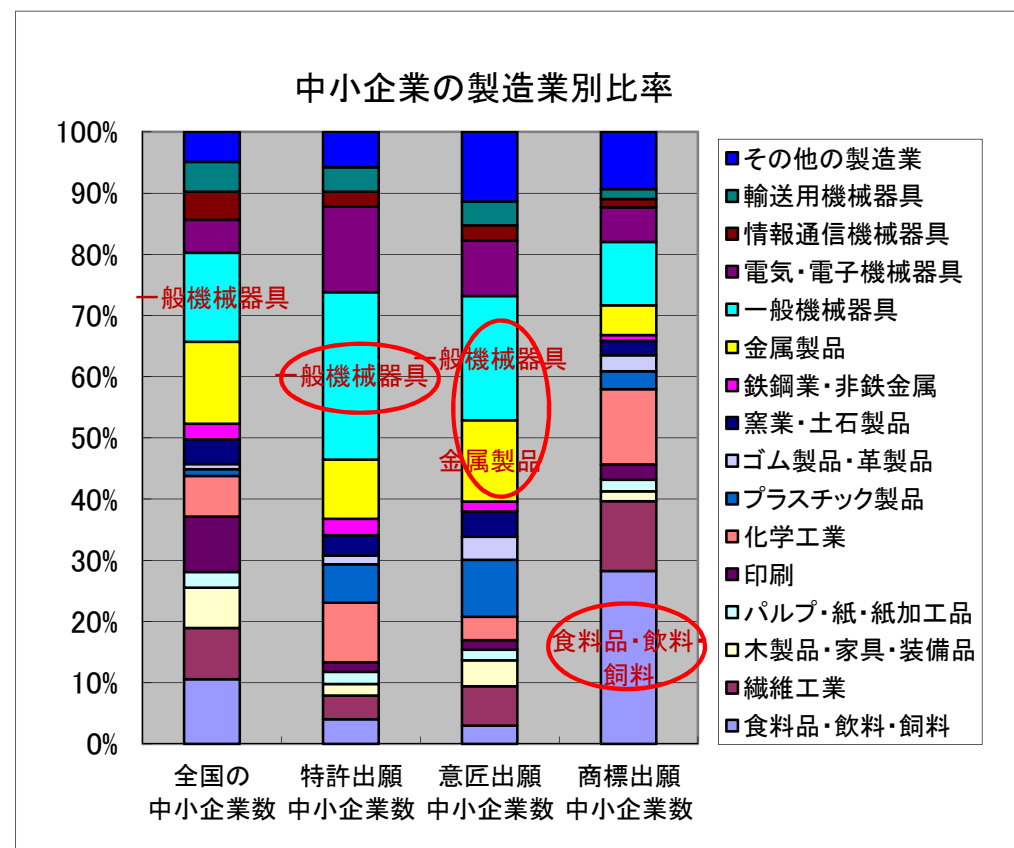
(9) 中小企業の出願～業種別比率～

- 2014年に特許・意匠・商標を出願した中小企業数について、業種別に比較すると、全国の中小企業全体の11%を占める「製造業」による特許出願が56%、意匠出願が57%、商標出願では28%を占めている。
- さらに製造業を分類別にみていくと（右図）、特許出願では一般機械器具製造業（29%）、意匠出願では一般機械器具製造業（20%）と金属製品製造業（13%）、商標出願では食料品・飲料・飼料製造業（28%）の比率が高い。

【業種別】



【製造業別】



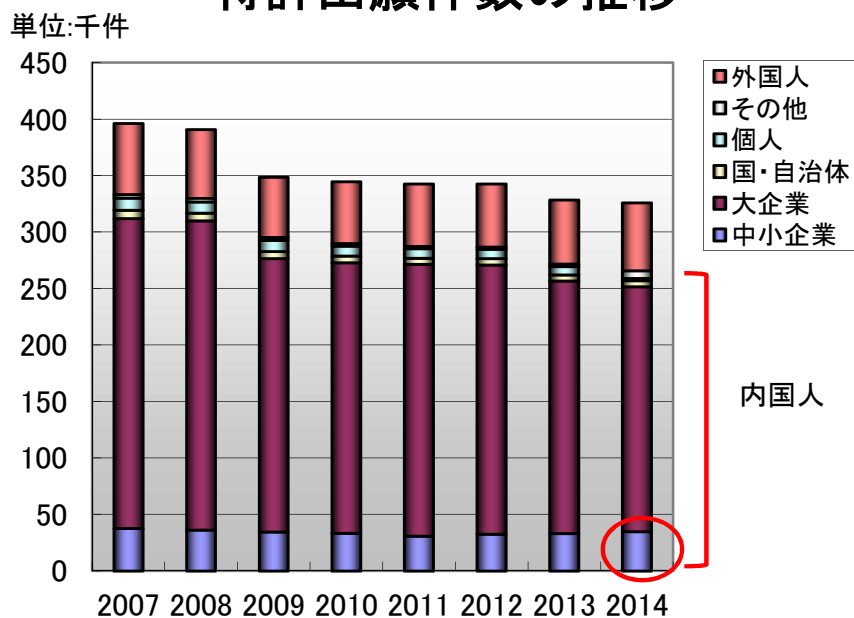
2. 特許関連

- | | | | |
|----------------|--------------|----------------|-------------------|
| (1) 中小企業の特許出願 | ～出願件数～ | (13) 中小企業の特許出願 | ～IPC別件数～ |
| (2) 中小企業の特許出願 | ～出願者数～ | (14) 中小企業の特許出願 | ～都道府県別件数～ |
| (3) 中小企業の特許出願 | ～1社あたりの出願件数～ | (15) 中小企業の特許出願 | ～都道府県別比率～ |
| (4) 中小企業の特許出願 | ～売上高別件数～ | (16) 中小企業の特許出願 | ～都道府県別伸び率～ |
| (5) 中小企業の特許出願 | ～売上高別企業数～ | (17) 中小企業の特許出願 | ～都道府県別技術分野構成～ |
| (6) 中小企業の特許出願 | ～従業員数別企業数～ | (18) 中小企業の特許出願 | ～単独出願と共同出願～ |
| (7) 中小企業の特許出願 | ～従業員規模別～ | (19) 中小企業の特許出願 | ～共同出願（親の場合）～ |
| (8) 中小企業の特許出願 | ～業種別件数～ | (20) 中小企業の特許出願 | ～共同出願（子の場合）～ |
| (9) 中小企業の特許出願 | ～業種別企業数～ | (21) 中小企業の特許出願 | ～共同出願の組合せ（都道府県別）～ |
| (10) 中小企業の特許出願 | ～製造業別件数～ | (22) 中小企業の特許出願 | ～中小出願者数と中小企業数の関係～ |
| (11) 中小企業の特許出願 | ～製造業別企業数～ | (23) 中小企業の特許出願 | ～出願者数と技術者数の関係～ |
| (12) 中小企業の特許出願 | ～製造業別件数推移～ | (24) 中小企業の特許出願 | ～出願者数と県内総生産の関係～ |

(1) 中小企業の特許出願～出願件数～

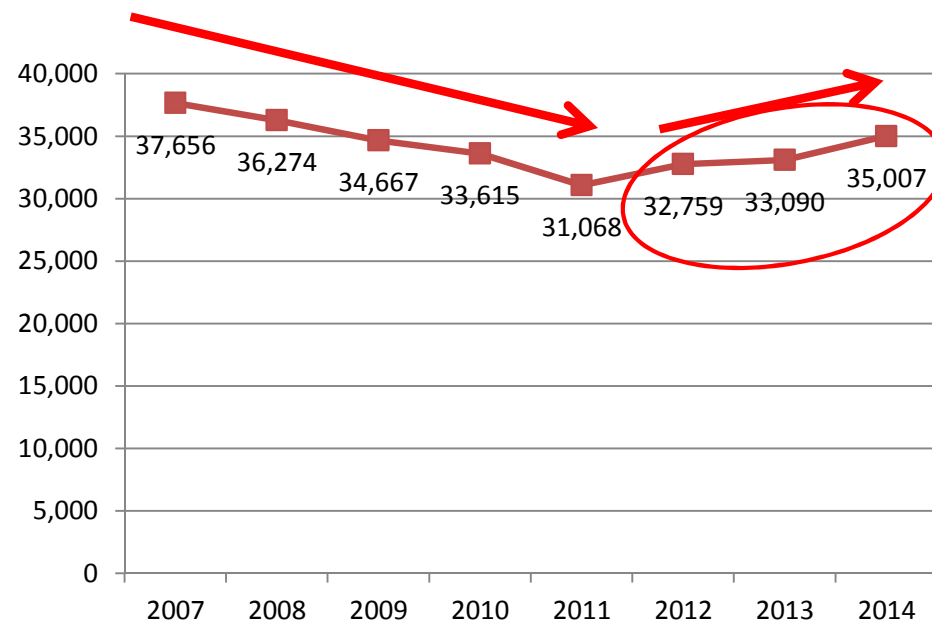
- 直近5年の年間特許出願件数（全体）は33万～35万件で推移。そのうち、外国人を除いた内国人に占める中小企業の出願比率は、11%～13%で推移（2014年は13.2%）。
- 2014年の特許出願件数（全体）は対前年比0.7%減。内国人出願に限ると対前年比2.1%減。
- しかし、中小企業に限ってみると【右図】、対前年比では5.8%増となっており、2011年以降、反転傾向がみられる（大企業は対前年比3.2%減）。

特許出願件数の推移



総務部普及支援課調べ

中小企業の特許出願推移(件数)

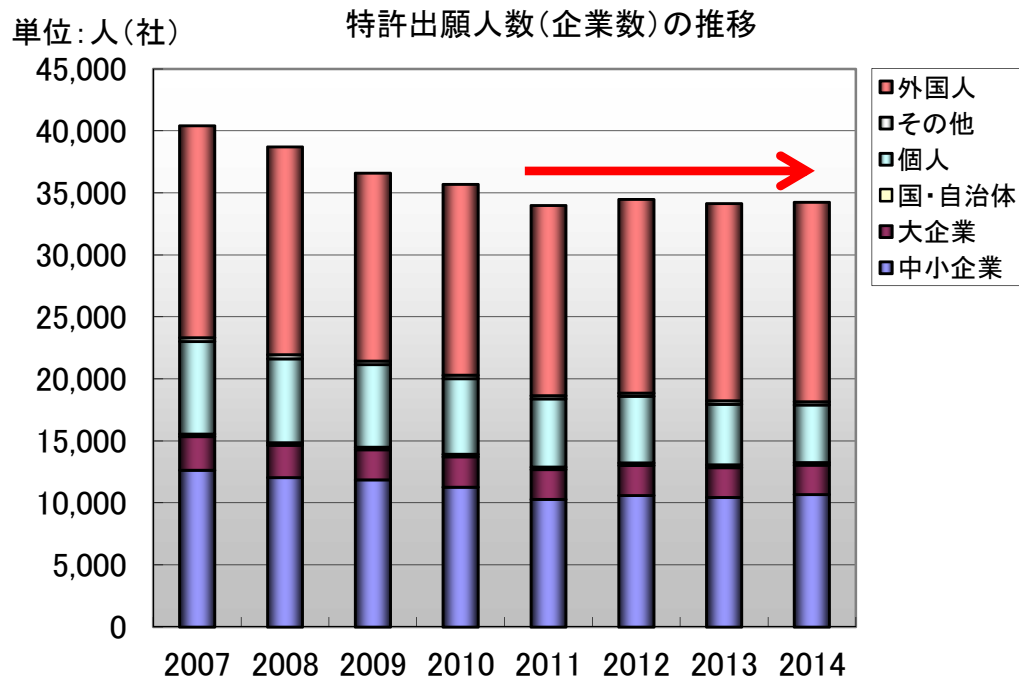


総務部普及支援課調べ

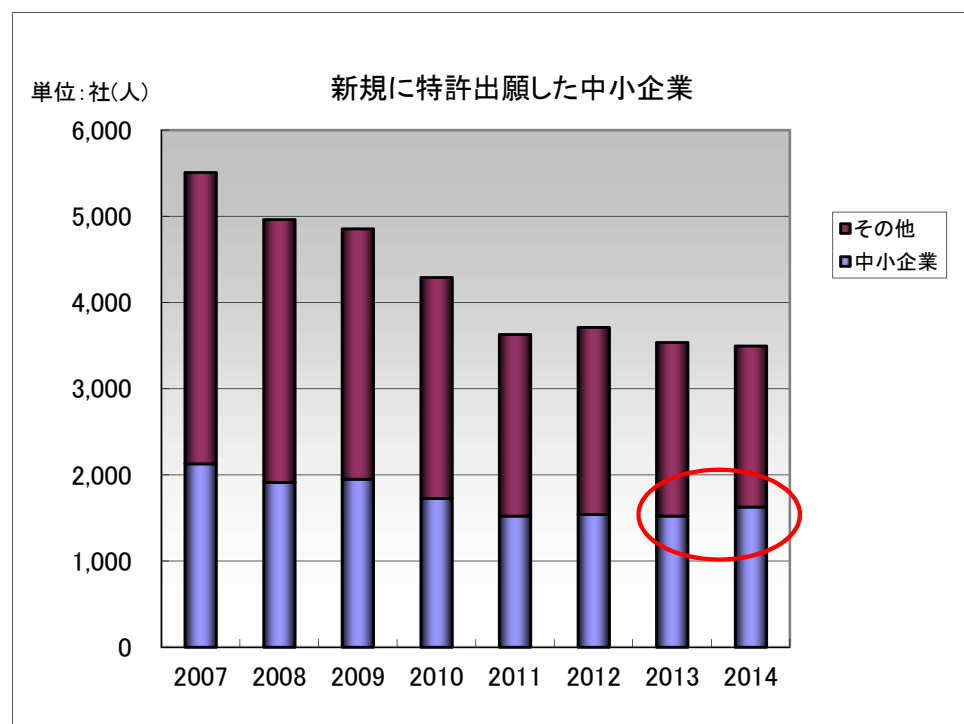
(2) 中小企業の特許出願～出願者数～

- 特許出願をその出願者数で見ると、全体傾向及び中小企業とも、ここ数年は横ばい傾向にある。2014年においては、全体で対前年比0.3%増、中小企業による出願人数では対前年比2.2%増となっている。
- また、新規に特許出願する中小企業数は、2014年は増加している（対前年比6.8%増）。

【出願者数】



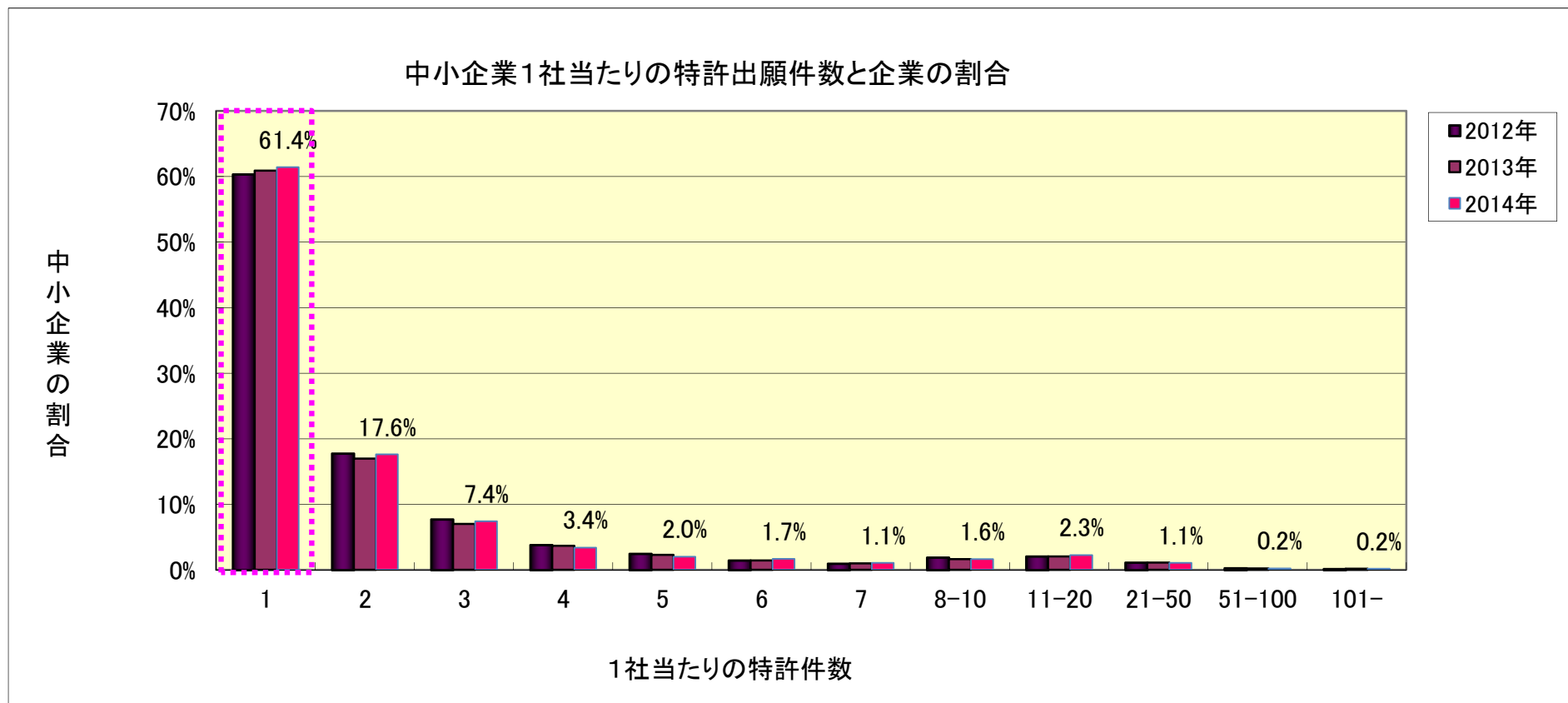
【新規出願者数】



(3) 中小企業の特許出願～1社あたりの出願件数～

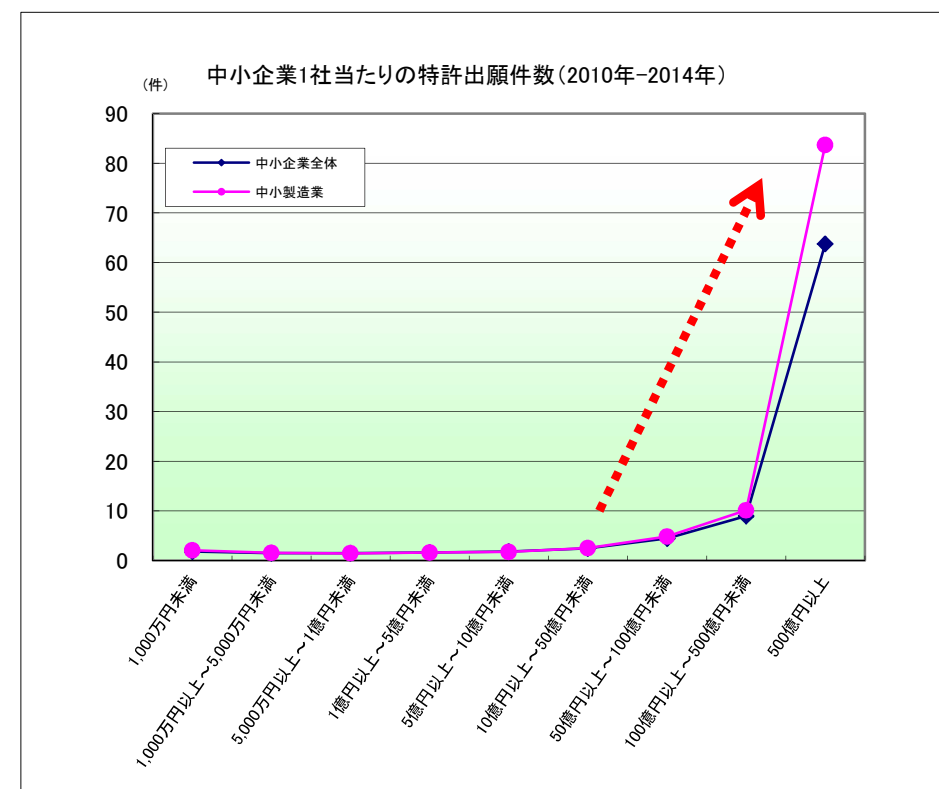
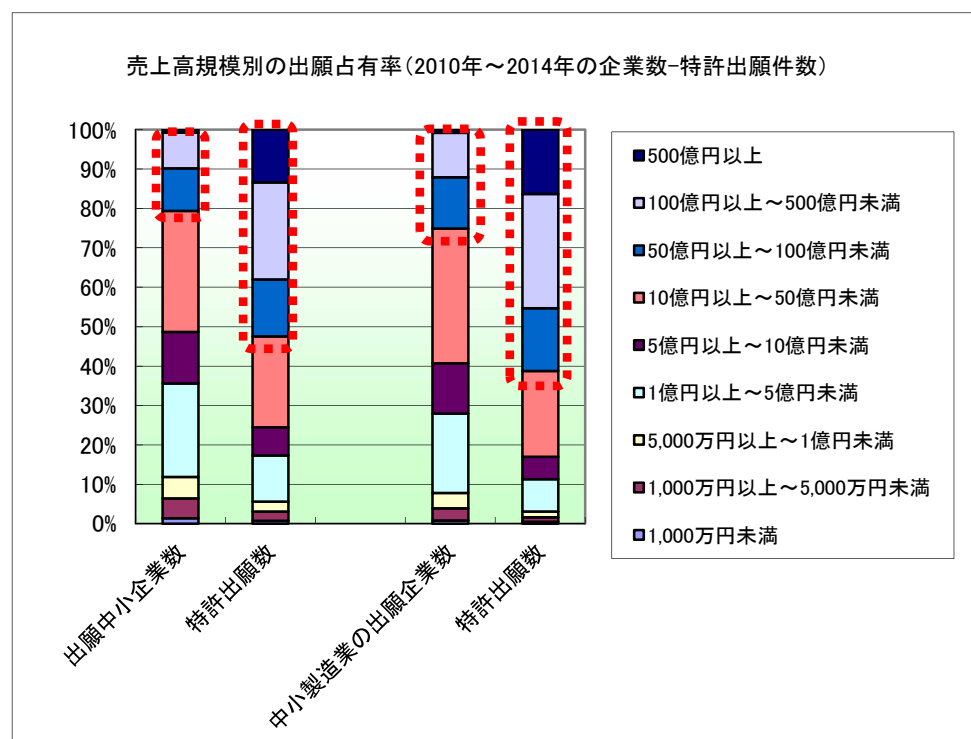
■ 中小企業1社当たりの特許出願件数は、年平均3件程度であるが、その内訳をみると【下図】、年間の出願件数が1件という企業が約61%を占めており、全体の約86%の企業は年間に3件以下の出願となっている。

【1社当たりの出願件数】



(4) 中小企業の特許出願～売上高別件数～

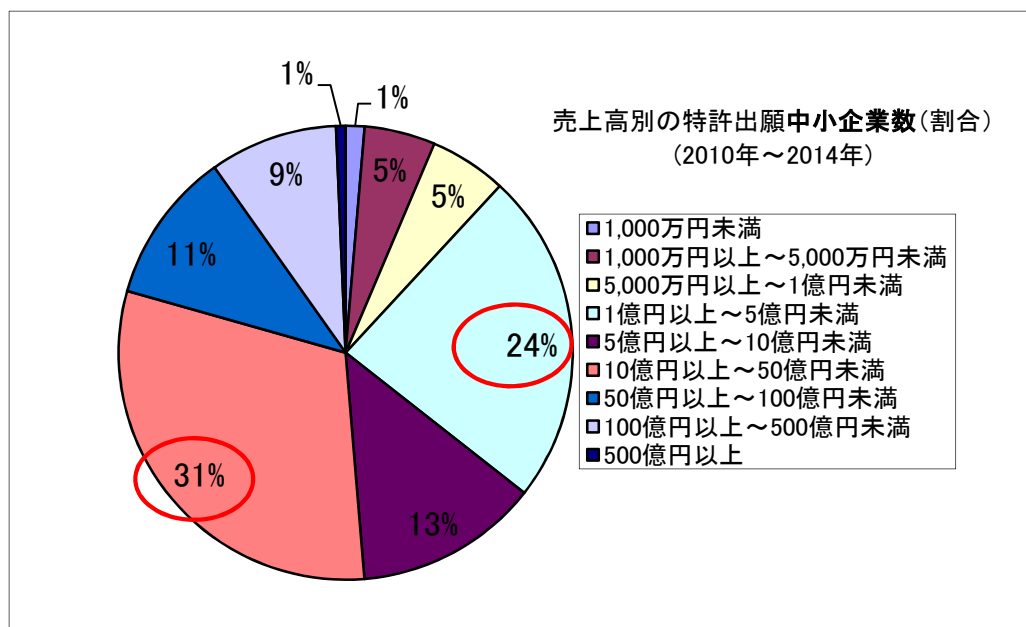
- 中小企業による特許出願件数をその中小企業の売上高別にみると、出願中小企業の2割弱に当たる「売上高50億円以上」の中小企業による出願が、中小企業全体の出願の5割を占めている。
- 製造業に限ってみると、より顕著な傾向を示しており、2割強に当たる売上高50億円以上の中小企業による出願が、中小企業全体の出願の6割を占有している。
- また、中小企業1社当たりの特許出願件数を売上高別にみると、売上高が10億円を超えると出願件数が増加する傾向にある。



(5) 中小企業の特許出願～売上高別企業数～

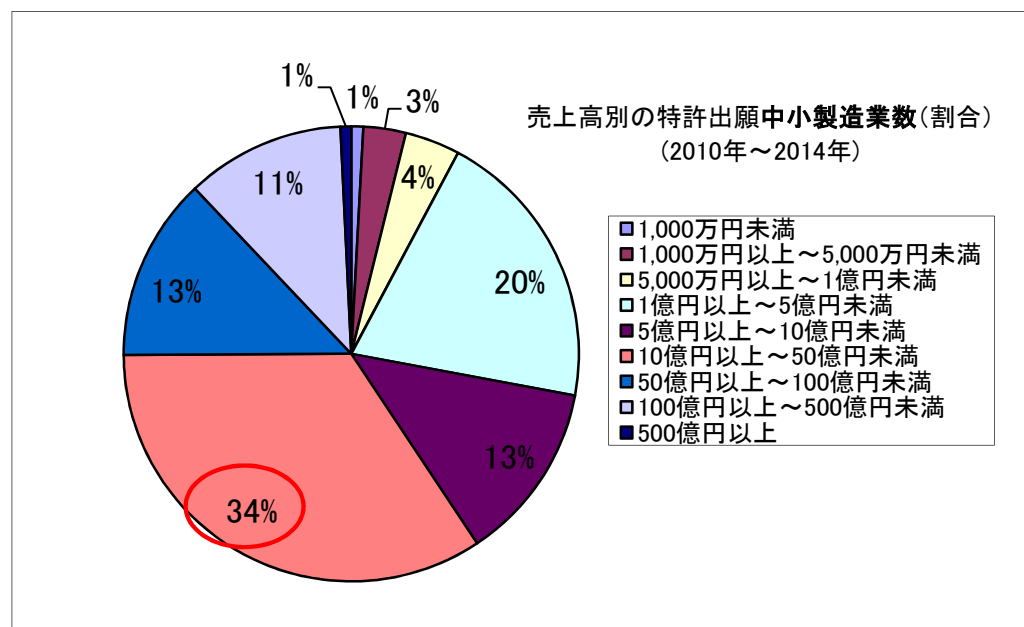
- 特許出願した中小企業を売上高別にみると、「10億円以上50億円未満」の中小企業の比率が高く、次いで「1億円以上5億円未満」の企業となっている。
- 特許出願した中小企業を製造業に限ってみると【右図】、より顕著な傾向を示しており、「10億円以上50億円未満」の比率が34%とより高くなっている。

【中小企業】



総務部普及支援課調べ

【製造業】

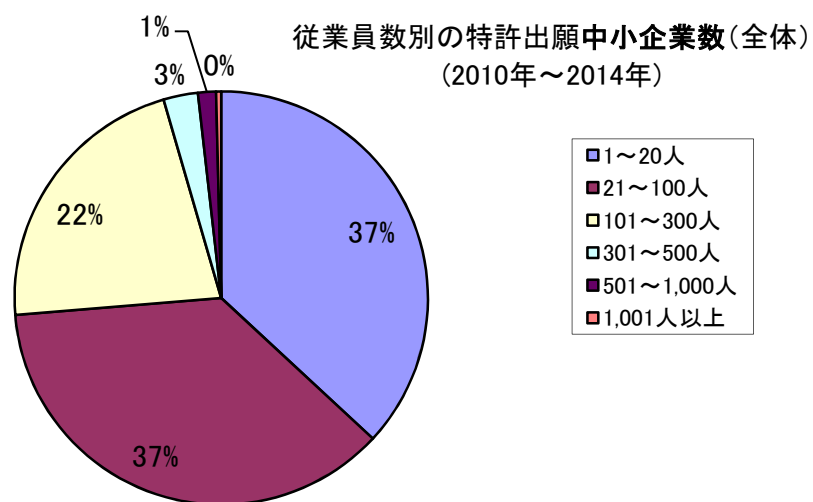


総務部普及支援課調べ

(6) 中小企業の特許出願～従業員数別企業数～

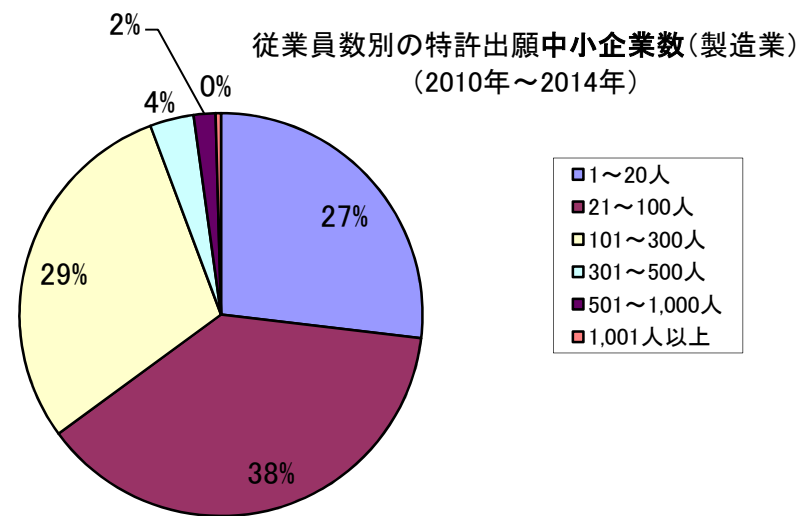
- 特許出願した中小企業を従業員数別にみると、「1人以上20人以下」の中小企業、及び「21人以上100人以下」の企業の比率が高くなっている。
- 一方、中小企業の製造業でみると、21人以上100人以下の企業の比率が高く、次いで101人以上300人以下の企業となっており、より規模の大きい企業から出願される傾向がみられる。

【中小企業】



総務部普及支援課調べ

【製造業】

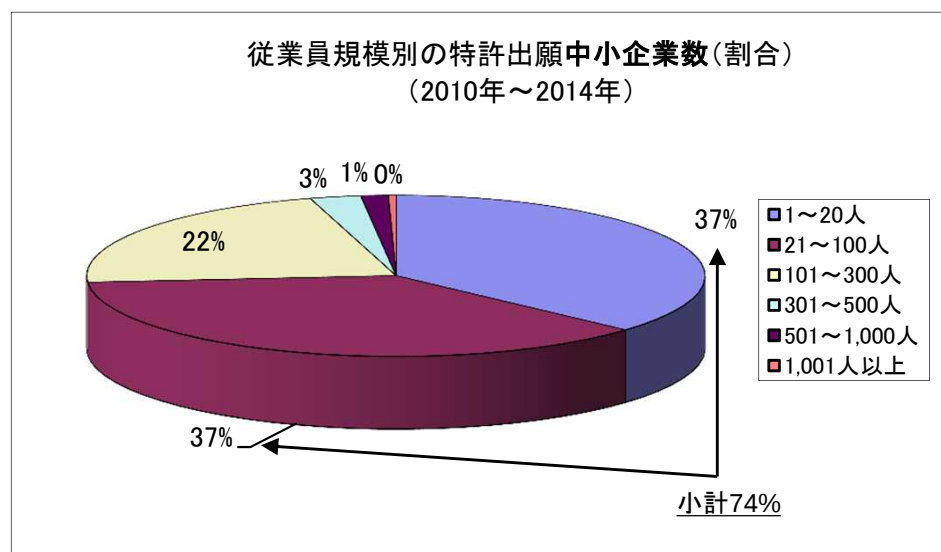


総務部普及支援課調べ

(7) 中小企業の特許出願～従業員規模別～

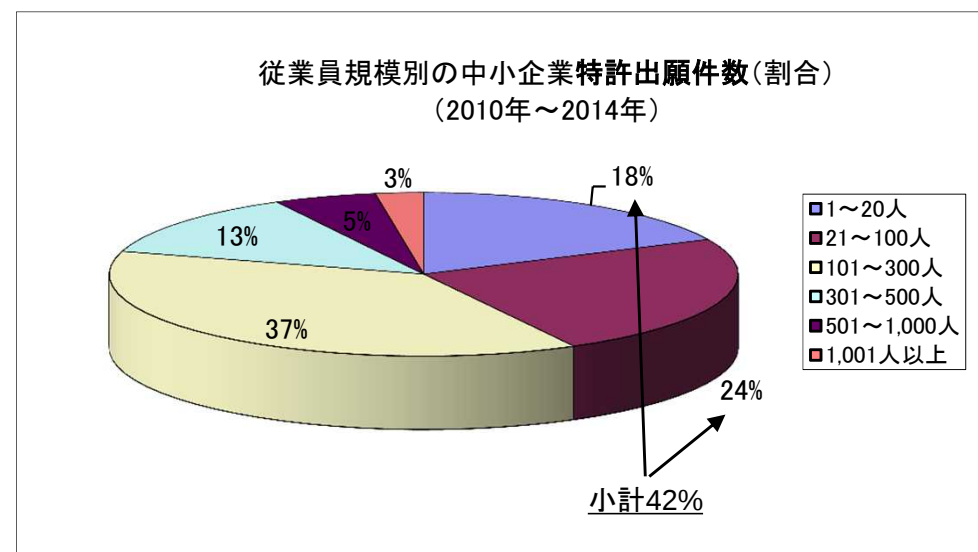
- 特許出願した中小企業を従業員規模別にみると、従業員数100人以下の企業は、企業数では74%を占めているが、出願件数では42%に留まっている。
- 一方、従業員数101人以上300人以下の企業は、企業数では全体の22%となっているが、出願件数では37%を占めている。
- また、特許出願中小企業の4%を占めている従業員数301人以上の中小企業は、出願件数の約20%を占めている。

【中小企業数】



総務部普及支援課調べ

【出願件数】



総務部普及支援課調べ

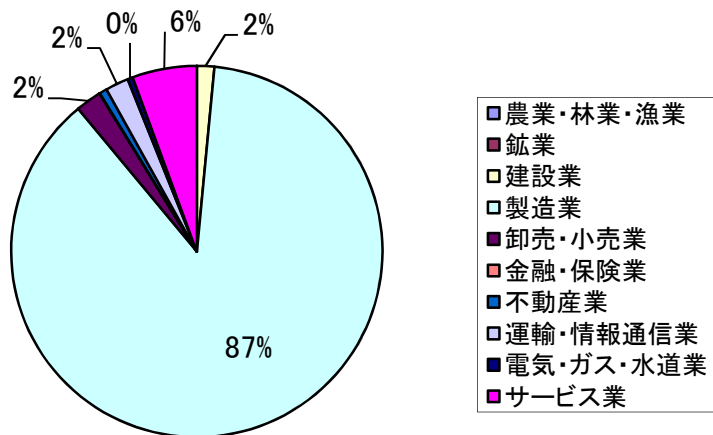
(8) 中小企業の特許出願～業種別件数～

- 中小企業の特許出願件数を業種別にみると【右図】、製造業が全体の74%を占め、次いで、卸売・小売業が10%を占めており、この2業種で全体の84%となっている。
- 一方、大企業では【左図】出願件数の約9割（2014年は87%）を製造業が占めている。

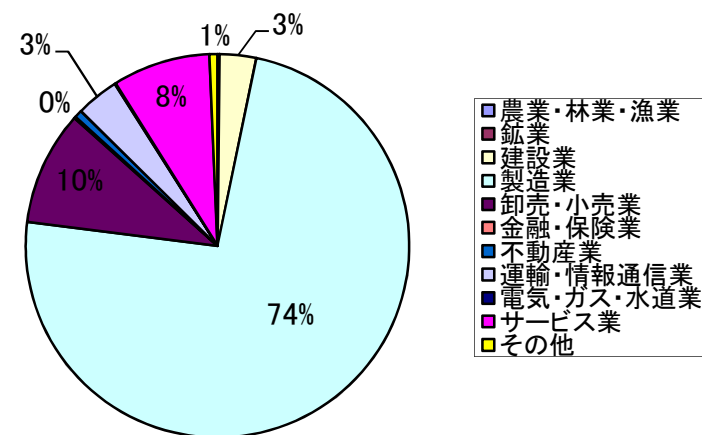
【大企業】

【中小企業】

業種別特許出願件数(大企業:2014年)



業種別特許出願件数(中小企業:2014年)

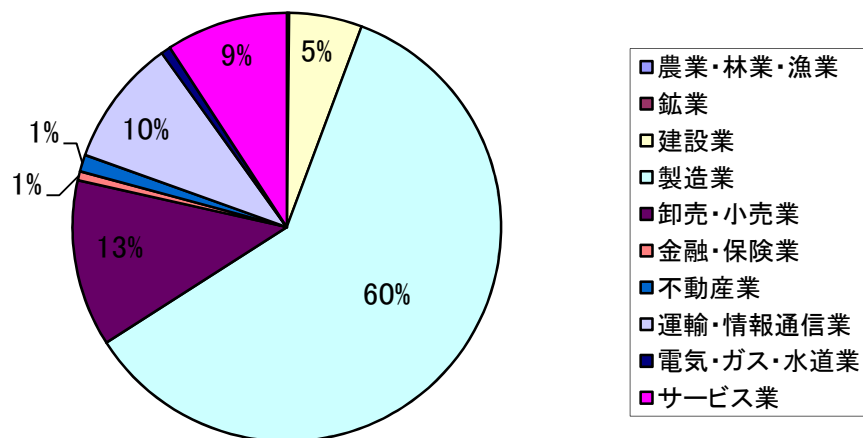


(9) 中小企業の特許出願～業種別企業数～

- 特許出願した中小企業数を業種別にみると【右図】、製造業が中小企業全体の56%を占めており、次いで、卸売・小売業が16%となっている。
- 大企業においても【左図】、製造業が60%、卸売・小売業が13%を占めており、中小企業と類似した傾向を示している。

【大企業】

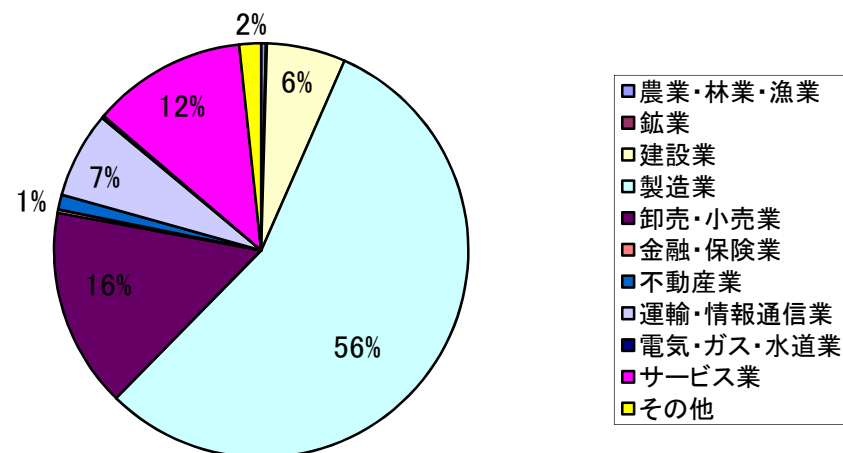
業種別特許出願法人数(大企業:2014年)



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

業種別特許出願法人数(中小企業:2014年)



総務部普及支援課調べ

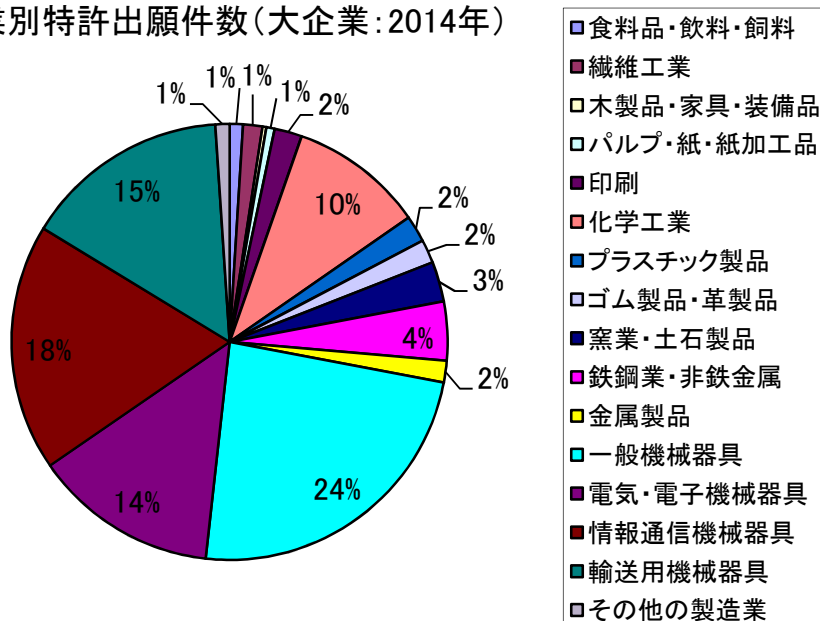
(10) 中小企業の特許出願～製造業別件数～

- 中小企業のうち、製造業による特許出願件数を分類別にみると【右図】、娯楽用機械や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（48%）の比率が高い。
- 大企業製造業では【左図】、事務用機械器具などの一般機械器具製造業（24%）と情報通信機械器具製造業（18%）の比率が高い。

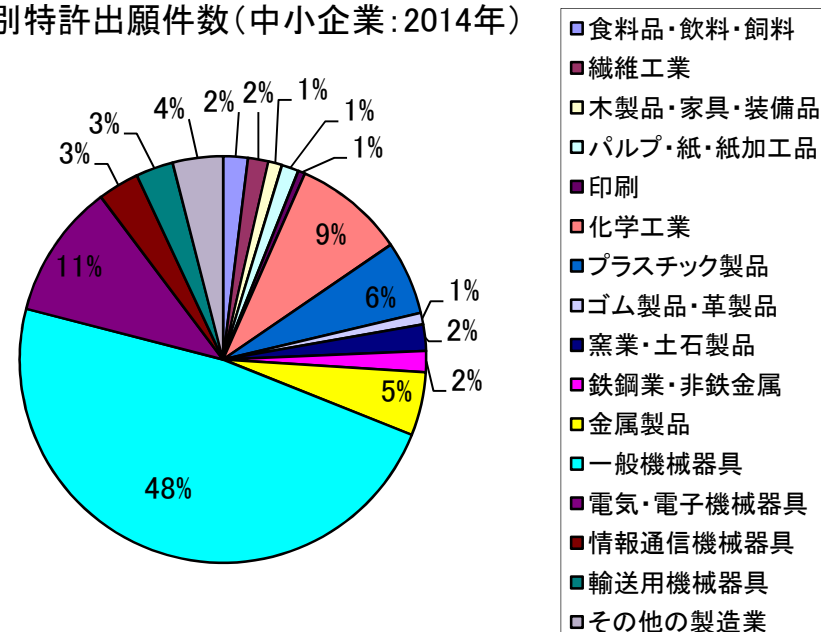
【大企業製造業】

【中小企業製造業】

製造業別特許出願件数(大企業:2014年)



製造業別特許出願件数(中小企業:2014年)



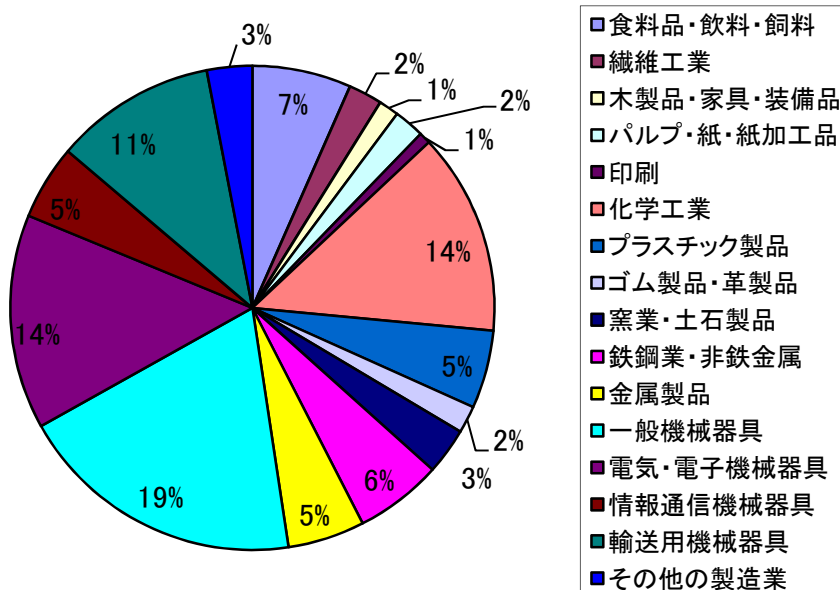
(11) 中小企業の特許出願～製造業別企業数～

- 特許出願した中小企業製造業数を分類別にみると【右図】、金属加工機械、金型、食品機械などの一般機械器具製造業（27%）、電気計測器などの電気・電子機械器具製造業（14%）、金属プレス製品などの金属製品製造業（10%）の割合が高い。
- 大企業製造業では【左図】、事務用機械器具や金属加工機械などの一般機械器具製造業（19%）、医薬品製造などの化学工業製造業（14%）、発電・送配電や電気照明器具などの電気・電子機械器具製造業（14%）の順になっている。

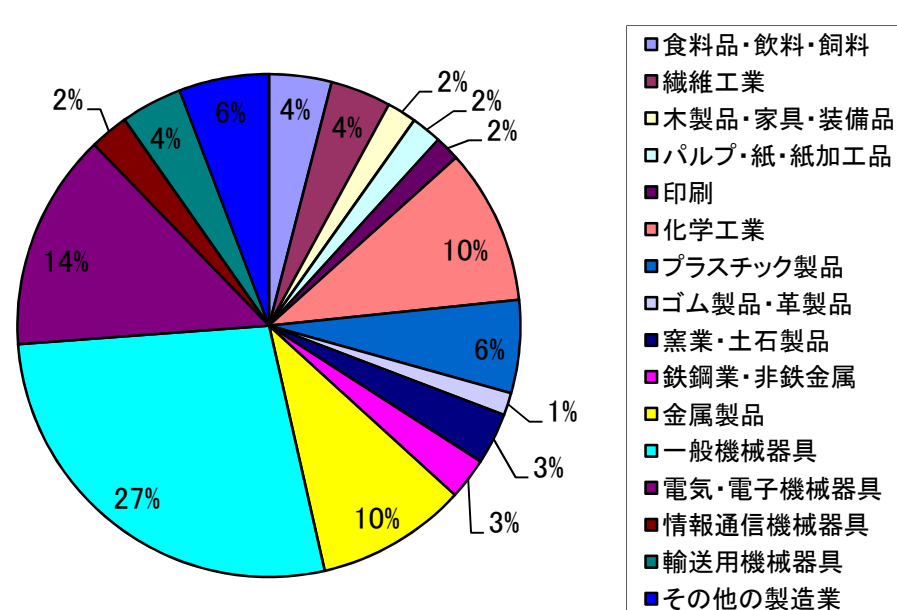
【大企業製造業】

【中小企業製造業】

製造業別特許出願法人数(大企業:2014年)



製造業別特許出願法人数(中小企業:2014年)

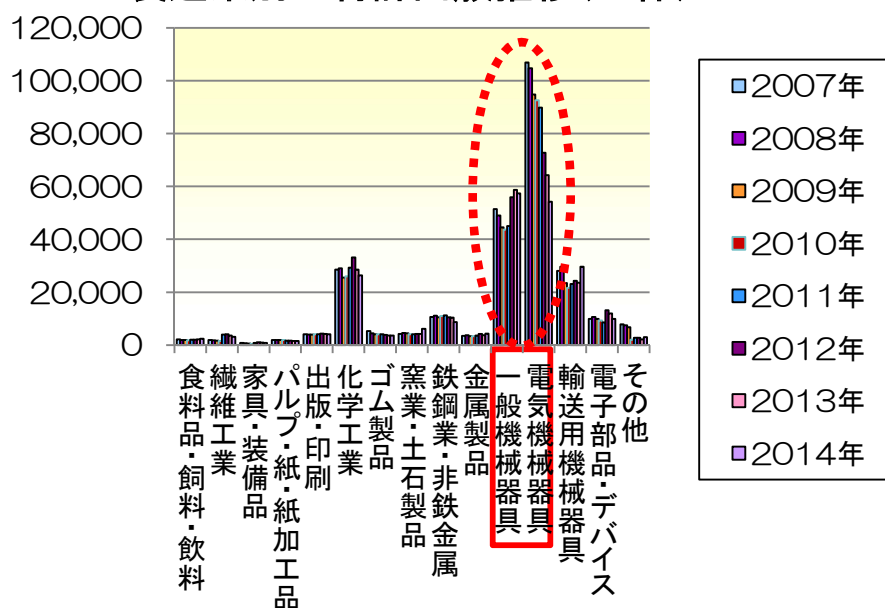


(12) 中小企業の特許出願～製造業別件数推移～

- 製造業の分類別の特許出願件数をみると、出願全体では電気機械器具製造業が突出しているが、近年は減少傾向にある。しかし、中小企業の製造業では【右図】、一般機械器具製造業の出願が多く、近年は増加傾向にある。
- また、電気機械器具製造業をはじめ各製造業の特許出願が減少傾向にある中で、一般機械器具製造業は増加傾向をみせている。

【全製造業】

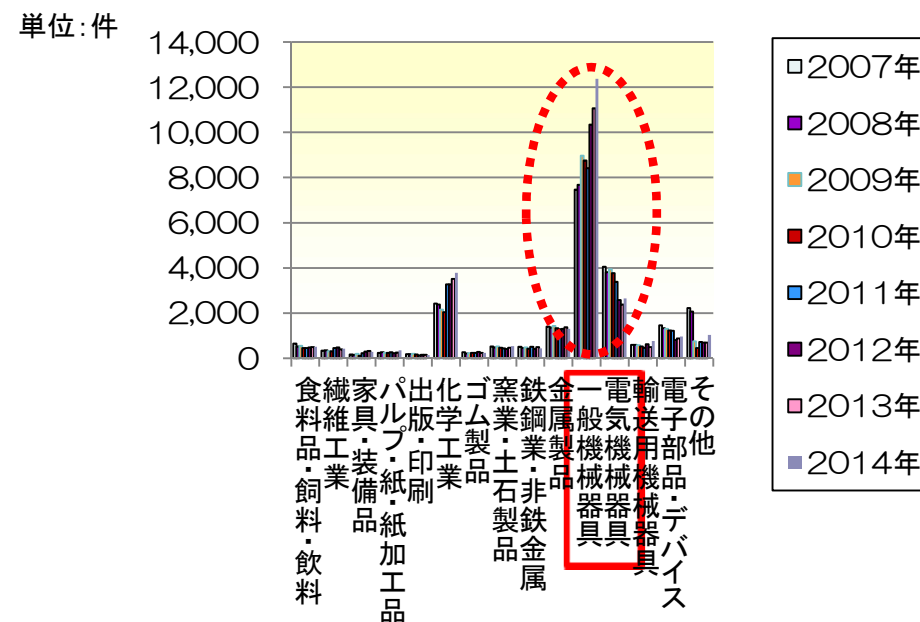
単位: 件 製造業別の特許出願推移(全体)



総務部普及支援課調べ

【中小企業製造業】

製造業別の特許出願推移(中小企業)



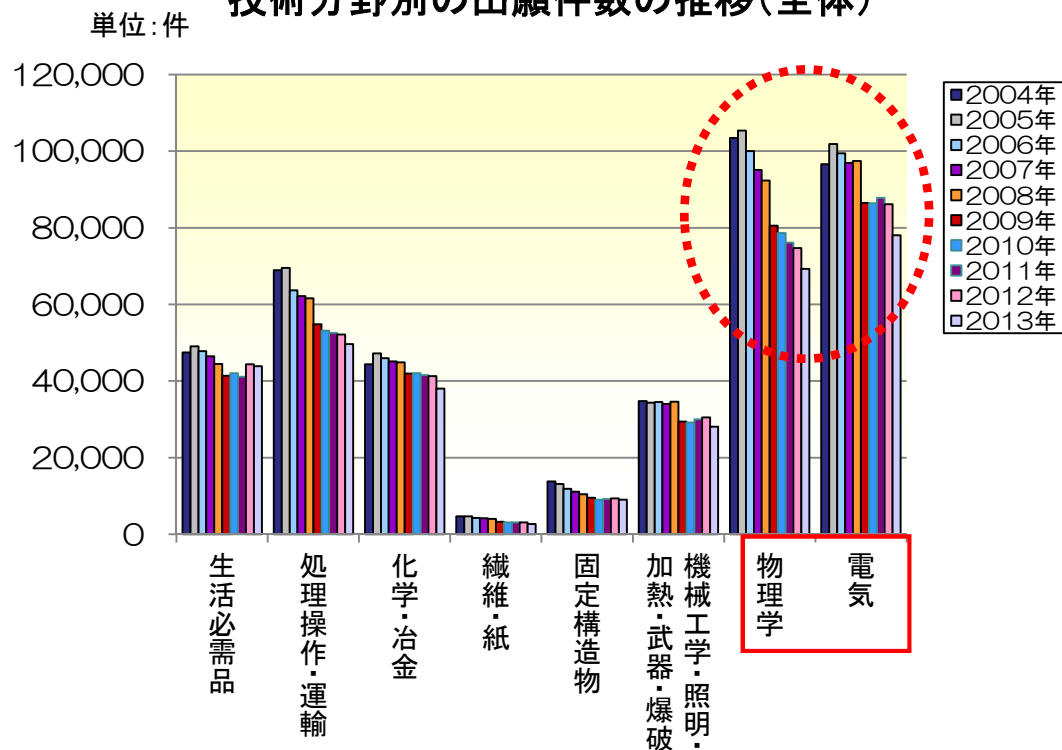
総務部普及支援課調べ

(13) 中小企業の特許出願～IPC別件数～

- 特許出願件数を技術分野別（IPC分類）にみると、出願全体では測定・試験や計算・計数などの物理学及び基本的電気素子や電気通信技術などの電気分野の出願が5割近くを占めているが、中小企業の出願に限ると、ゲーム・娯楽や医学・衛生学などの生活必需品分野の出願が最も多く、次いで運搬・包装や工作機械などの処理操作・運輸の分野となっており、この両分野を合わせると全体の5割を占めている。
- また、生活必需品分野を除き、全ての分野において出願は近年減少傾向にある。

【全体】

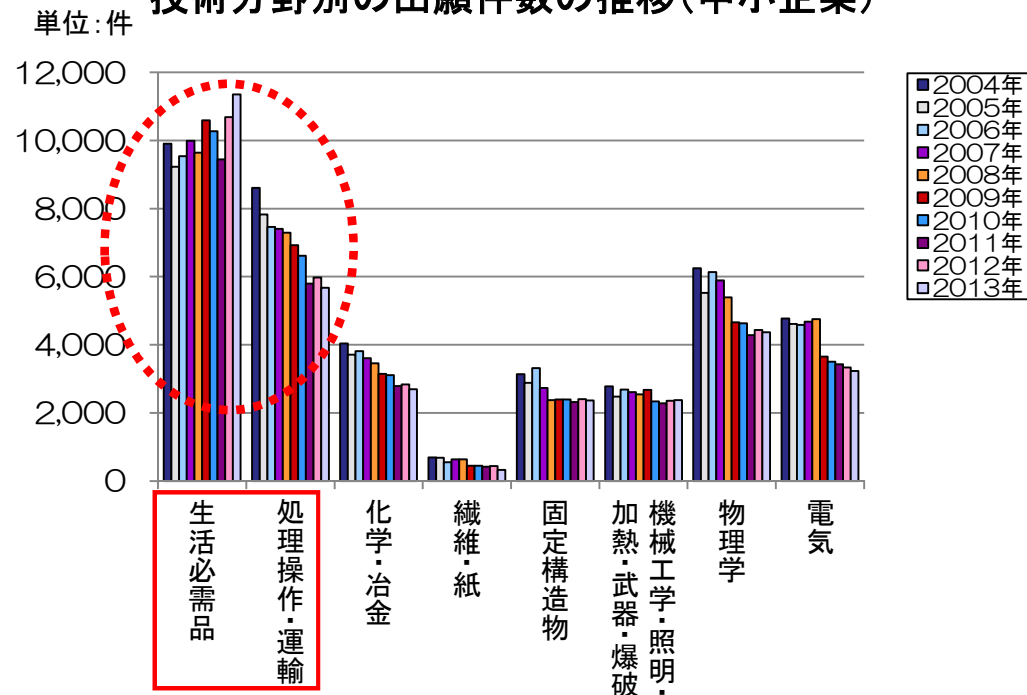
技術分野別の出願件数の推移(全体)



特許行政年次報告書（2014年版）

【中小企業】

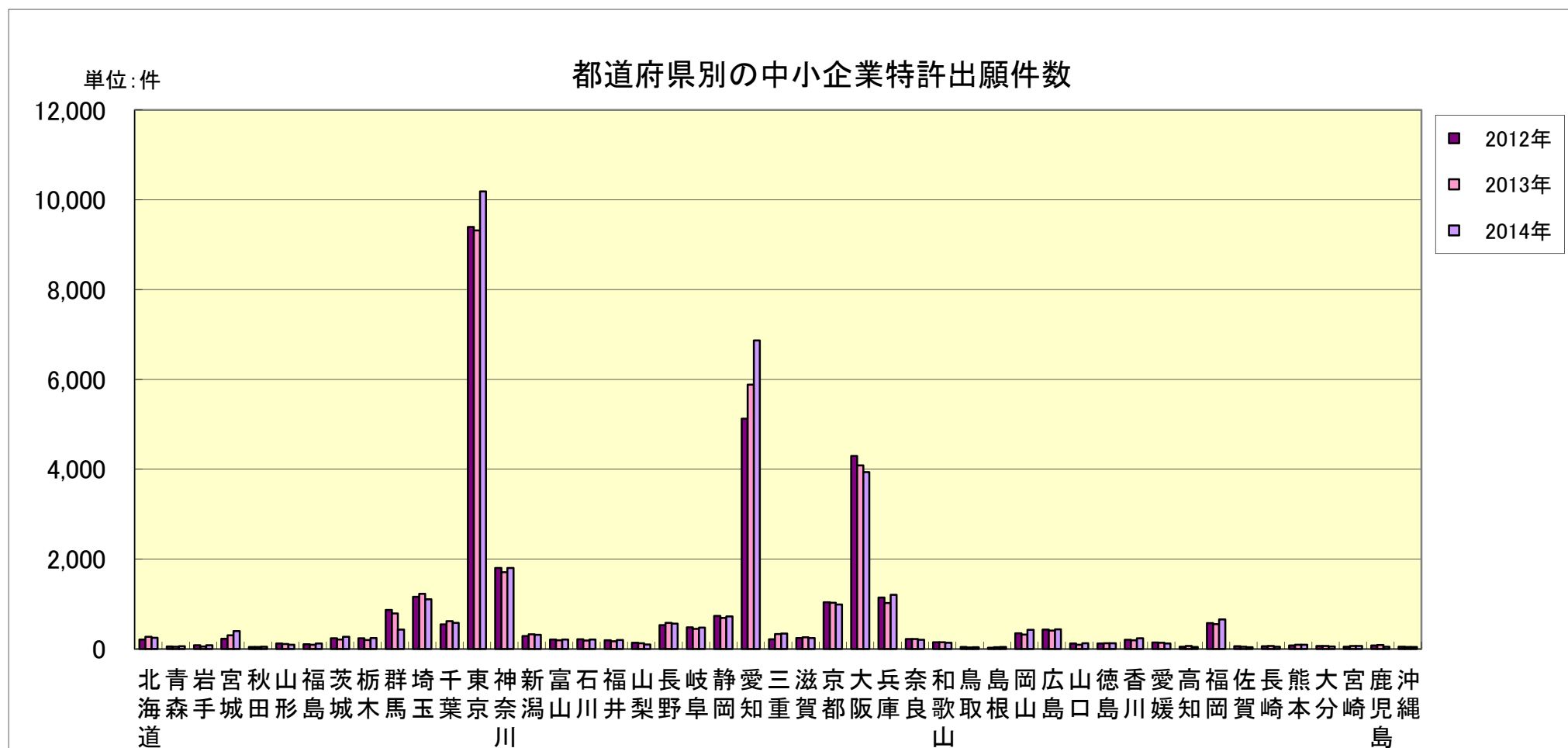
技術分野別の出願件数の推移(中小企業)



総務部普及支援課調べ

(14) 中小企業の特許出願～都道府県別件数～

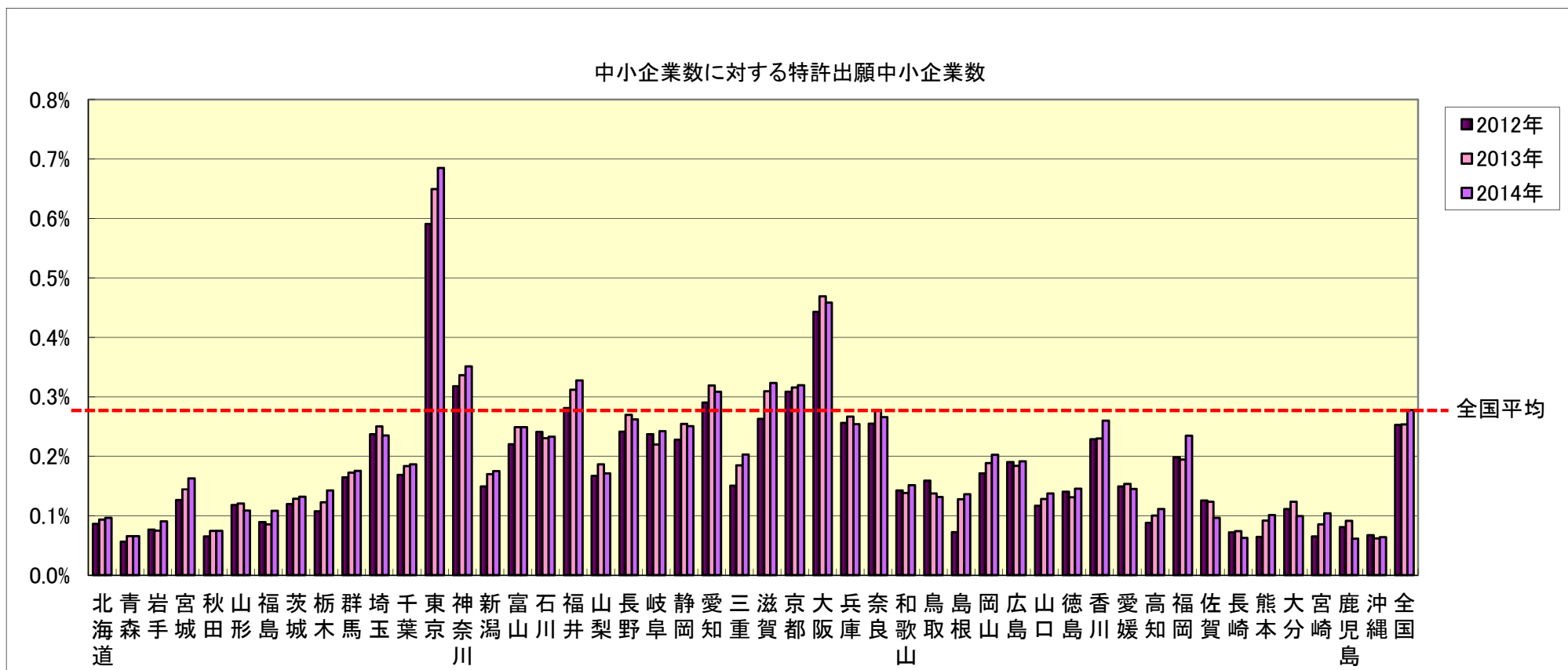
■ 中小企業の特許出願件数を都道府県別にみると、3大都市圏に件数が集中しており、全国の6割近くを占めている（2014年は60.0%）。中でも愛知は増加傾向にある。



特許庁推計（中小企業産業財産権関係統計）

(15) 中小企業の特許出願～都道府県別比率～

- 中小企業数に対する特許出願中小企業数の割合は、2014年で全国平均0.3%弱である（なお、製造業に限ると1.4%）が、東京、神奈川、福井をはじめとして増加傾向にある地域もみられる。
- なお、全国平均を上回る都道府県は、東京、神奈川、福井、愛知、滋賀、京都、大阪、となっており、必ずしも大都市圏に片寄っているわけではない。



中小企業数は「中小企業白書2014年版付属統計資料」、特許出願中小企業数は「総務部普及支援課調べ」

(16) 中小企業の特許出願～都道府県別伸び率～

- 2014年の特許出願件数を都道府県別にみると、対前年比でプラスに転じているのは23県（前年は16県）、減少している県は24県（同31県）。うち9県（同12県）は10%以上の落ち込み。
- 中小企業の出願に限定すると、増加は27県（同18県）、減少は20県（同29県）。うち9県（同12県）は10%以上の落ち込みとなっている。



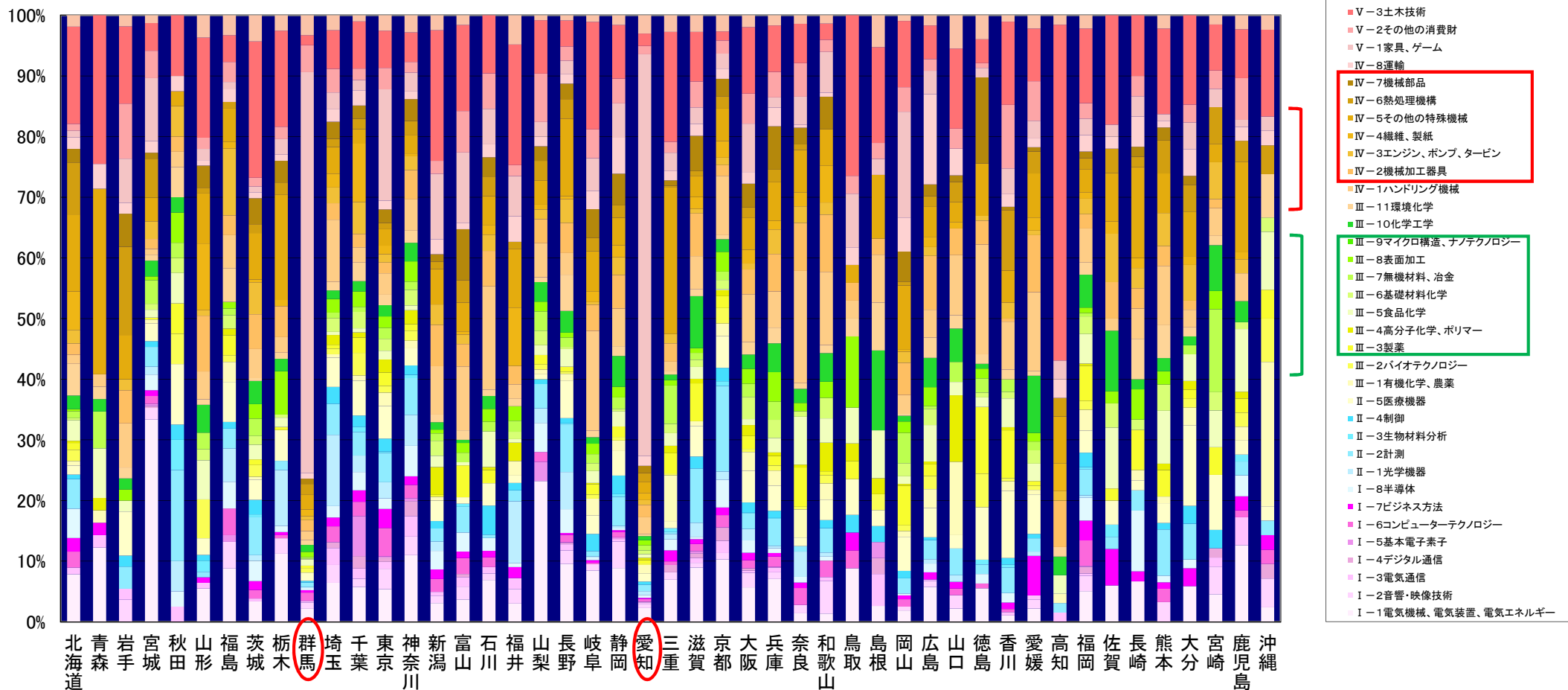
内国人

中小企業

(17) 中小企業の特許出願～都道府県別技術分野構成～

- 中小企業の2013年の特許出願を、WIPOが設定したIPC分類を基準とした技術分野に基づき都道府県別の分野構成をみると、機械工学と化学分野の占める割合が全般に大きい。
- 地域の産業特性との関連がうかがえる地域もあり、例えば娯楽用機械メーカーの多い愛知や群馬においては、家具・ゲーム（V-1）の出願割合が大部分を占めている。

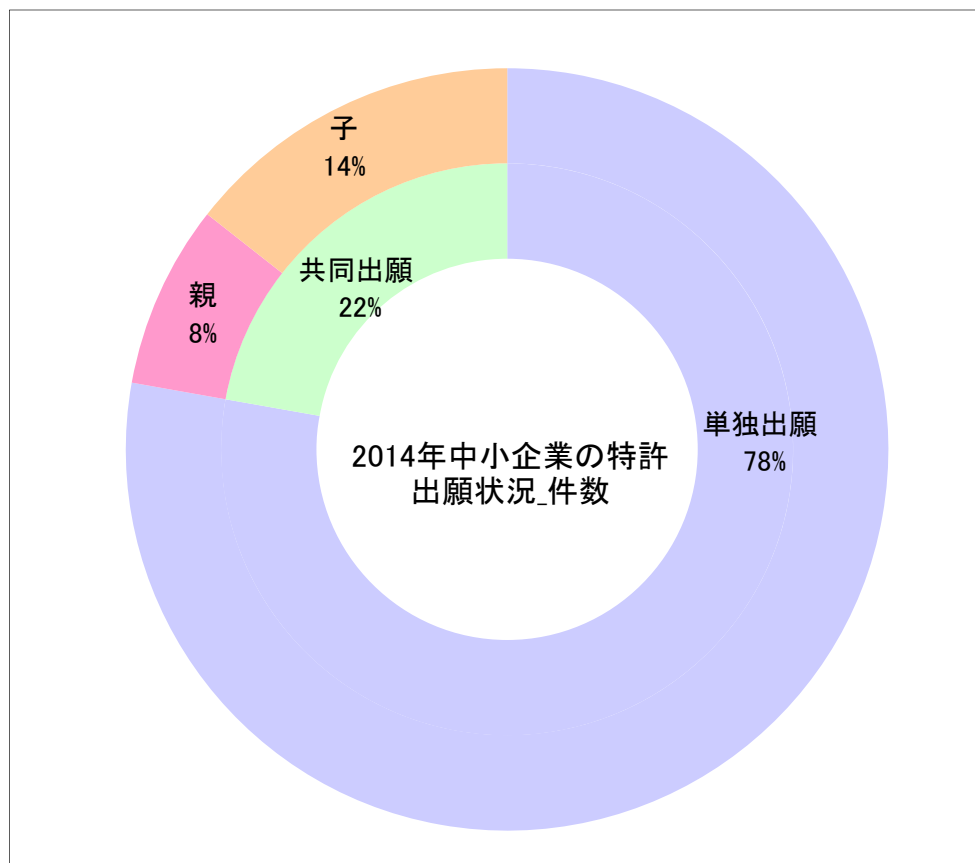
中小企業の特許出願におけるWIPO技術分野の構成(2013_)



(18) 中小企業の特許出願～単独出願と共同出願～

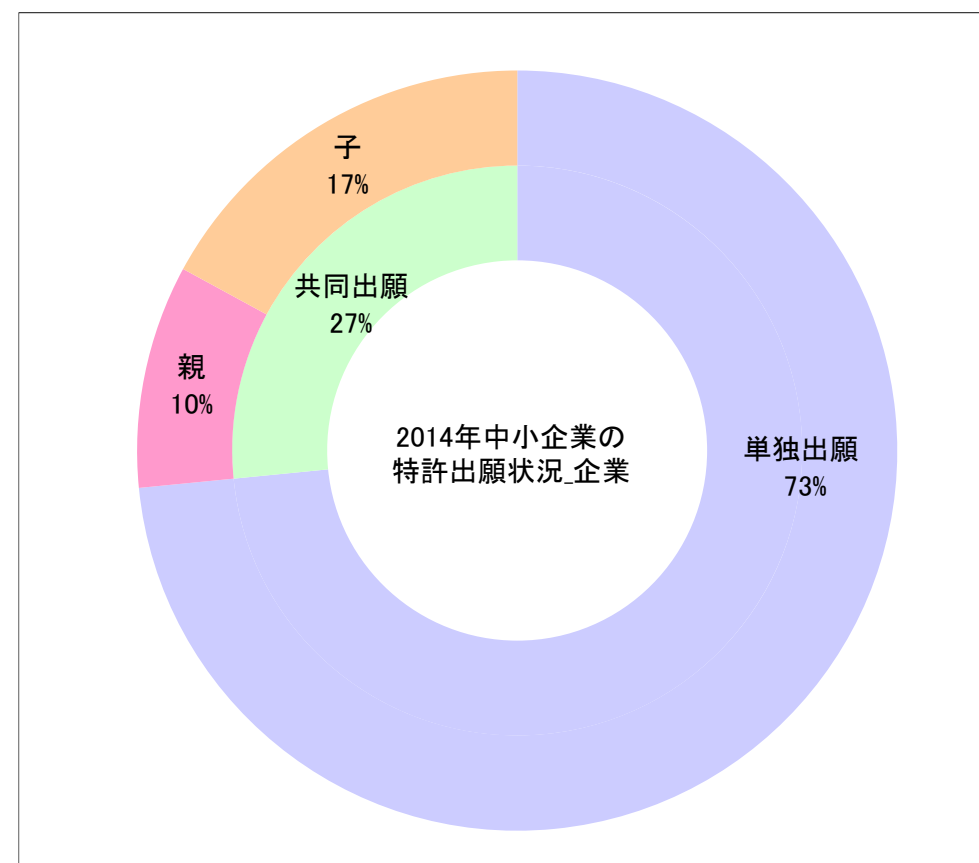
- 中小企業の特許出願件数のうち、単独出願が全体の78%（2013年76%）、共同出願は22%（同24%）となっている。
- 共同出願のうち、1/3が筆頭出願人（親）の出願、2/3が共同出願人（子）の出願となっている。
- 出願企業数でみると、単独出願が73%（同67%）、共同出願が27%（同33%）となっており、共同出願のうち、親が36%（同51%）、子が64%（同49%）となっている。

【出願件数】



総務部普及支援課調べ

【出願企業数】

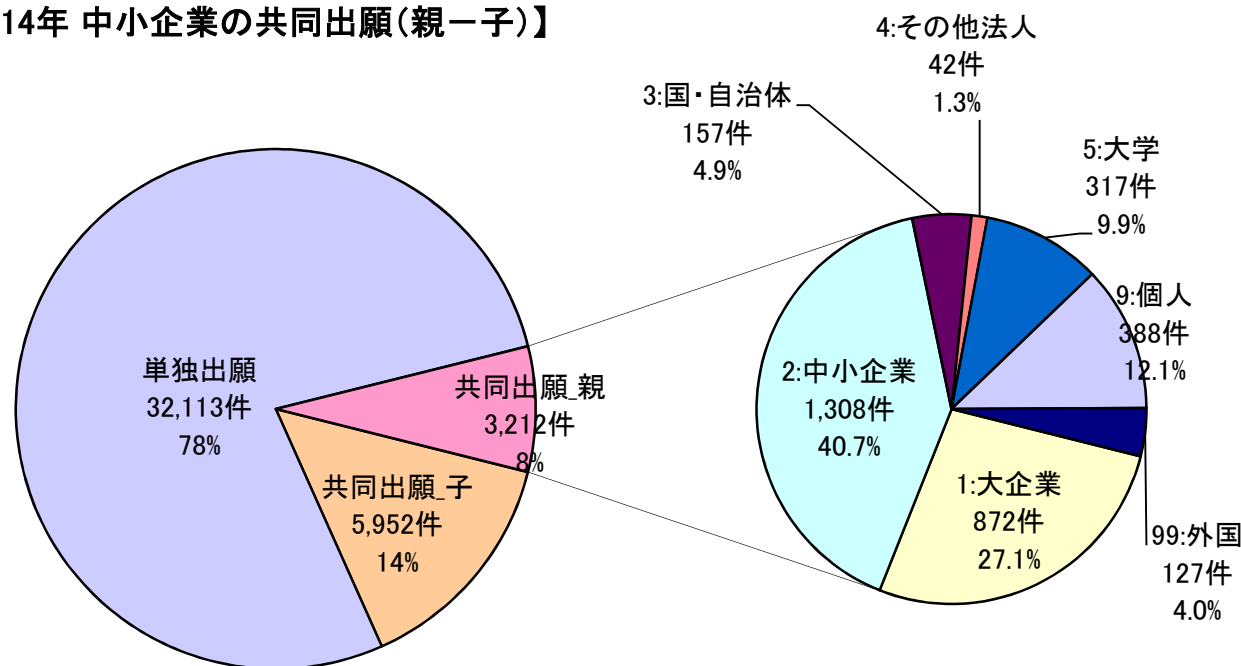


総務部普及支援課調べ

(19) 中小企業の特許出願～共同出願(親の場合)～

- 中小企業の特許共同出願について、中小企業が筆頭出願人（親）の場合の共同出願人（子）は、大企業が27%（前年29%）、中小企業41%（同40%）、大学10%（同9%）、国・自治体5%（同5%）、個人12%（同13%）、その他5%（同4%）となっている（出願件数ベース）。
- 中小企業が親の場合、その相手方として中小企業を選択することが多い。

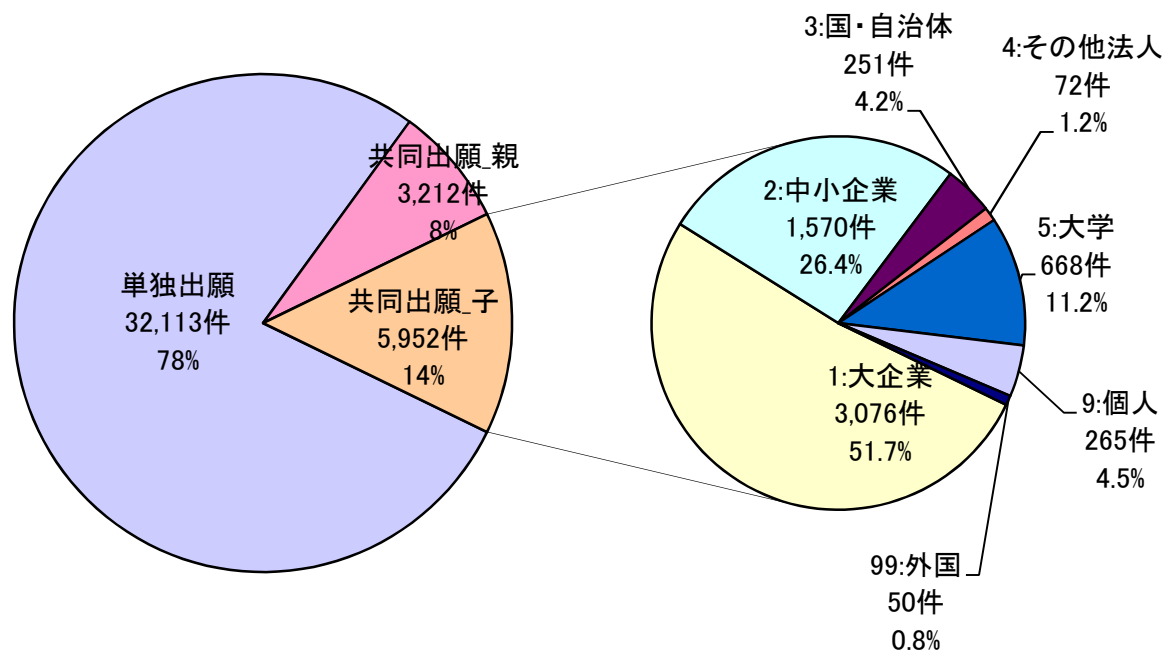
【2014年 中小企業の特許共同出願(親-子)】



(20) 中小企業の特許出願～共同出願(子の場合)～

- 逆に、中小企業が子の場合の相手方（親）は、大企業52%（前年53%）、中小企業26%（同26%）、大学11%（同11%）、国・自治体4%（同4%）、個人5%（同5%）、その他2%（同1%）となっている（出願件数ベース）。
- 中小企業が子の場合、大企業が親（筆頭出願人）になっているケースが多い。

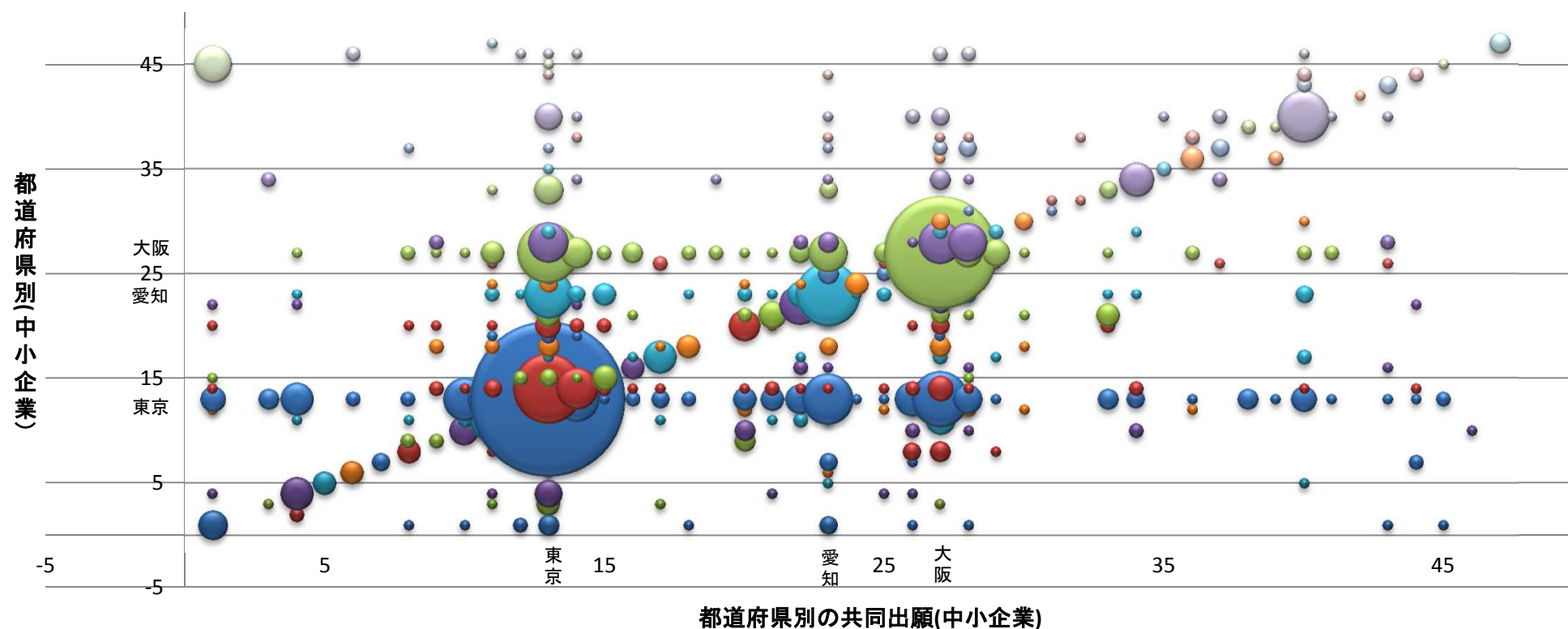
【2014年 中小企業の共同出願(子－親)】



(21) 中小企業の特許出願～共同出願の組合せ(都道府県別)

- 中小企業の特許出願の組合せを地域別にみると、大都市圏の中小企業ほど全国各県の企業や大学等と共同して出願する傾向がみられる。
- 一方、地方においては、県内企業や近隣の大学等との共同出願の比率が高い傾向がみられる。

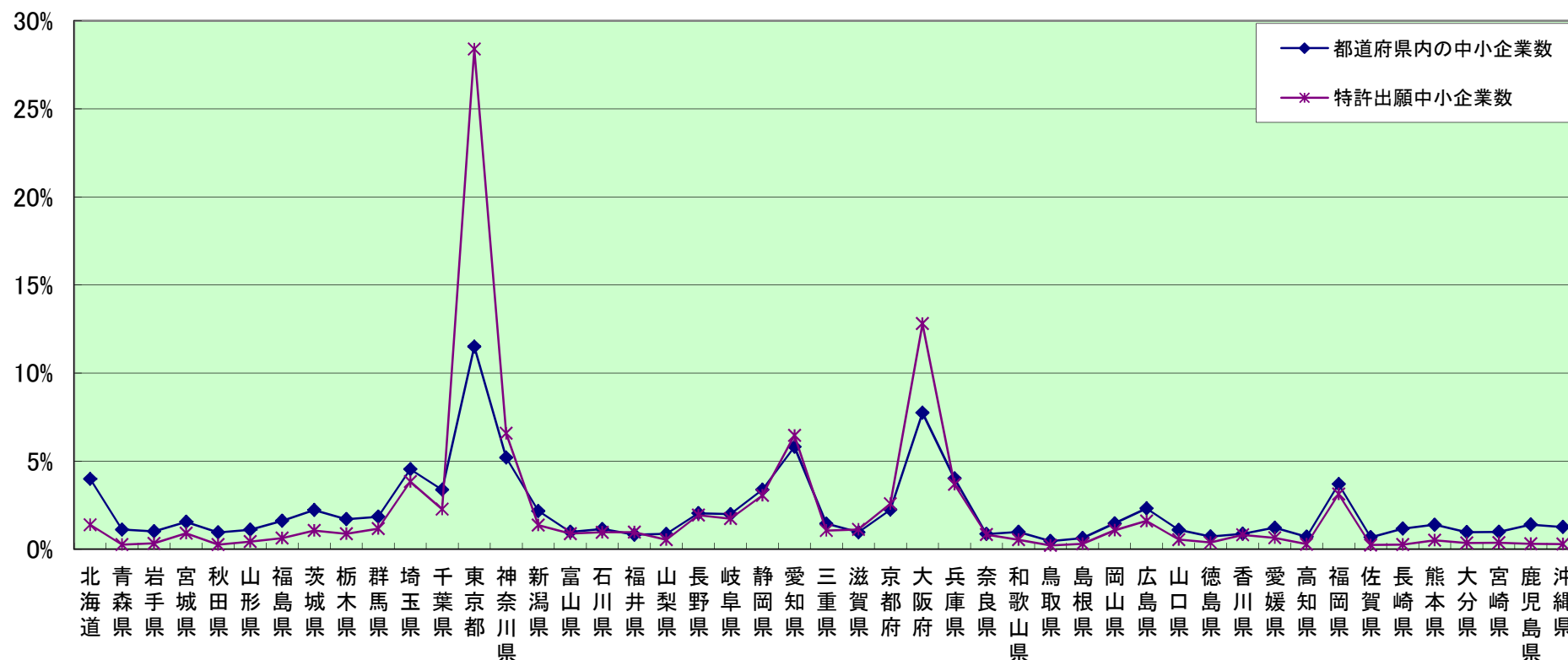
中小企業 × 中小企業の特許出願の組合せ(2013年特許出願)



(22) 中小企業の特許出願～中小出願者数と中小企業数の関係～

- 2014年の都道府県別特許出願中小企業数と都道府県内の中小企業数を全国シェアで比較すると、一定の相関関係があると推察される。
- ただし、東京、大阪は、特許出願中小企業数に比べて都道府県内の中小企業数のシェアが高く、なっている一方で、東北地域や九州地域は、特許出願中小企業数が都道府県内の中小企業数を下回っている。

特許出願中小企業数と都道府県内の中小企業数の関係(構成比の比較)

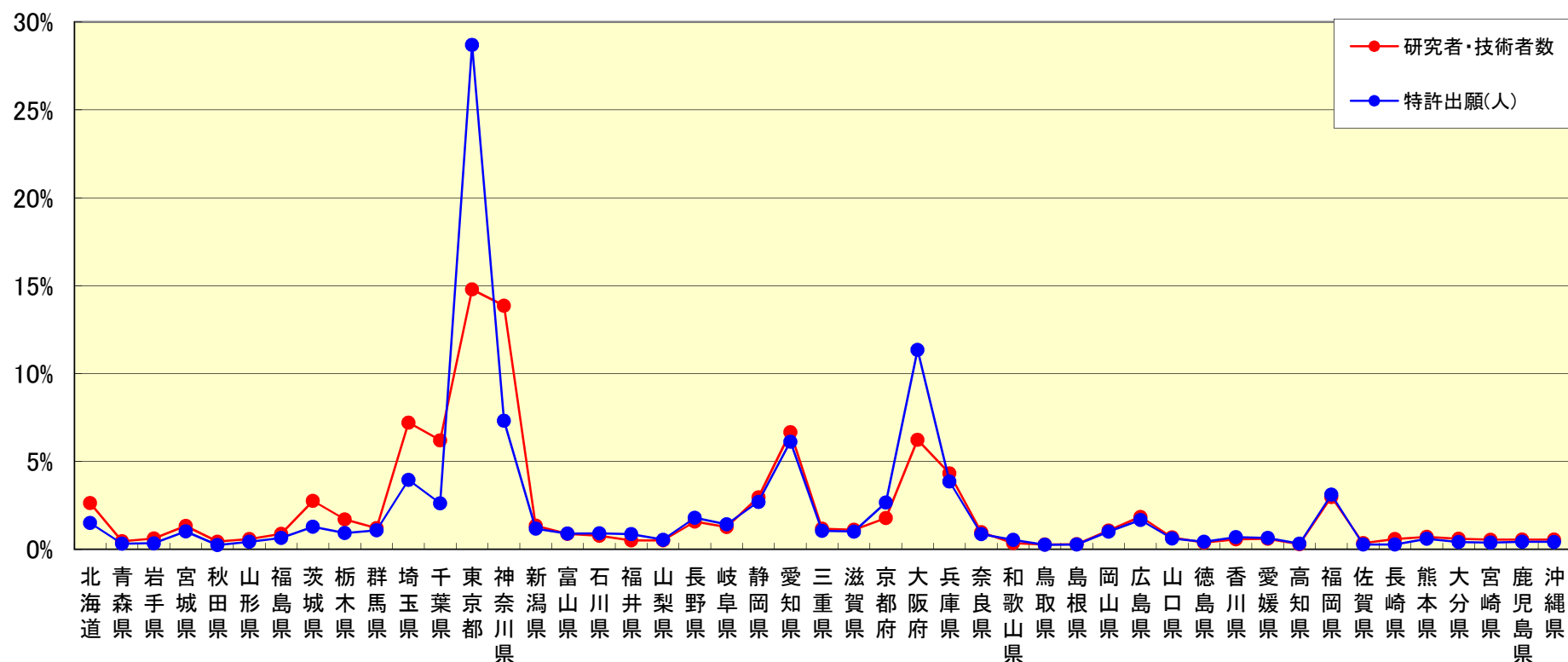


特許出願中小企業数は総務部普及支援課調べ、都道府県内の中小企業数は中小企業白書2014年版付属統計資料

(23) 中小企業の特許出願～出願者数と技術者数の関係～

- 2014年の都道府県別特許出願者数と研究者・技術者数を全国シェアで比較すると、一定の相関関係があると推察される。
- ただし、東京、大阪は研究者・技術者数に比べ特許出願者数のシェアが高いが、茨城、埼玉、神奈川などは特許出願者数のシェアが低い。

特許出願人数と研究者・技術者数の関係(構成比の比較)

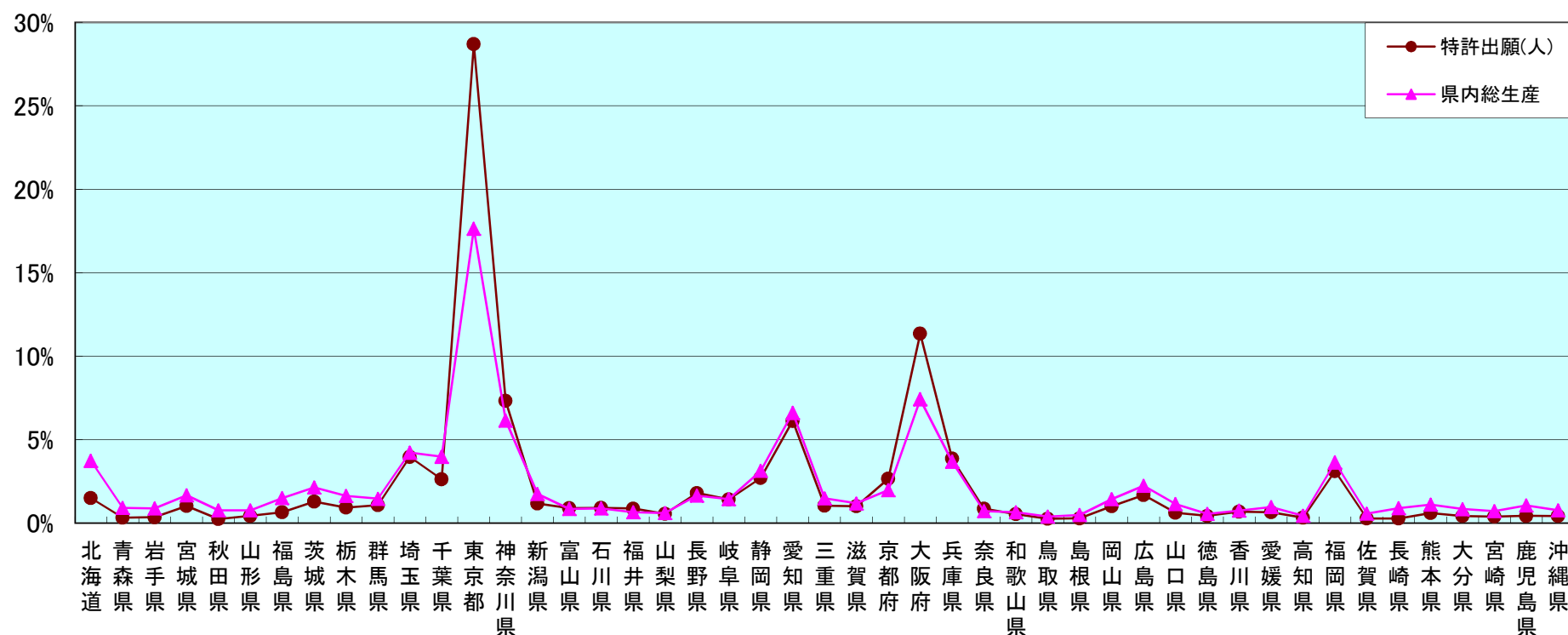


特許出願人数は総務部普及支援課調べ、研究者・技術者数は総務省「平成22年国勢調査」による。

(24) 中小企業の特許出願～出願者数と県内総生産の関係～

- 2014年の都道府県別特許出願者数と県内総生産を全国シェアで比較すると、一定の相関関係があると推察される。
- ただし、東京、大阪は県内総生産に比べて特許出願者数のシェアが高いが、東北、九州は特許出願人数のシェアが低い。

特許出願人数と県内総生産の関係(国内シェア比較)



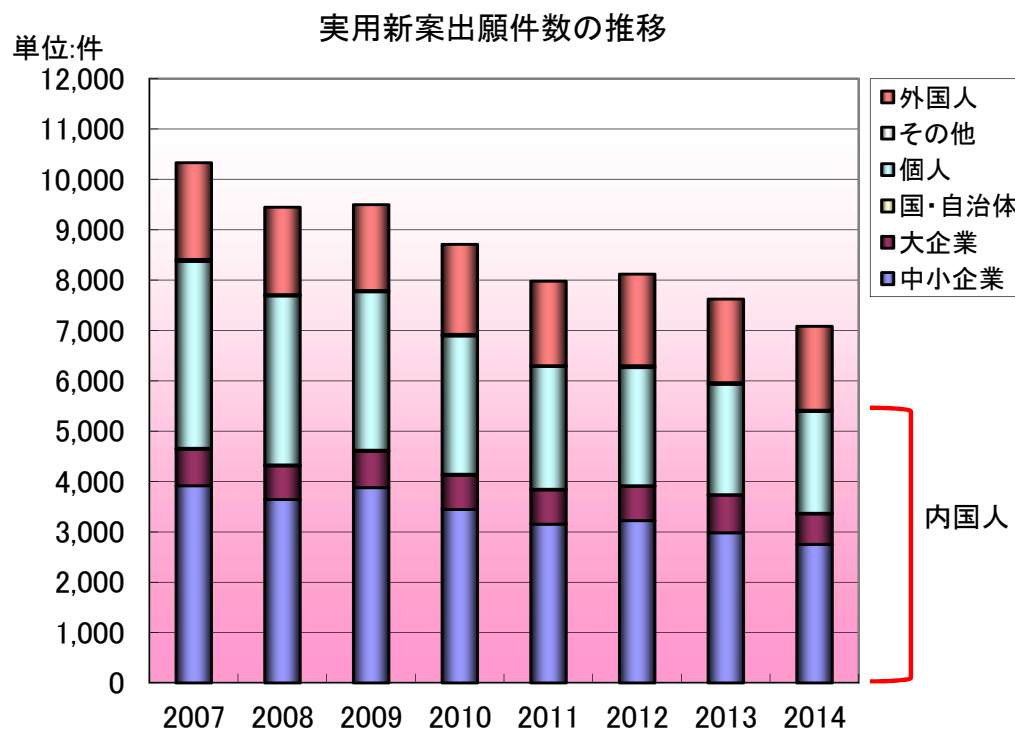
特許出願人数は総務部普及支援課調べ、県内総生産は「平成22年度県民経済計算」による。

3. 実用新案関連

- (1) 中小企業の実用新案出願 ～出願件数～
- (2) 中小企業の実用新案出願 ～出願者数～
- (3) 中小企業の実用新案出願 ～都道府県別件数～

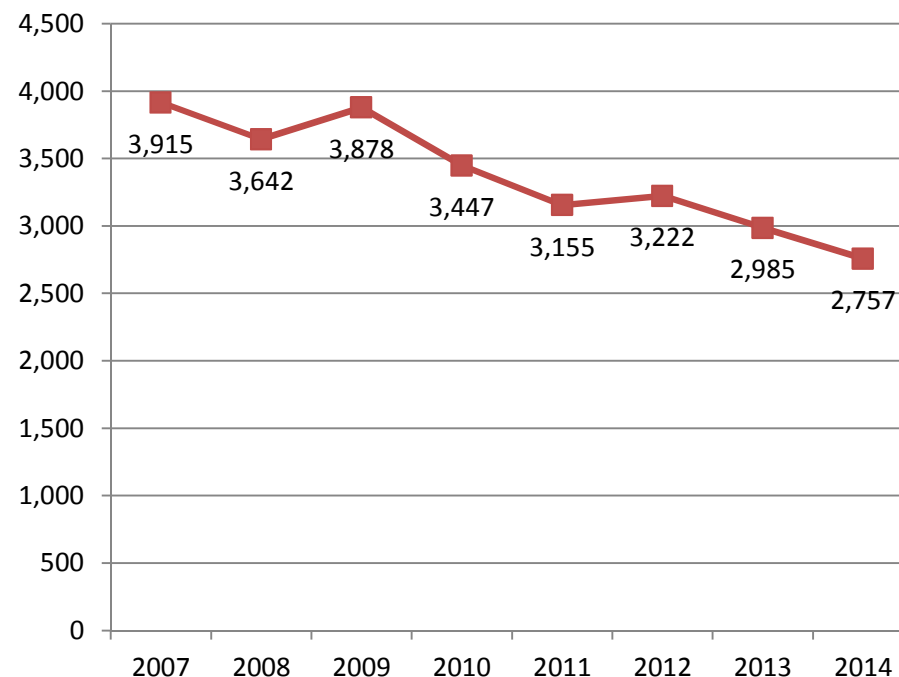
(1) 中小企業の実用新案出願～出願件数～

- 直近5年の年間実用新案出願件数（全体）は1万件を下回っており（2014年は7千件強）、中小企業の実用新案出願も減少傾向にある（2014年は3千件弱、全体の約39%を占める）。
- 2014年の実用新案出願は、全体では対前年比7.0%減、内国人出願では、対前年比9.0%減。中小企業に限ってみても対前年比7.6%減となっている（大企業は対前年比19.5%減）。



総務部普及支援課調べ

中小企業の実用新案出願推移(件数)

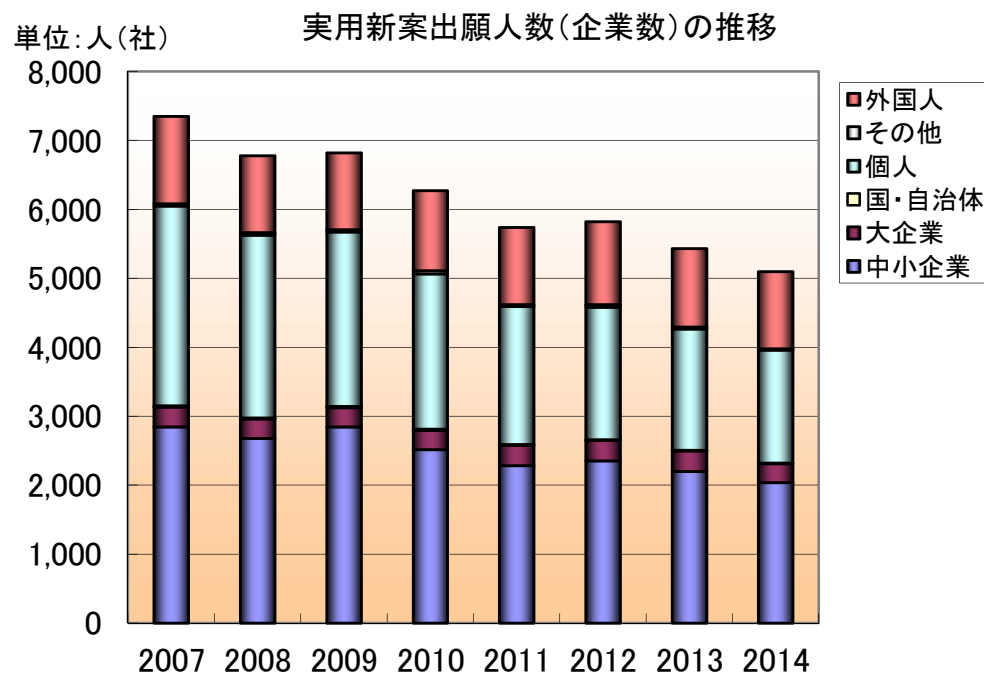


総務部普及支援課調べ

(2) 中小企業の実用新案出願～出願者数～

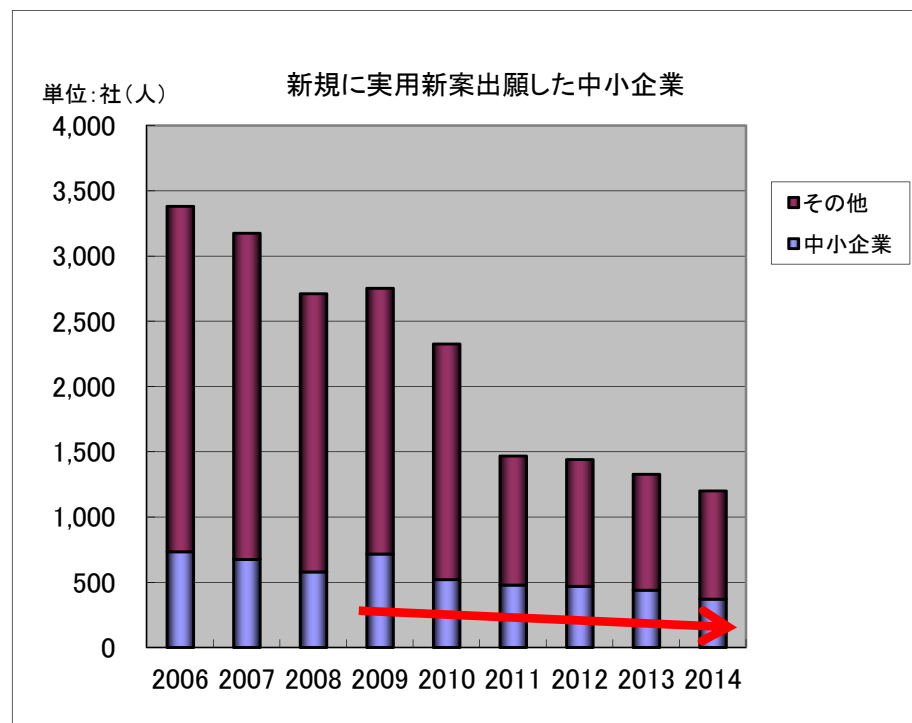
- 実用新案出願者数（全体）は、近年やや減少傾向にあり、2014は対前年比6.0%減となった。中小企業の出願企業数も対前年比7.3%減となっている。
- また、新規に実用新案出願した中小企業数も、やや減少傾向にある。

【出願者数】



総務部普及支援課調べ

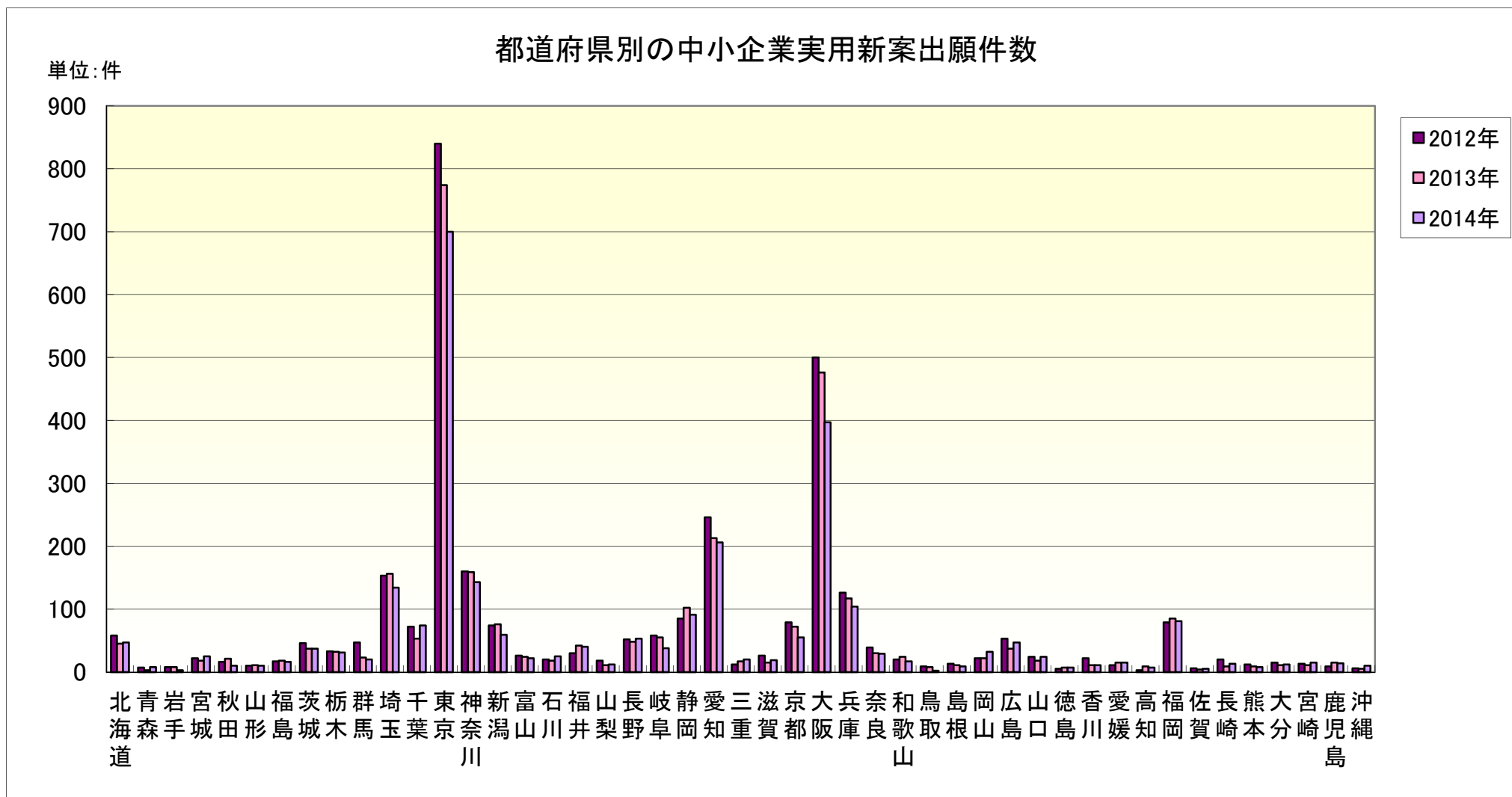
【新規出願者数】



総務部普及支援課調べ

(3) 中小企業の実用新案出願～都道府県別件数～

■ 中小企業の実用新案出願件数を都道府県別でみると、東京、大阪、愛知に集中しており、全国の5割近く（2014年は47.3%）を占めている。



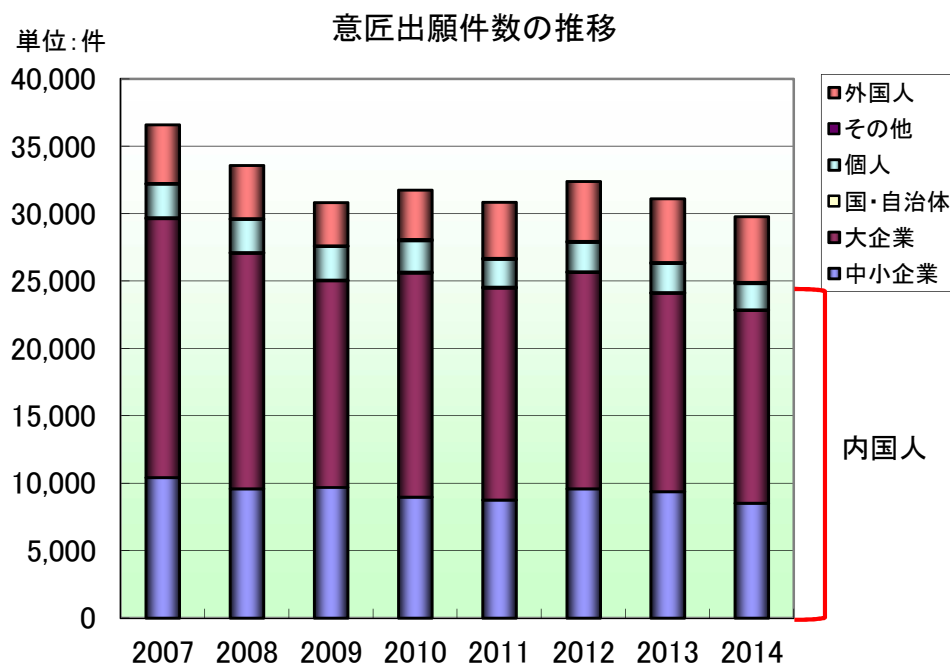
特許庁推計(中小企業産業財産権関係統計)

4. 意匠関連

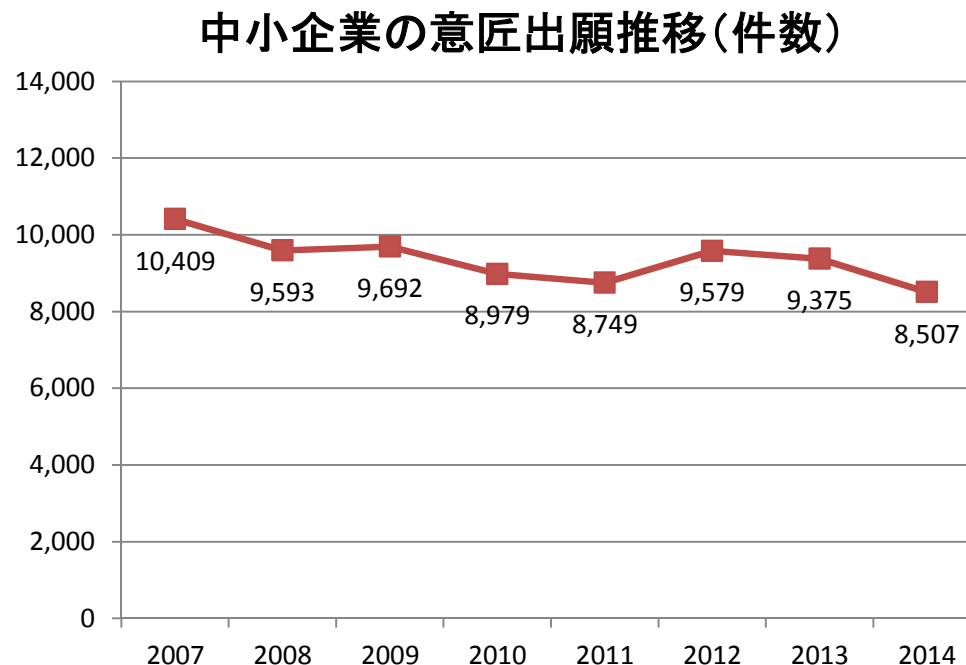
- (1) 中小企業の意匠出願 ～出願件数～
- (2) 中小企業の意匠出願 ～出願者数～
- (3) 中小企業の意匠出願 ～業種別件数～
- (4) 中小企業の意匠出願 ～業種別企業数～
- (5) 中小企業の意匠出願 ～製造業別件数～
- (6) 中小企業の意匠出願 ～製造業別企業数～
- (7) 中小企業の意匠出願 ～意匠分類別件数～
- (8) 中小企業の意匠出願 ～意匠分類別者数～
- (9) 中小企業の意匠出願 ～都道府県別件数～
- (10) 中小企業の意匠出願 ～都道府県別比率～
- (11) 中小企業の意匠出願 ～都道府県別意匠分類構成～

(1) 中小企業の意匠出願～出願件数～

- 直近5年の年間意匠出願件数（全体）は3.0万～3.2万件で推移（2014年は3.0万件）。そのうち、内国人に占める中小企業の意匠出願比率は、32%～36%を維持（2014年は34.2%）。
- 2014年の意匠出願件数は、全体としては対前年比4.5%減であり、内国人出願全体においても、対前年比5.8%減となっている。中小企業に限ってみても【右図】、対前年比9.3%減となっているが、ほぼ横ばいで推移している。



総務部普及支援課調べ

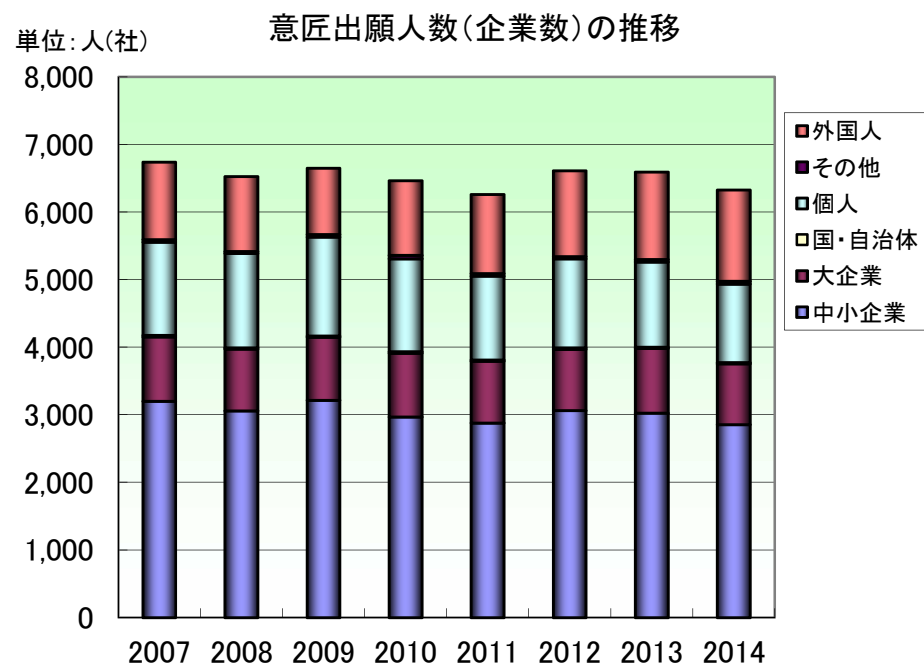


総務部普及支援課調べ

(2) 中小企業の意匠出願～出願者数～

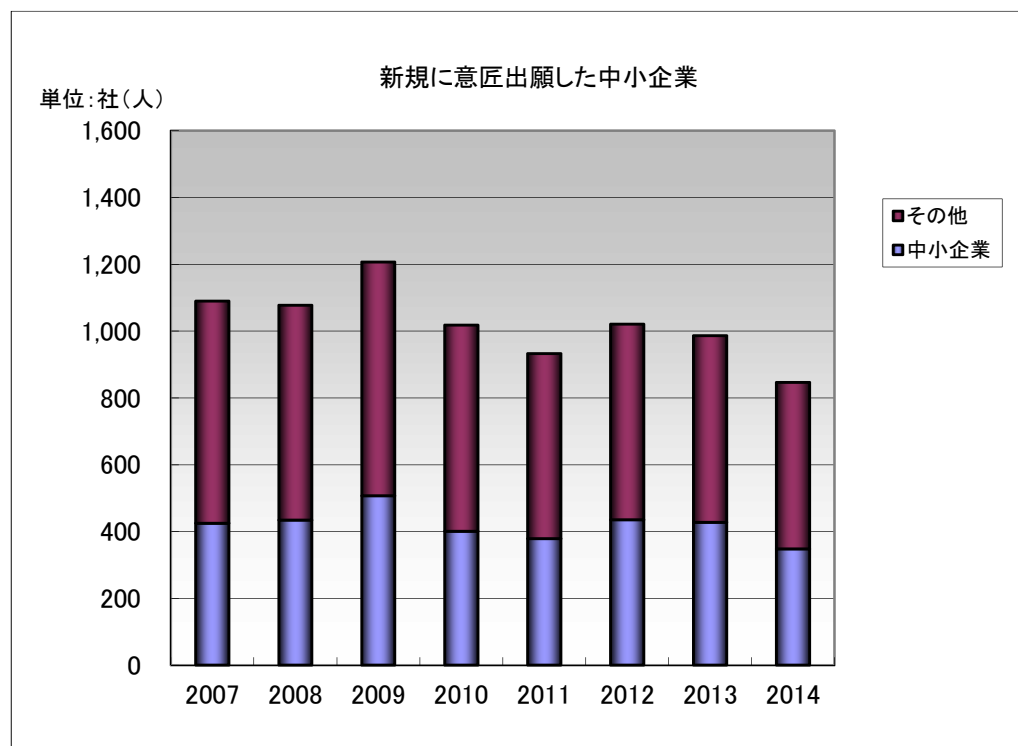
- 意匠出願者数全体に占める中小企業数は、55%～57%（2014年は57%）と高い比率となっている。
- しかし、2014年に意匠出願を行った中小企業数をみると、対前年比5.6%減、新規に意匠出願した中小企業数も対前年比18.7%減となっている。

【出願者数】



総務部普及支援課調べ

【新規出願者数】



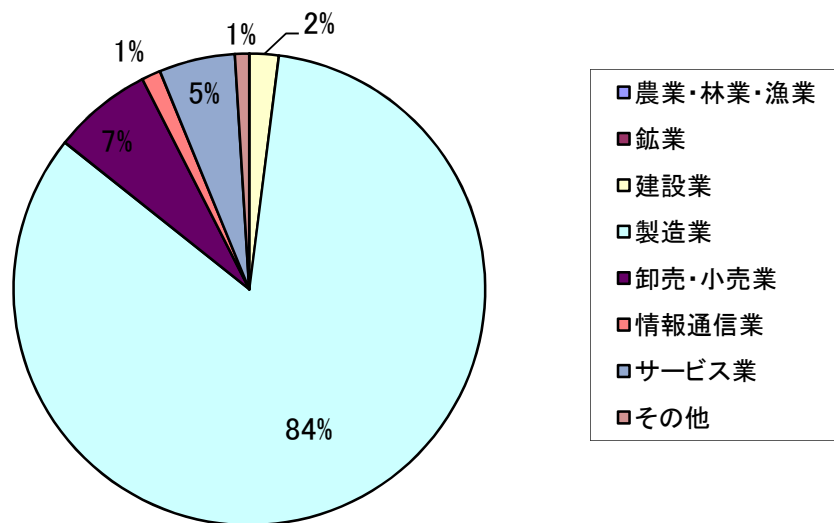
総務部普及支援課調べ

(3) 中小企業の意匠出願～業種別件数～

- 中小企業の意匠出願件数を業種別にみると【右図】、製造業が中小企業全体の67%を占め、次いで、卸売・小売業が22%を占めており、この2業種で全体の89%となっている。
- 一方、大企業においては【左図】、製造業が全体の84%を占めている。

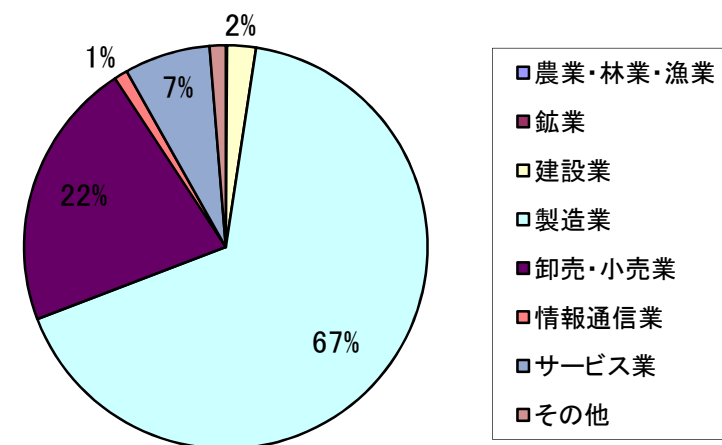
【大企業】

業種別意匠出願件数(大企業:2014年)



【中小企業】

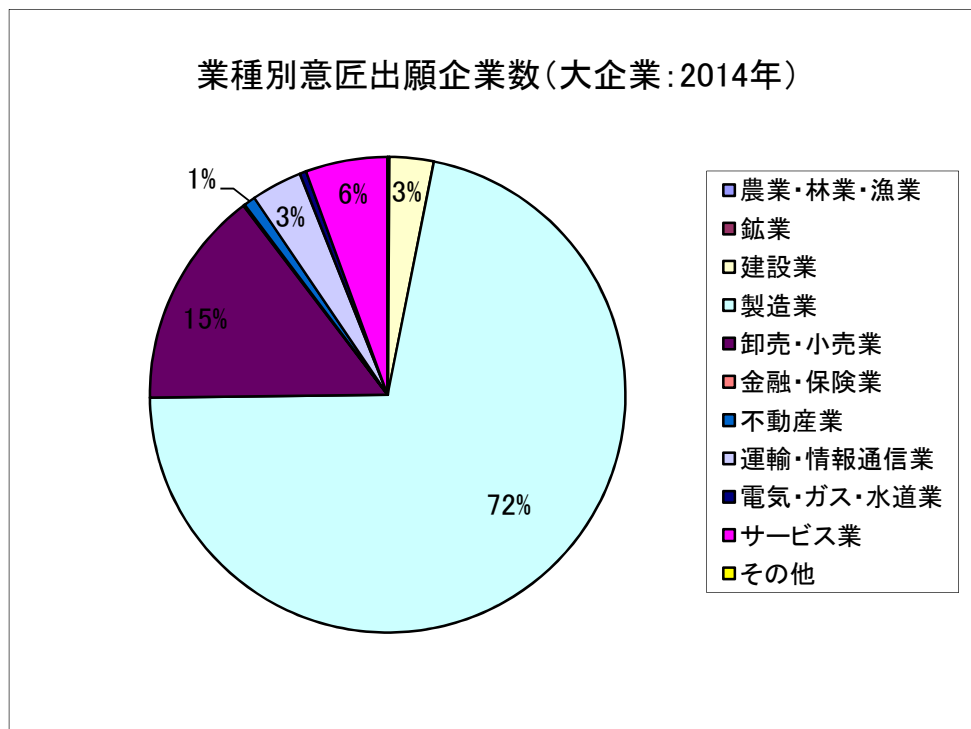
業種別意匠出願件数(中小企業:2014年)



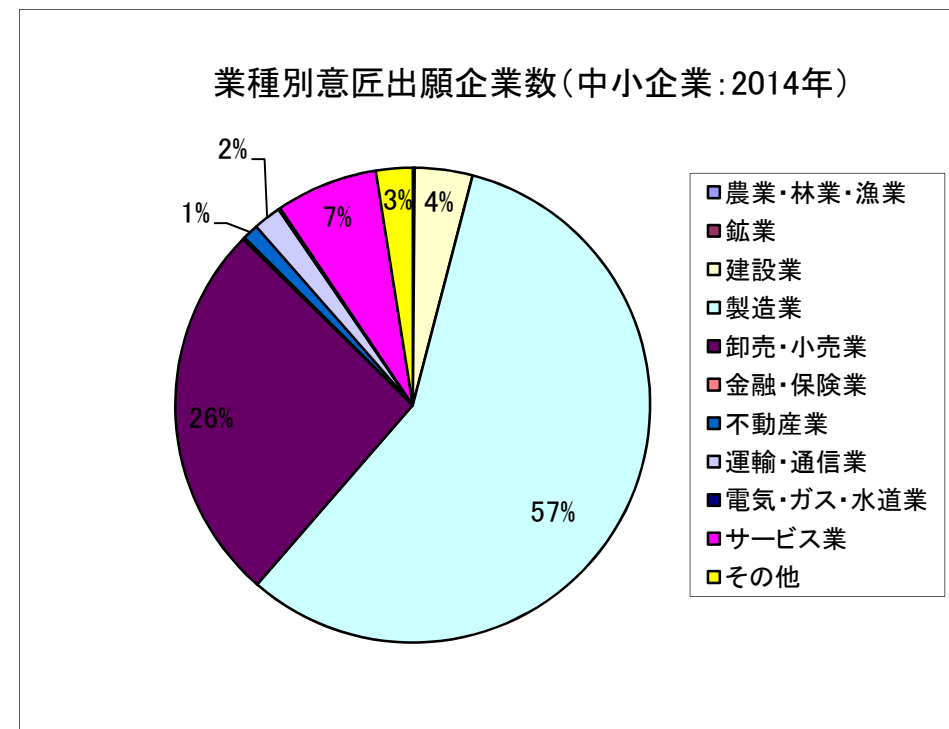
(4) 中小企業の意匠出願～業種別企業数～

- 意匠出願した中小企業数を業種別にみると【右図】、製造業が全体の57%を占め、次いで、卸売・小売業が26%を占めており、この2業種で全体の83%となっている。
- 一方、大企業においては【左図】、製造業が約7割（2014年は72%）を占め、次いで卸売・小売業が15%となっている。

【大企業】



【中小企業】

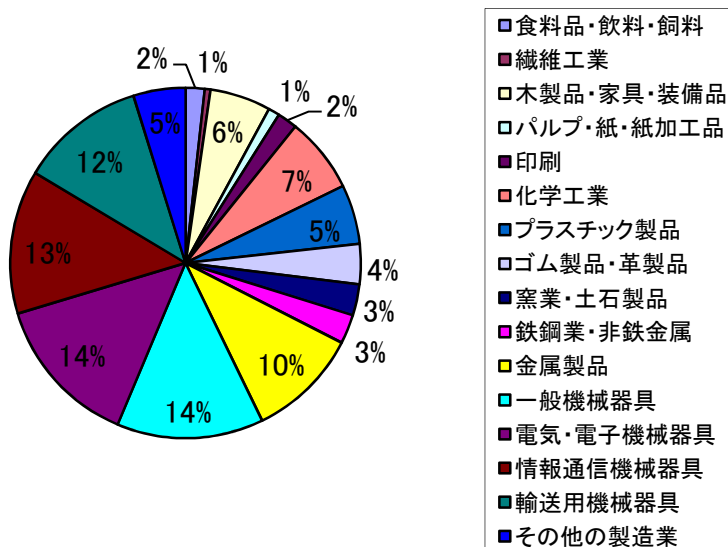


(5) 中小企業の意匠出願～製造業別件数～

- 中小企業製造業の意匠出願件数を分類別にみると【右図】、機械工具や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（17%）、建築用金属製品などの金属製品製造業（15%）、プラスチック日用雑貨・食卓品・容器などのプラスチック製品製造業（12%）の出願割合が高い。
- 一方、大企業では【左図】、民生用電気機械器具や発電・電動機などの電気・電子機械器具製造業（14%）、産業用機械器具や生産用機械器具などの一般機械器具製造業（14%）の出願割合が高い。

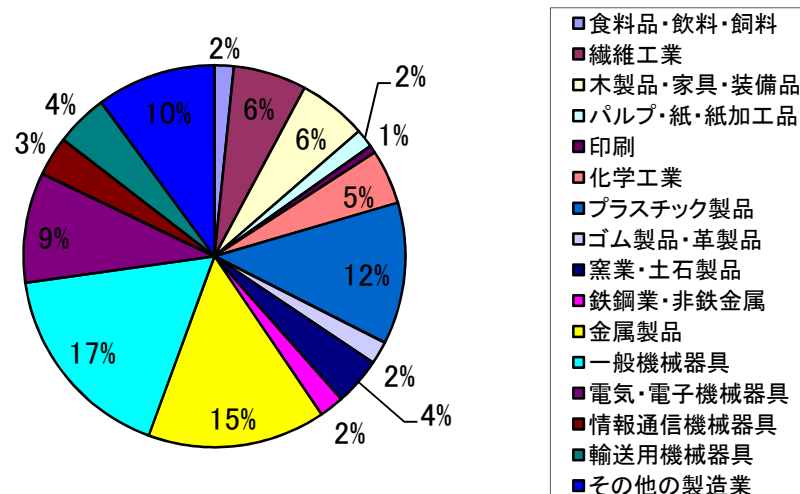
【大企業製造業】

製造業別意匠出願件数(大企業:2014年)



【中小企業製造業】

製造業別意匠出願件数(中小企業:2014年)

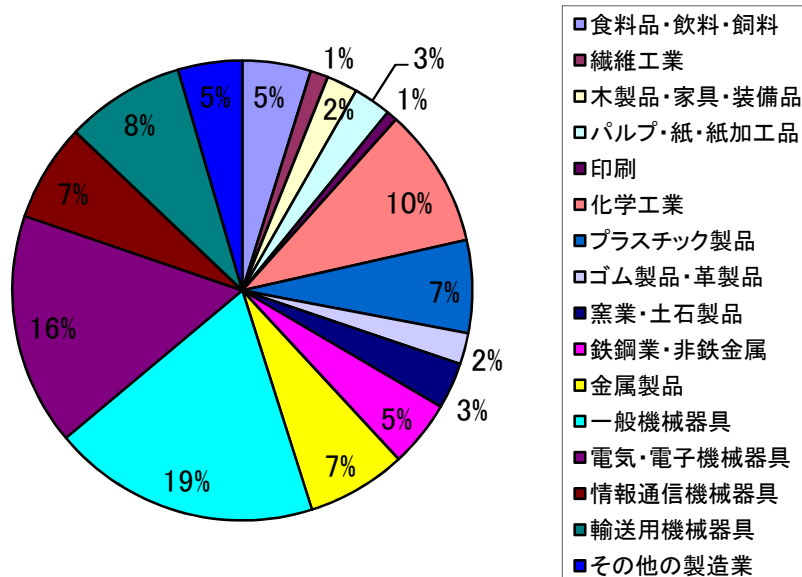


(6) 中小企業の意匠出願～製造業別企業数～

- 意匠出願した中小企業製造業数を分類別にみると【右図】、機械工具や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（20%）、建築用金属製品などの金属製品製造業（13%）、プラスチック日用雑貨・食卓品・容器などのプラスチック製造業（9%）の割合が高い。
- 大企業においては【左図】、事務用機械器具や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（19%）、発電・電動機などの電気・電子機械器具製造業（16%）、医薬品などの化学工業製造業（10%）の割合が高い。

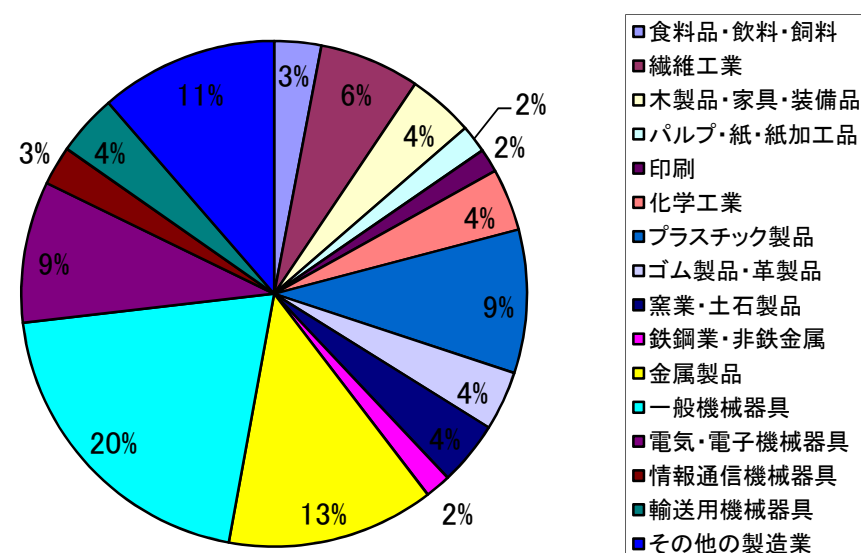
【大企業製造業】

製造業別意匠出願企業数(大企業:2014年)



【中小企業製造業】

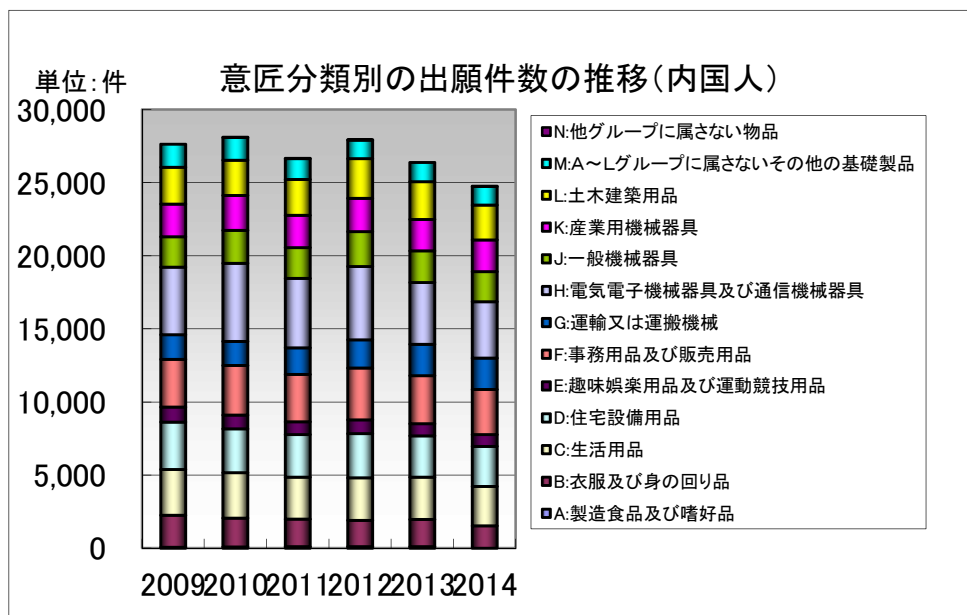
製造業別意匠出願企業数(中小企業:2014年)



(7) 中小企業の意匠出願～意匠分類別件数～

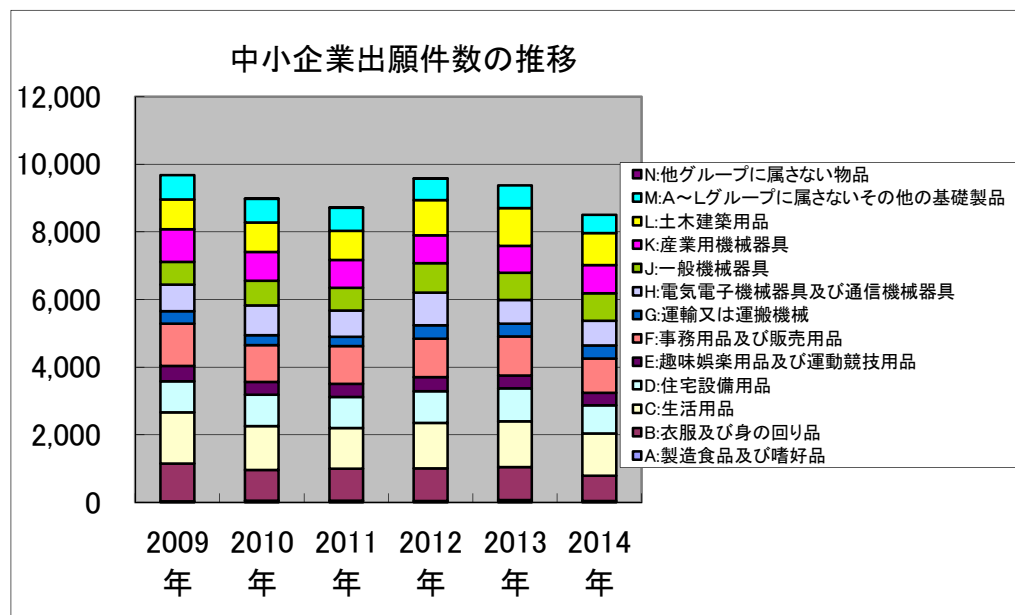
- 中小企業の意匠出願件数を意匠分類別にみると【右図】、食器・調理容器などの生活用品、包装紙・包装容器などの事務用品、土木建築用品の出願が多く、全体の4割近くを占めている。
- 一方、内国人の意匠出願件数をみると【左図】、電子情報入力機器などの電気・電子機械器具、包装紙・包装容器などの事務用品、家具などの住宅設備用品が全体の4割を占めている。

【内国人】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】



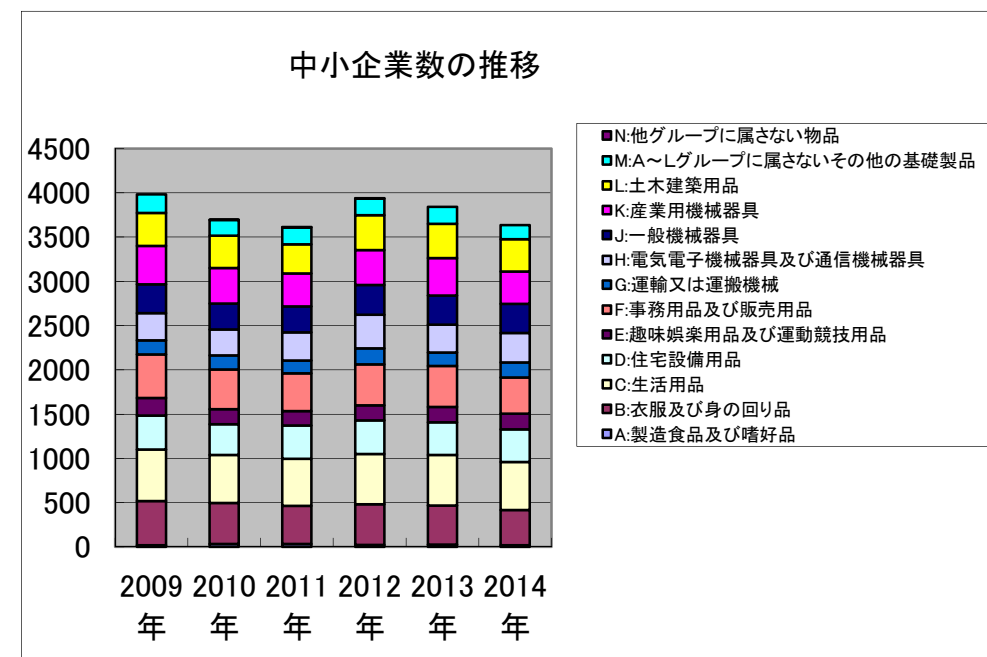
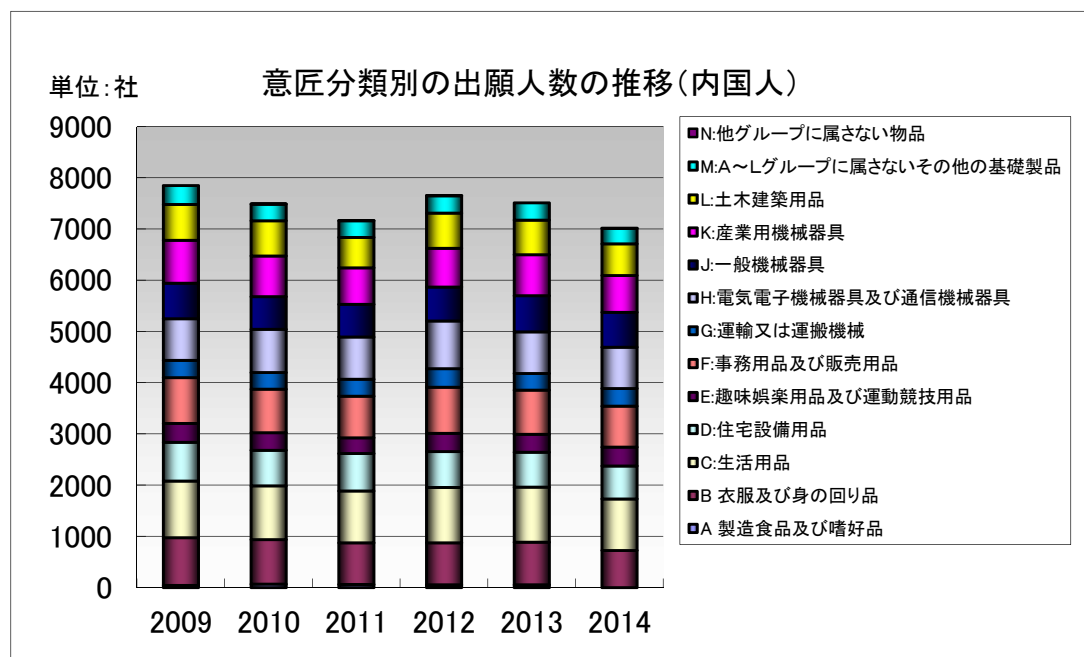
総務部普及支援課調べ

(8) 中小企業の意匠出願～意匠分類別者数～

- 意匠出願した中小企業数を意匠分類別にみると【右図】、食器・調理容器などの生活用品、包装紙・包装容器などの事務用品、衣服及び身の回り品の分野に出願した企業が多く、全体の4割近くを占めている。
- 一方、内国人全体の意匠出願人でみると【左図】、食器・調理容器などの生活用品、電子情報入力機器などの電気・電子機械器具、包装紙・包装容器などの事務用品の分野への出願人が全体の4割近くを占めている。

【内国人】

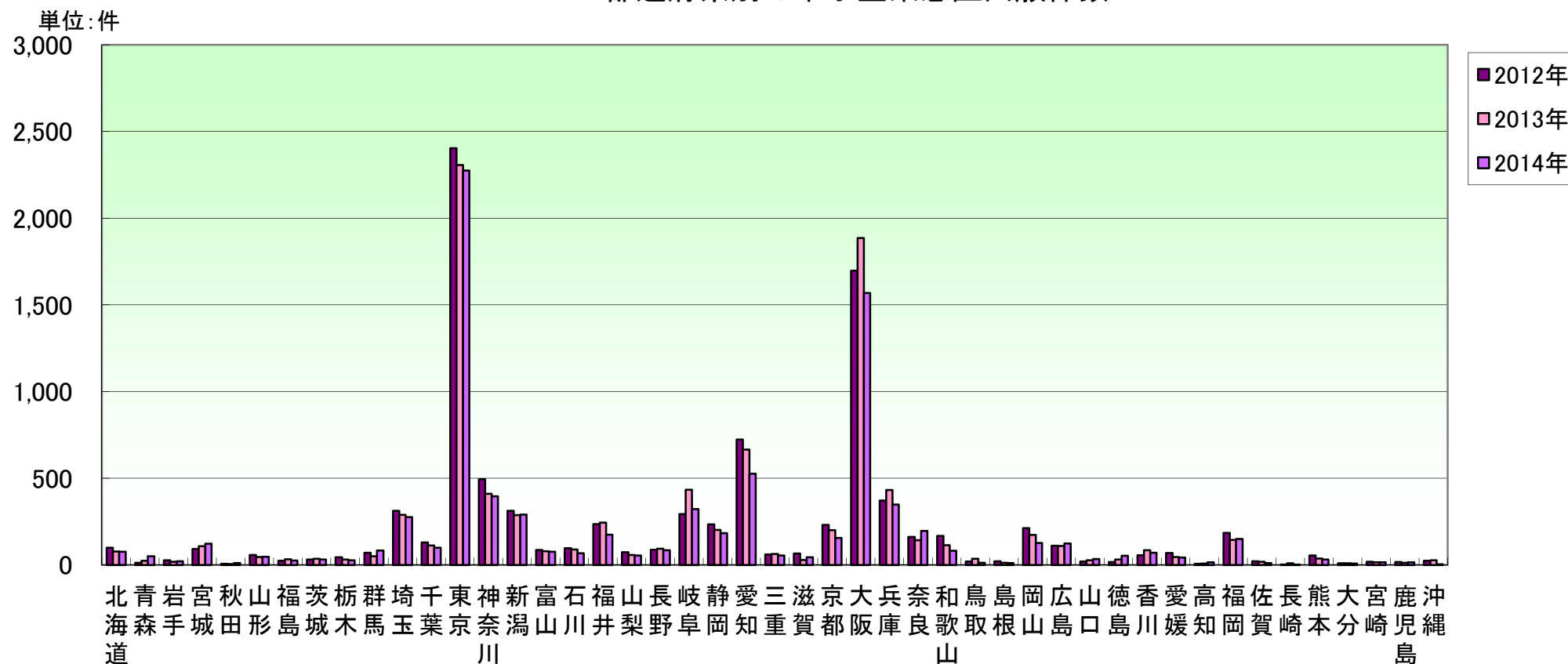
【中小企業】



(9) 中小企業の意匠出願～都道府県別件数～

■ 中小企業の意匠出願を都道府県別にみると、東京、大阪、愛知に出願が集中しており、全国の5割を占めている（2014年は51.4%）。

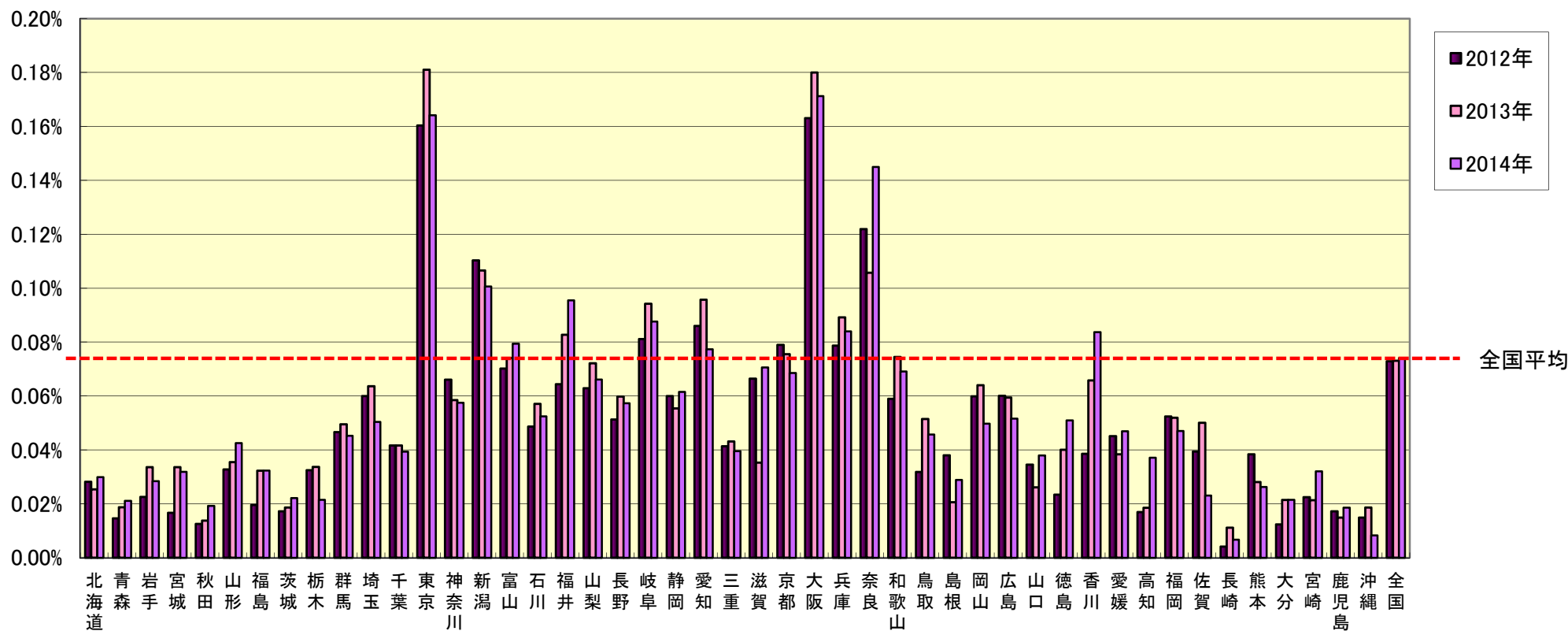
都道府県別の中小企業意匠出願件数



(10) 中小企業の意匠出願～都道府県別比率～

- 中小企業数に対する意匠出願中小企業数の割合（2014年）は、全国平均0.07%である。その中でも、福井や香川のように漸増傾向にある地域もみられる。
- 全国平均を上回る都道府県は、東京、新潟、富山、福井、岐阜、愛知、大阪、兵庫、奈良、香川となっており、中部及び近畿地域に集中している。

中小企業数に対する意匠出願中小企業数

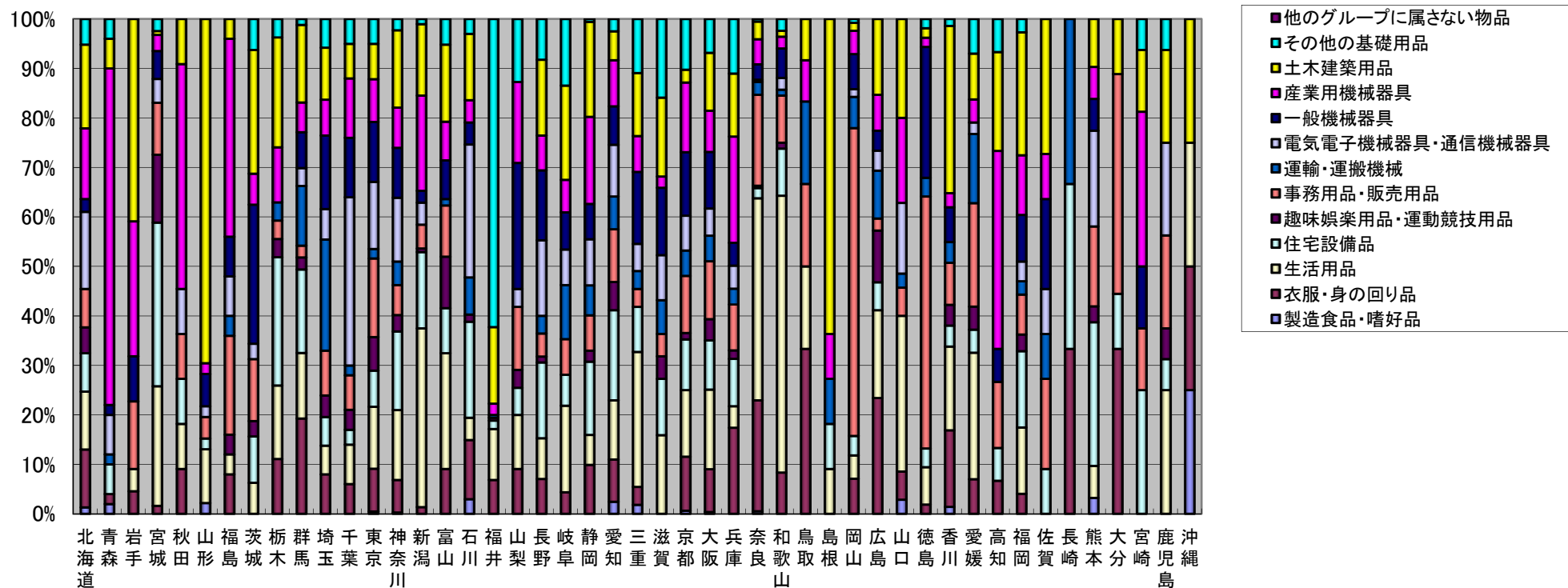


中小企業数は「中小企業白書2015年版付属統計資料」、特許出願中小企業数は「総務部普及支援課調べ」

(11) 中小企業の意匠出願～都道府県別意匠分類構成～

■ 2014年の中小企業の意匠出願を都道府県別に意匠分類でみると、衣服・身の回り品の比率が高い大分県・長崎県、生活用品の比率が高い和歌山県・奈良県、事務用品の比率が高い岡山県、一般機械器具の比率が高い徳島県、産業用機械器具の比率が高い青森県・秋田県、土木建築用品の比率が高い山形県など都道府県によって顕著な特徴が表れている。

中小企業出願における意匠分類の構成(2014年)

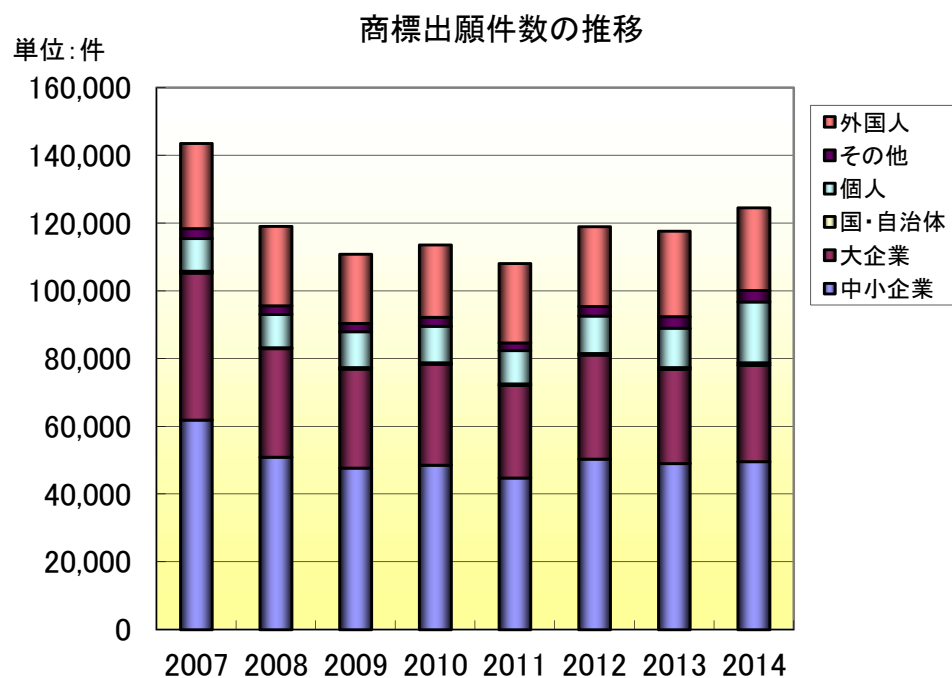


5. 商標関連

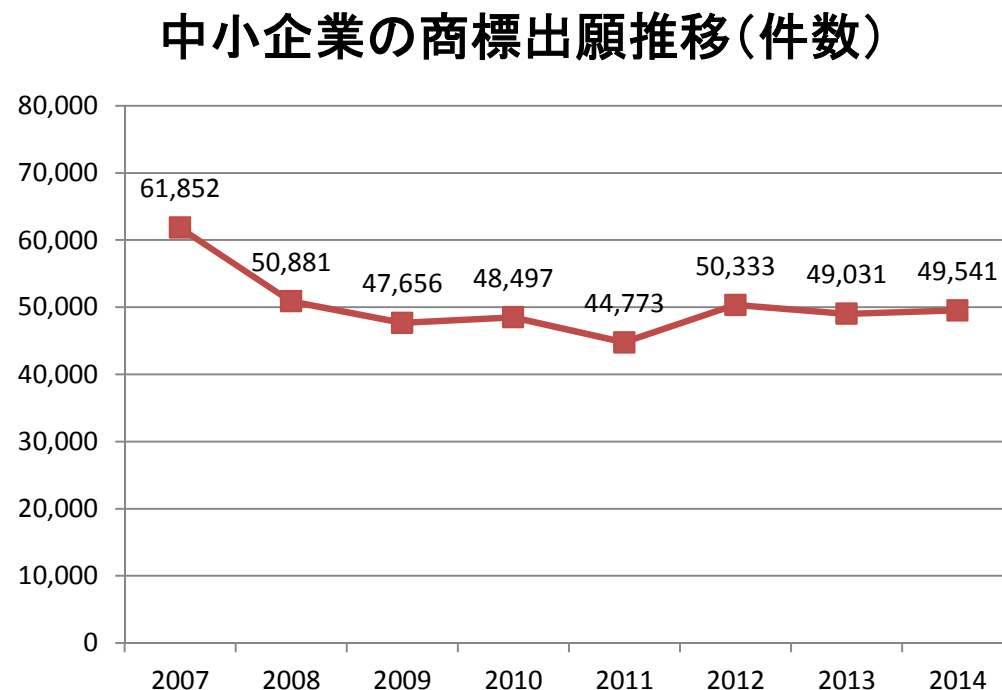
- (1) 中小企業の商標出願 ～出願件数～
 - (2) 中小企業の商標出願 ～出願者数～
 - (3) 中小企業の商標出願 ～業種別件数～
 - (4) 中小企業の商標出願 ～業種別企業数～
 - (5) 中小企業の商標出願 ～製造業別件数～
 - (6) 中小企業の商標出願 ～製造業別企業数～
 - (7) 中小企業の商標出願 ～商標分類別件数～
 - (8) 中小企業の商標出願 ～都道府県別件数～
 - (9) 中小企業の商標出願 ～都道府県別比率～
 - (10) 中小企業の商標出願 ～都道府県別商標分類構成～
 - (11) 地域団体商標の出願 ～都道府県別・産品別～
- 地域団体商標MAP

(1) 中小企業の商標出願～出願件数～

- 直近5年の年間商標出願件数（全体）は、11万～12万件で推移。そのうち、内国人出願に占める中小企業の出願比率は、50%～53%を堅持（2014年は50.0%）。
- 2014年の商標出願件数は、全体として対前年比5.8%増となり、内国人出願でも対前年比8.2%増となった。また、中小企業に限ってみても【右図】、対前年比1.0%増となっているが、ここ数年は横ばい傾向といえる。



総務部普及支援課調べ

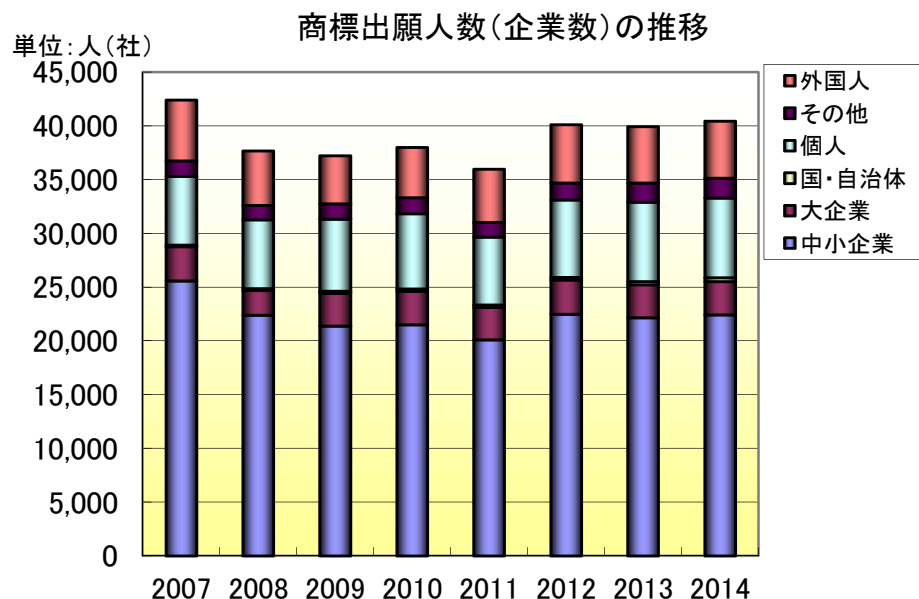


総務部普及支援課調べ

(2) 中小企業の商標出願～出願者数～

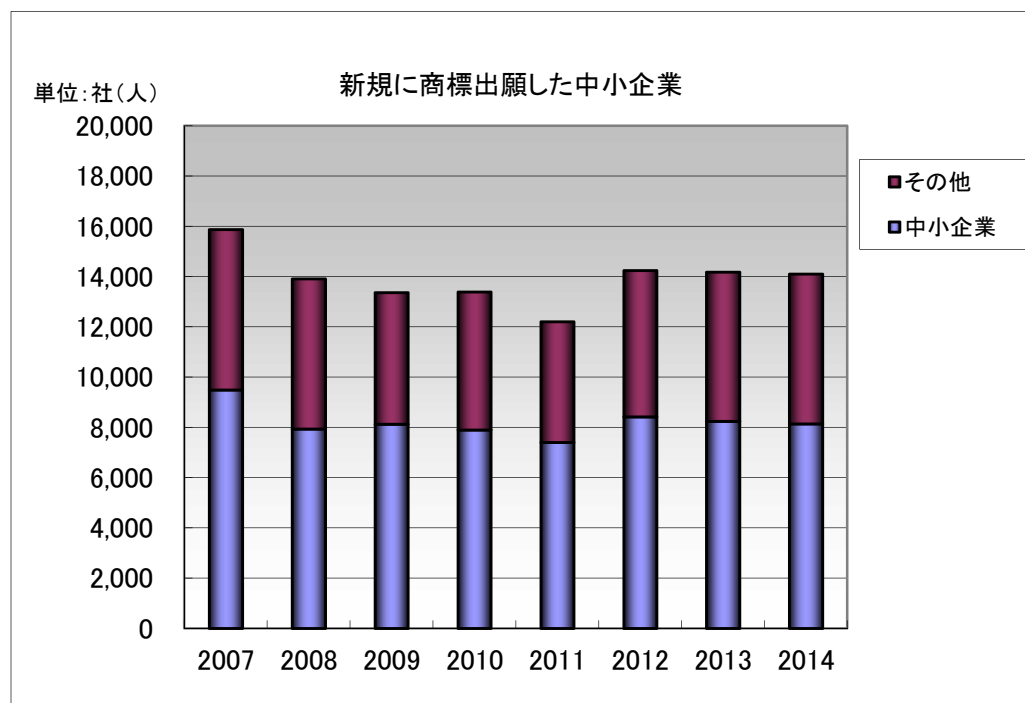
- 商標出願者数全体に占める中小企業数は、64%～65%（2014年は63.8%）と高い。出願件数・出願者数ともに中小企業は高い割合を占めており、商標出願全体に与える影響は大きい。
- しかし、2014年の中小企業の商標出願は、出願件数が増加しただけでなく、出願した企業数も増加に転じた（対前年比1.2%増）。
- 新規に商標出願する中小企業数は【右図】、近年増減を繰り返しており、2014年は対前年比で微減した（1.2%減）。

【出願者数】



総務部普及支援課調べ

【新規出願者数】



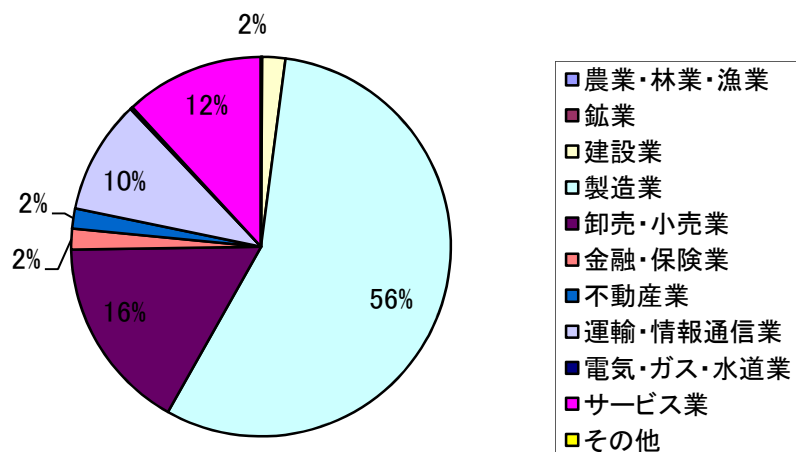
総務部普及支援課調べ

(3) 中小企業の商標出願～業種別件数～

- 中小企業の商標出願件数を業種別にみると【右図】、製造業が全体の33%、卸売・小売業が25%、サービス業が21%を占めており、この3業種で全体の79%となっている。
- 大企業においては【左図】、製造業が56%、卸売・小売業が16%、サービス業が12%となっている。

【大企業】

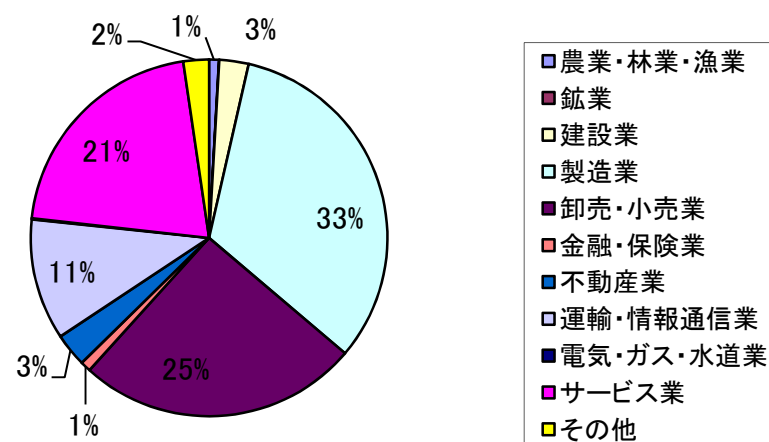
業種別商標出願件数(大企業:2014年)



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

業種別商標出願件数(中小企業:2014年)



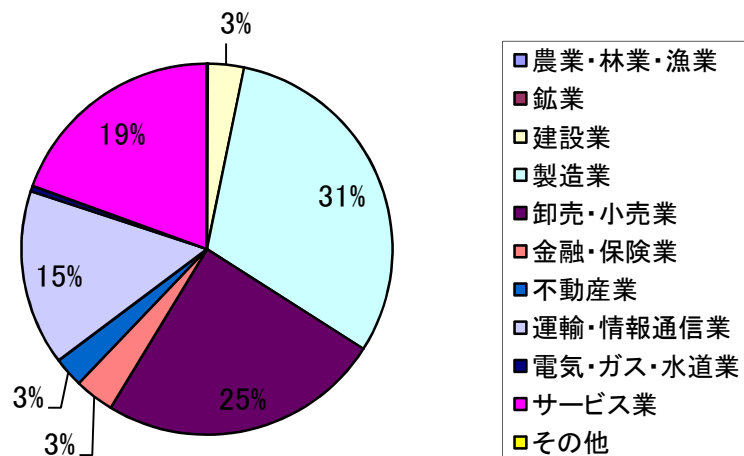
総務部普及支援課調べ

(4) 中小企業の商標出願～業種別企業数～

- 商標出願した中小企業数を業種別にみると【右図】、製造業が全体の28%、卸売・小売業が27%、サービス業が22%を占めており、この3業種で全体の77%となっている。
- 大企業においては【左図】、製造業が31%、卸売・小売業が25%、サービス業が19%となっている。

【大企業】

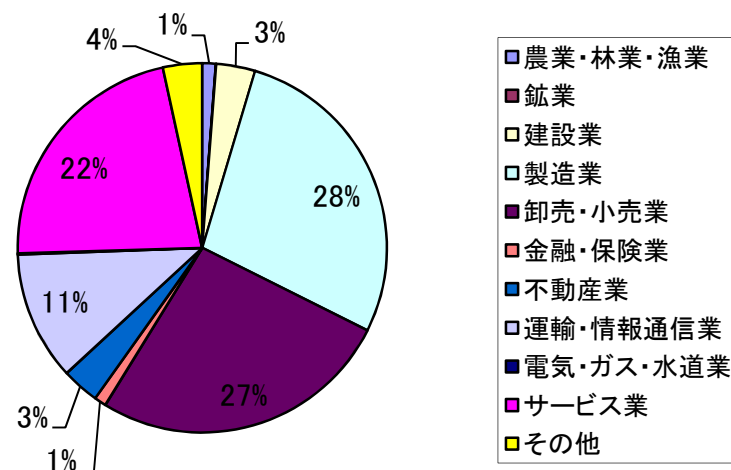
業種別商標出願企業数(大企業:2014年)



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

業種別商標出願企業数(中小企業:2014年)



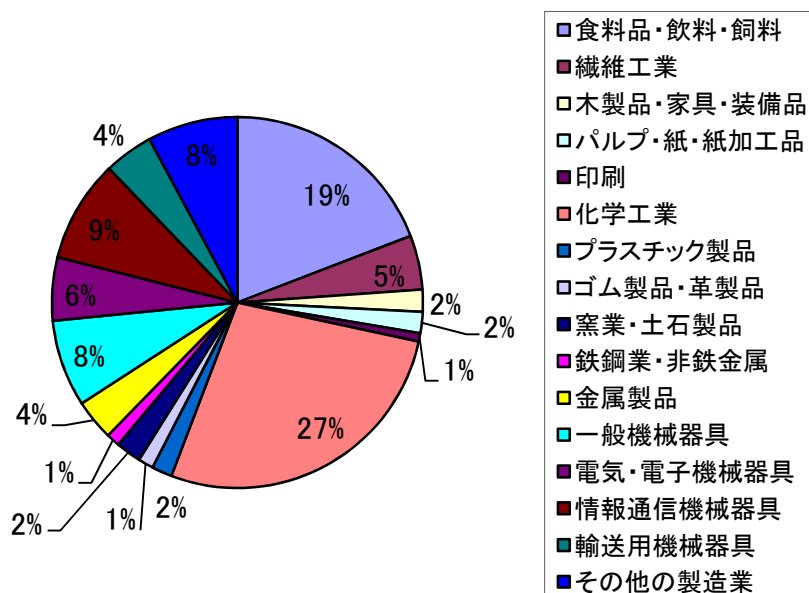
総務部普及支援課調べ

(5) 中小企業の商標出願～製造業別件数～

- 中小企業製造業の商標出願件数を分類別にみると【右図】、パン・菓子などの食料品・飲料・飼料製造業が全体の1/3を占め（29%）、次いで化粧品などの化学工業製造業（18%）、サービス用・娯楽用機械器具や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（11%）の割合が高い。
- 大企業においては【左図】、医薬品などの化学工業製造業（27%）、清涼飲料水や乳製品などの食料品・飲料・飼料製造業（19%）、映像・音響機械器具などの情報通信機械器具製造業（9%）の順になっている。

【大企業製造業】

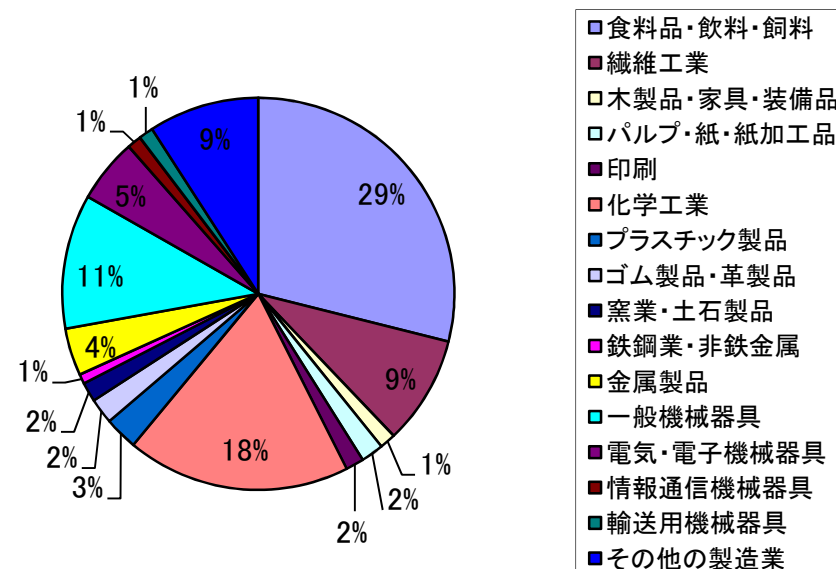
製造業別商標出願件数(大企業:2014年)



総務部普及支援課調べ

【中小企業製造業】

製造業別商標出願件数(中小企業:2014年)



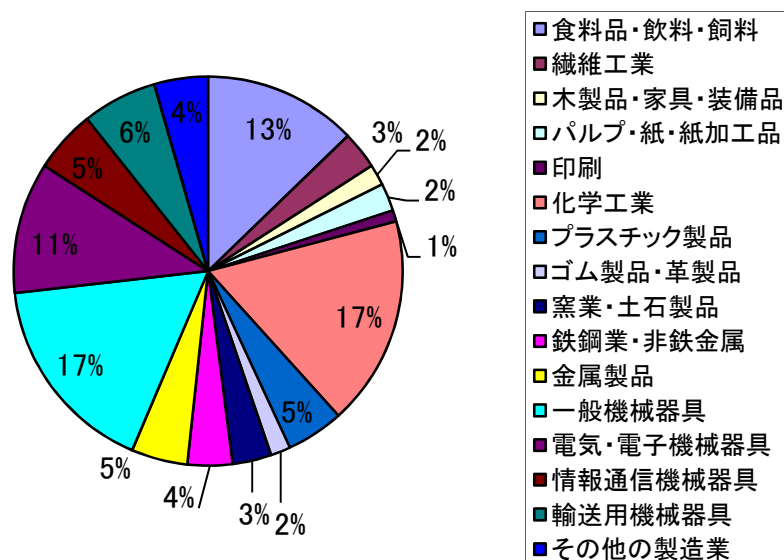
総務部普及支援課調べ

(6) 中小企業の商標出願～製造業別企業数～

- 商標出願した中小企業製造業数を分類別にみると【右図】、水産食品や保存食料品などの食料品・飲料・飼料製造業が全体の1/3を占め（28%）、次いで化粧品などの化学工業（13%）、生糸・綿糸・麻糸・化学繊維などの繊維工業製造業（11%）の割合が高い。
- 一方、大企業では【左図】、事務用機械器具、金属加工機械や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（17%）、医薬品などの化学工業（17%）、畜産食料品などの食料品・飲料・飼料製造業（13%）、発電・送配電用電気機械器具などの電気・電子機械器具製造業（11%）の順になっている。

【大企業製造業】

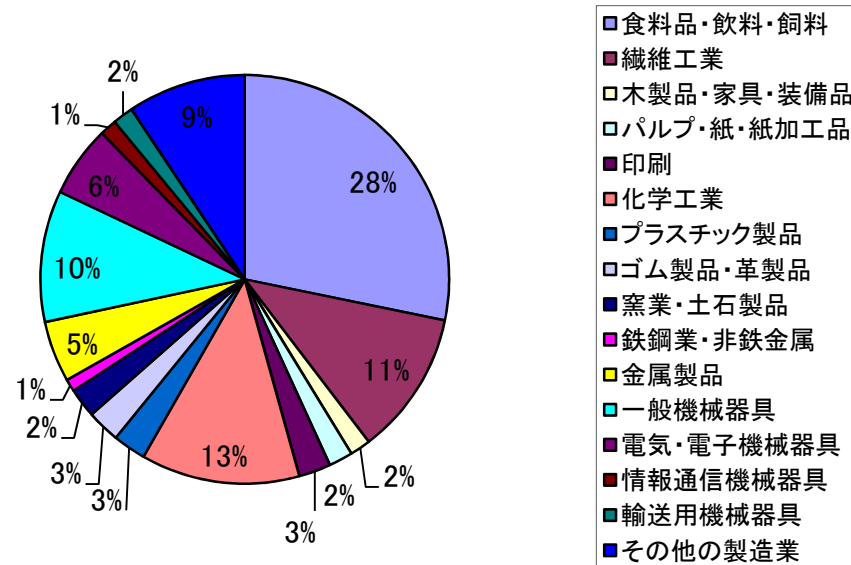
製造業別商標出願企業数(大企業:2014年)



総務部普及支援課調べ

【中小企業製造業】

製造業別商標出願企業数(中小企業:2014年)

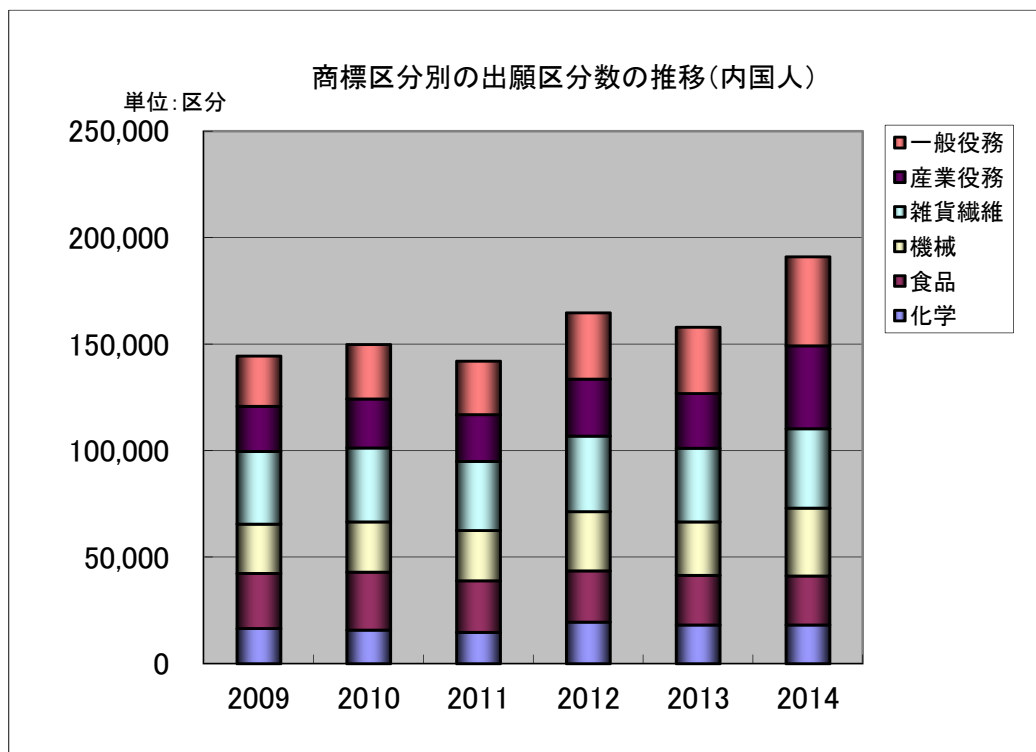


総務部普及支援課調べ

(7) 中小企業の商標出願～商標分類別件数～

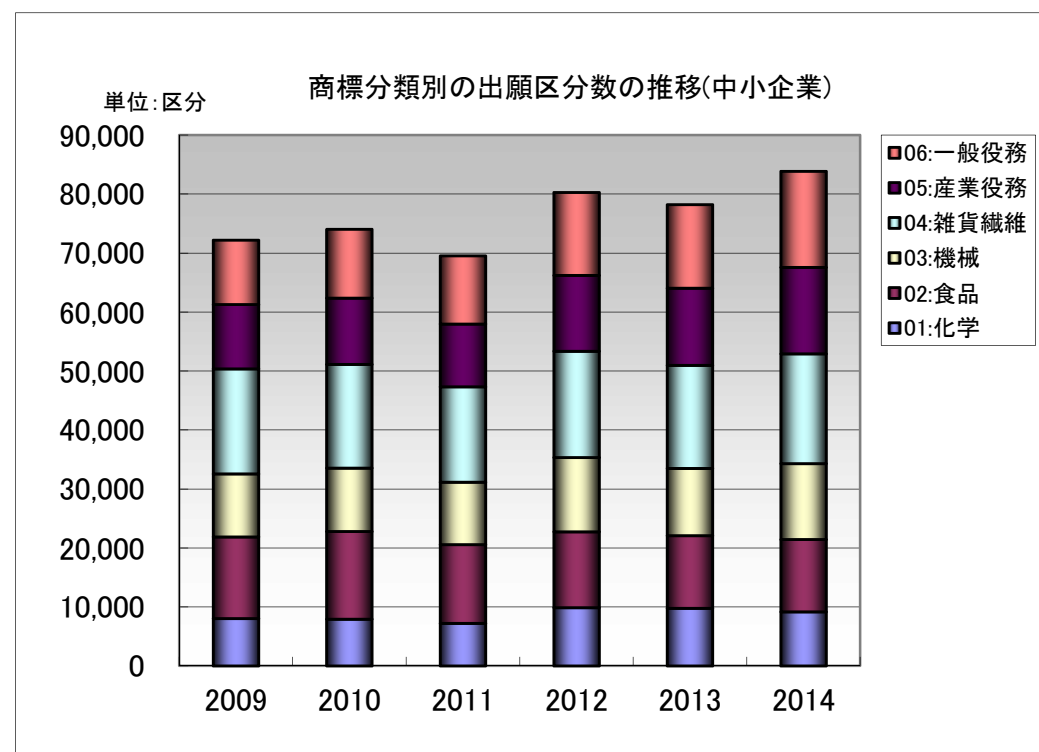
- 中小企業の商標出願件数を商標分類別にみると【右図】、被服・履物・紙・事務用品などの雑貨・繊維分野、教育・娯楽・スポーツ・文化活動などの一般役務分野の出願が多く、この2分野で全体の4割を占めている。
- また、内国人の商標出願件数【左図】でみても同様に、被服・履物・紙・事務用品などの雑貨・繊維分野、教育・娯楽・スポーツ・文化活動などの一般役務分野への出願が多く、この2分野で全体の4割を占めている。

【内国人】



総務部普及支援課調べ

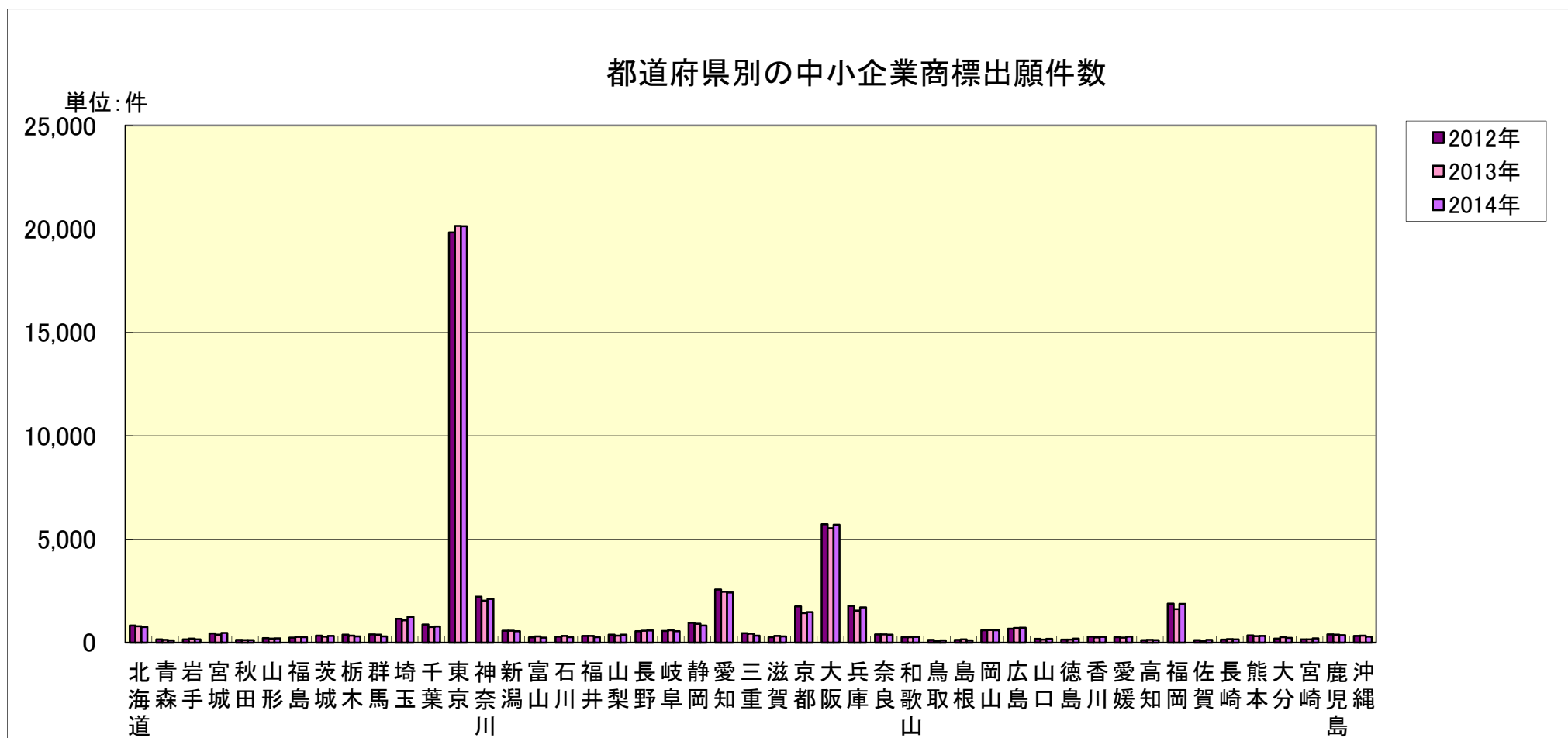
【中小企業】



総務部普及支援課調べ

(8) 中小企業の商標出願～都道府県別件数～

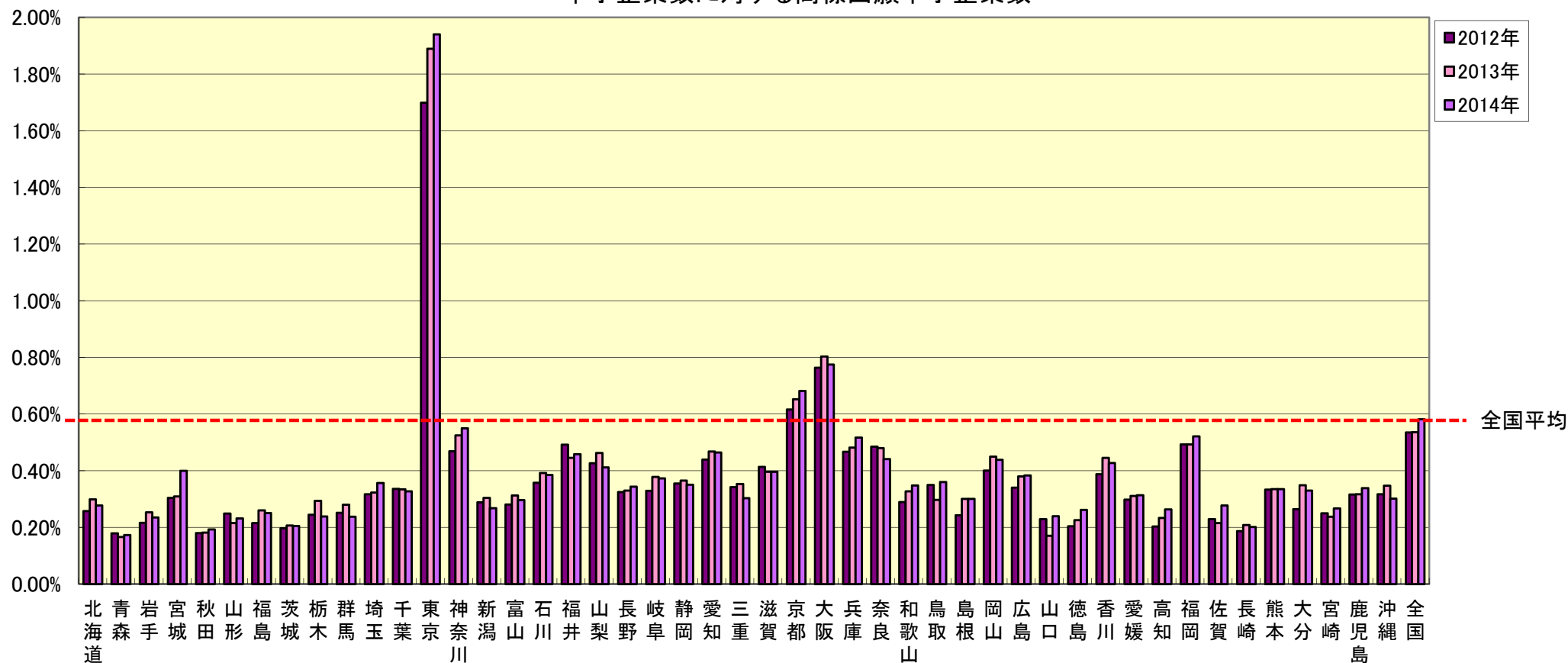
- 中小企業の商標出願を都道府県別にみると、東京に出願が集中しており、全国の4割（2014年は40.6%）を占めている。
- そのため、東京の出願の増減が中小企業全体の出願件数に影響を与えている。



(9) 中小企業の商標出願～都道府県別比率～

- 中小企業数に対する商標出願企業数の割合は（2014年）、全国平均0.6%と低調である。
- 全国平均を上回る都道府県は、東京、京都、大阪のみとなっている。

中小企業数に対する商標出願中小企業数

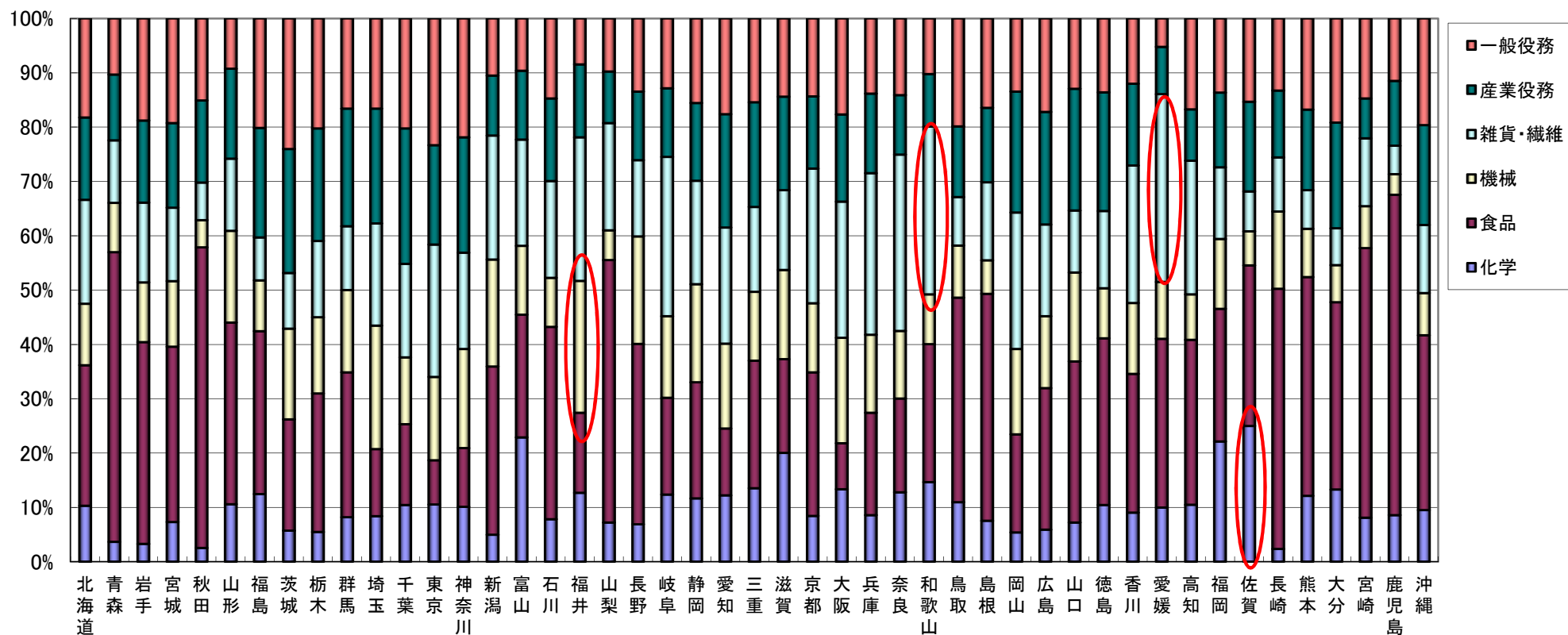


中小企業数は「中小企業白書2015年版付属統計資料」、特許出願中小企業数は「総務部普及支援課調べ」

(10) 中小企業の商標出願～都道府県別商標分類構成～

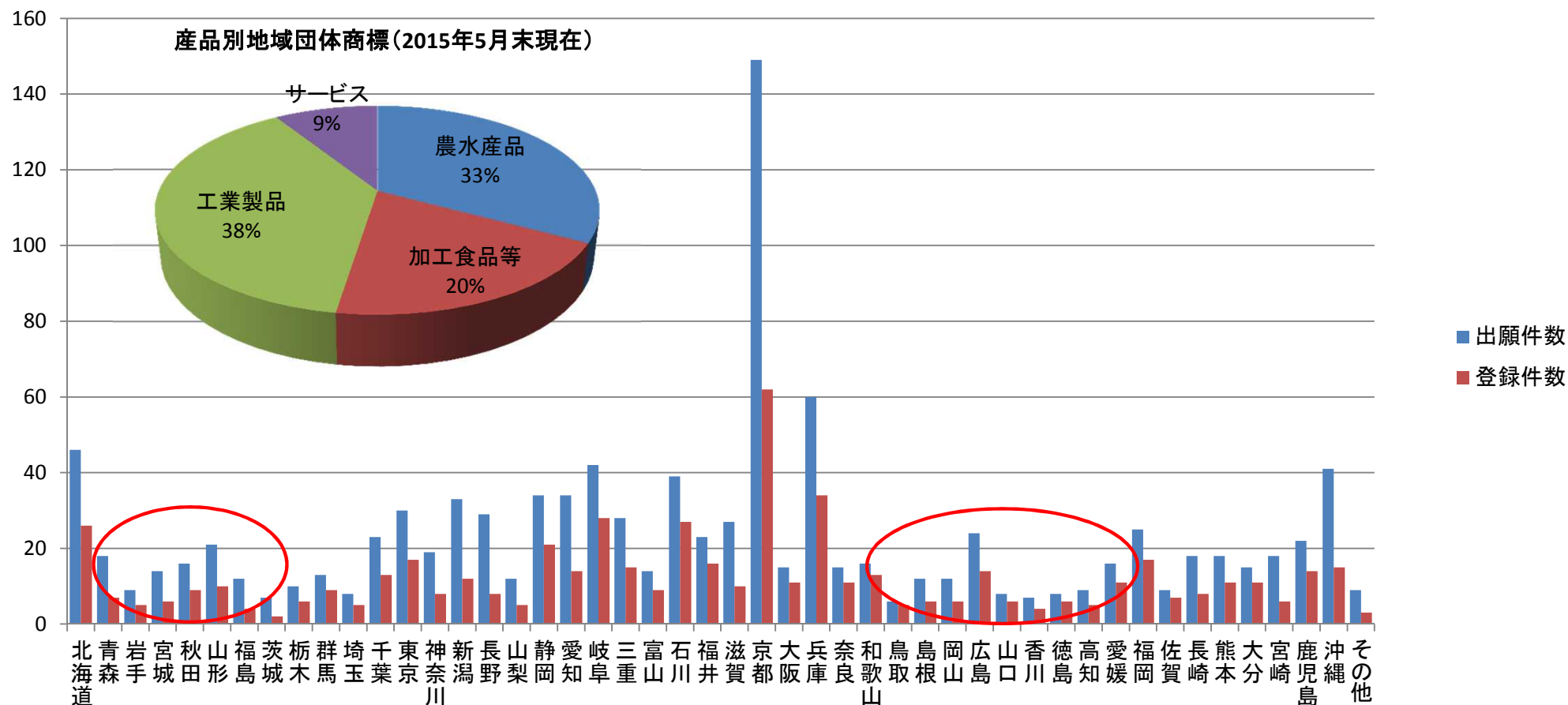
- 2014年の中小企業の商標出願を都道府県別に商標分類でみると、全体的に食品分野の出願構成比が高い都道府県が多い。
- また、特徴的な出願傾向としては、佐賀県の化学分野、福井県の機械分野、和歌山県や愛媛県の雑貨・繊維分野などである。

中小企業の出願における商標分類の構成(2014年)



(11)地域団体商標の出願～都道府県別・産品別～

- 地域団体商標の累計は、出願件数が1,093件、登録件数が576件（2015年5月末現在）となっているが、京都などの一部の都道府県に片寄った傾向がみられ、東北、中国、四国地域は低調である。
- また、産品別にみると、野菜・食肉・魚等の農水産物(33%)と水産物等の加工食品(20%)が全体の53%を占めており、織物・焼物等の工業製品は38%に留まっている。



地域団体商標MAP

平成27年5月31日までに登録された商標(576件)

海外

【イタリア国】
●PROSCIUTTO DI PARMA
【カナダ国】
●カナダポーク
【中国】
●鎮江香醋

九州

【福岡県】
●博多人形●小石原焼●博多織●上野焼
●八女提灯●合馬たけのこ●八女茶
●福岡の八女茶●八女福島仏壇●博多なす
●久留米かすり●久留米餅●原鶴温泉
●博多焼酎●博多蕎麦●はかた地どり
●福岡のり
【佐賀県】
●神埼そうめん●佐賀のり●伊万里梨
●佐賀産和牛●小城羊羹●うれしの茶
●唐津焼
【長崎県】
●長崎カステラ●五島うどん●五島手延うどん
●九十九島かき●小長井牡蠣●五島牛
●長崎和牛●苓岐牛
【熊本県】
●球磨焼酎●阿蘇たかな漬
●熊本名産からし連根●天草黒牛
●黒川温泉●小国杉●くまもと畳表
●菊池温泉●杖立温泉●くまもと茶
●天草ぶり
【大分県】
●関あじ●関さば●大分麦焼酎
●大分むぎ焼酎●豊後別府湾りめん
●豊後牛●日田梨●小鹿田焼
●豊後きのこカレー●岬ガザミ●珍珠米
【宮崎県】
●宮崎牛●宮崎ハープ牛●宮崎の本格焼酎
●北浦灘アジ●みやざき地頭鶏●都城和牛
【鹿児島県】
●かごしま知覧茶●本場奄美大島焼●薩摩焼
●知覧茶●本場大島焼●川辺仏壇●かけろまきび酢
●知覧紅●鹿児島黒牛●奄美黒糖焼酎
●桜島小みかん●枕崎鯉節●赤鶏さつまいも

沖縄

【沖縄県】
●石垣の塩●沖縄そば
●琉球泡盛●琉球ひんがた
●首里織●本場久米島焼
●沖縄黒糖●八重山かまぼこ
●石垣牛●壺屋焼●宮古上布
●琉球かすり●琉球餅
●沖縄赤瓦●読谷山花織

中国

【鳥取県】
●三朝温泉●東伯和牛
●東伯牛●因州和紙
●大山ブロッコリー
【島根県】
●石州瓦●しまね和牛
●玉造温泉●十六島紫菜
●多伎いちじく●石見和牛肉
【岡山県】
●岡山白桃●千屋牛●湯郷温泉
●湯原温泉●備前焼●藤田レタス
【広島県】
●福山琴●広島みかん
●広島酒●広島はっさく
●府中家具●広島かき
●高根みかん●広島レモン
●広島針●びんご畳表
●三次ピアノ●福山のくわい
●大長レモン●大長みかん
【山口県】
●下関うに●北浦うに
●長門ゆずき●厚保くり
●下関ふく●長門湯本温泉

北陸

【富山県】
●入善ジャンボ西瓜●黒部米●高岡仏具
●高岡銅器●加積りんご
●富山名産昆布巻かまぼこ●とやま牛
●大門素麺●富山湾のシロエビ
【石川県】
●加賀みそ●金沢仏壇●七尾仏壇●中島菜
●牛首焼●山代温泉●片山津温泉●和倉温泉
●加賀友禅●金沢箔●丸谷焼●山中温泉
●輪島塗●粟津温泉●大野醤油●能州紬
●美川仏壇●田鶴浜建具●加賀蒔絵●小松瓦
●加賀野菜●加賀太きゅうり●加賀れんこん
●能登牛●能登大納言●沢野ごぼう●能登井
【福井県】
●越前漆器●越前竹人形●若狭かいり
●若狭塗箸●越前瓦●越前がに●若狭ぐじ
●若狭ふぐ●越前打刃物●越前織●越前和紙
●芦原温泉●あわら温泉●越前水仙
●越前さといも●越前・若狭の地酒

東北

【青森県】
●たっこにんにく●嶽きみ●大間まぐろ
●大鰐温泉もやし●野辺地葉つきこかぶ
●風間浦鮫鱈●十和田湖ひめます
【岩手県】
●いわて牛●いわて短角和牛●南部鉄器
●江刺りんご●真崎わかめ
【宮城県】
●仙台味噌●仙台みそ●仙台牛
●仙台黒毛和牛●仙台いちご●雄勝硯
【秋田県】
●秋田由利牛●比内地鶏●秋田諸越
●白神山うど●川連漆器●三梨牛
●横手やきそば●大館揚げわっぱ
●三関せり
【山形県】
●刈屋梨●平田赤ねぎ●米沢織●米沢牛
●山形佛壇●山形おきたま産デラウエア
●置賜紬●米沢らーめん
●山形名物玉こんにゃく●蔵王かぼちゃ
【福島県】
●南郷トマト●土湯温泉●会津みそ
●大堀相馬焼

北海道

【北海道】
●十勝川西長いも●鶴川ししゃも●豊浦いちご
●はばまい昆布しょうゆ●大正メークイン
●大正長いも●大正だいこん●苦小牧産ほっき貝
●幌加内そば●虎杖浜たらこ●ほべつメロン
●十勝川温泉●大黒さんま●めむろごぼう
●めむろメークイン●十勝和牛●北海道味噌
●東川米●びらとりトマト●十勝若牛●いけだ牛
●釧路ししゃも●大雪山岳源水●北海道米
●よういてい男しゃく●よういていメロン

関東・甲信越

【茨城県】
●本場結城紬●笠間焼
【栃木県】
●本場結城紬●塩原温泉
●鬼怒川温泉●川治温泉
●中山かぼちゃ●益子焼
【群馬県】
●高崎だるま●上州牛●伊香保温泉●草津温泉●十石みそ●桐生織
●群馬の地酒●端恋高原キャベツ●四万温泉
【埼玉県】
●江戸木目込人形●岩槻人形●草加せんべい●武州正藍染●西川材
【千葉県】
●房州びわ●八街産落花生●市川のみし●市川の梨●富里スイカ●矢切ねぎ
●小湊温泉●安房菜の花●船橋にんじん●銚子つりきんめ●しろいの梨
●勝浦タンタンメン●船橋のなし
【東京都】
●稲城の梨●江戸甘味噌●江戸押絵羽子板●江戸衣裳着人形
●江戸木目込人形●江戸木版画●江戸甲冑●江戸指物●江戸切子
●江戸からかみ●東京銀器●東京染小紋●江戸更紗●東京無地染
●江戸小紋●東京手描友禅●かつば橋道具街
【神奈川県】
●小田原蒲鉾●小田原かまぼこ●松輪サバ●湯河原温泉●足柄茶
●横濱中華街●鎌倉彫●小田原ひもの
【新潟県】
●小千谷縮●小千谷絨●新潟清酒●安田瓦●新潟茶豆●越後上布
●加茂桐箆箆●村上木彫彫朱●越後湯沢温泉●亀田鱒
【山梨県】
●甲州手彫印章●やはいも●南部の木●甲州水晶貴石細工●大塚にんじん
【長野県】
●市田柿●蓼科温泉●信州鎌●飯山仏壇●木曾漆器●佐久鯉●上田紬
●信州サーモン

東海

【岐阜県】
●飛騨一位一刀彫●岐阜提灯●飛騨牛乳●山岡細寒天●下呂温泉
●飛騨ヨーグルト●美濃焼●飛騨高原牛乳●飛騨春鹿●飛騨アイスクリーム
●飛騨牛●郡上鮎●飛騨のさるぼぼ●美濃焼●みずなみ焼●飛騨の家具
●飛騨・高山の家具●美濃白川茶●関の刃物●飛騨の酒●長良川温泉
●美濃和紙●飛騨ほうりんそう●飛騨トマト●東濃梨●奥美濃カレー
●ひるがの高原だいこん
【静岡県】
●駿河湾桜えび●由比桜えび●焼津鯉節●丹那牛乳●川根茶●静岡茶
●駿河漆器●沼津ひもの●掛川茶●伊東温泉●伊豆長岡温泉●熱海温泉
●三ヶ日みかん●遠州灘天然とらふぐ●三島馬鈴薯●掛川牛●東山茶
●稲取キンメ●三方原馬鈴薯
【愛知県】
●三州瓦●常滑焼●有松鳴海絞●三河木綿●豊橋筆●一色産うなぎ
●名古屋仏壇●蒲郡みかん●三河仏壇●西尾の抹茶●祖父江ぎなん
●尾張七宝●豊橋うなぎ●瀬戸焼
【三重県】
●松阪肉●松阪牛●大内山牛乳●伊勢茶●伊勢たくあん●伊勢ひじき
●伊賀くみひも●伊勢うどん●みえ豚●伊勢赤どり●四日市萬古焼
●伊勢型紙●伊賀焼●美旗メロン●くわな鍋物

近畿

【滋賀県】
●雄琴温泉●近江牛●琵琶湖産鮎●信楽焼●近江の麻●近江ちぢみ●高島ちぢみ●モリヤマメロン●彦根仏壇
●甲賀のお茶
【京都府】
●間人ガニ●舞鶴かまぼこ●京人形●鴨川納涼床●京あられ●京おかき●京石工芸品●京仏壇●京都名産すぐき
●京都名産千枚漬●京つけもの●京漬物●北山丸太●京雛●京印章●京仏具●京甲冑●京房ひも●京くひも
●京表具●京小紋●京友禅●京仕立●西陣爪搔本綴織●西陣御召●西陣金襴●京鹿の子絞●京扇子●京うちわ
●京念珠●京味噌●宇治茶●京都肉●京鮎●京せんべい●京石塔●京都米●京の伝統野菜●京とうふ●詠京染
●京たご梨●京栗子●湯の花温泉●京焼●清水焼●京たたみ●北山杉●京の色紙短冊和本帖●京漆器
●京竹工芸●京家紋●京陶人形●万願寺甘とう●京和装小物●京七宝●京染●丹後とり貝●保津川下り
●舞鶴かに●京手描友禅●京ゆば●京装束●京神具
【大阪府】
●大阪欄間●和泉木綿●泉州タオル●大阪泉州桐箆箆●大阪仏壇●泉州水なす●堺刃物●堺打刃物●泉だこ
●堺線香●八尾ごぼう
【兵庫県】
●豊岡鮎●播州毛鉤●淡路瓦●豊岡杞柳細工●灘の酒●城崎温泉●加西ゴールデンベリーA●明石鯛
●龍野淡口醤油●三田肉●三田牛●須磨海苔●神戸ビーフ●神戸肉●神戸牛●播州そば●但馬牛
●但馬ビーフ●但馬牛●淡路ビーフ●有馬温泉●播州織●三木金物●東条産山田錦●播州針●淡路島たまねぎ
●出石皿そば●淡路島3年とらふぐ●丹波篠山黒豆●姫路おでん●丹波篠山牛●黒田庄和牛●神戸シューズ
【奈良県】
●高山茶釜●吉野材●吉野本葛●吉野葛●大和肉鶏●吉野杉●吉野桧●吉野割箸●吉野杉箸●平群の小菊
●結崎牛蒲
【和歌山県】
●有田みかん●紀州みなべの南高梅●紀州備長炭●和歌山ラーメン●しもつまかん●紀州うすい
●すさみケンケン鯉●紀州筆筥●紀州梅干●南紀白浜温泉●龍神材●紀州勝浦産生まぐろ●紀州ひろめ

四国

【徳島県】
●渭東ねぎ●なると金時●徳島唐木仏壇
●鳴門らっきょ●阿波しじら織
●阿波山田錦
【香川県】
●庵治石●ひけた鮎●伊吹いりこ
●讃岐牛
【愛媛県】
●西宇和みかん●真穴みかん●菊間瓦
●西条の七草●今治タオル●道後温泉
●宇和島じゃこ天●戸島ぶり●大島石
●中山栗
【高知県】
●土佐打刃物●四万十川の青のり
●四万十川の青さのり●徳谷トマト
●土佐あかうし

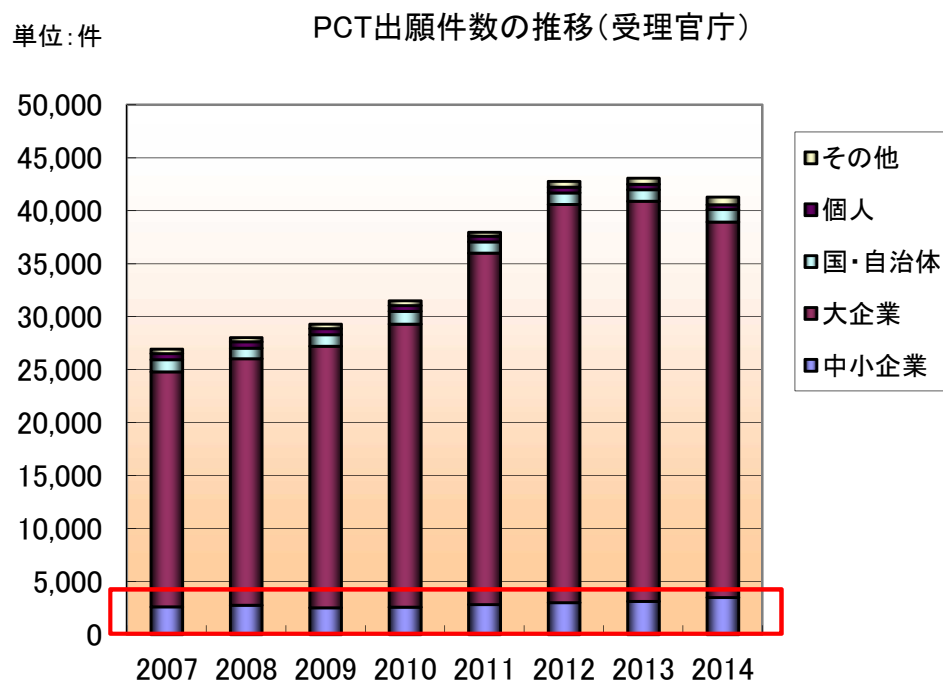
6. 国際出願関連

- (1) 中小企業の国際出願 ～PCT出願件数～
- (2) 中小企業の国際出願 ～PCT出願者数～
- (3) 中小企業の国際出願 ～都道府県別PCT出願～
- (4) 中小企業の国際出願 ～パリルート特許出願～
- (5) 中小企業の国際出願 ～パリルート特許出願②～
- (6) 中小企業の国際出願 ～パリルート意匠出願～
- (7) 中小企業の国際出願 ～商標マドプロ出願～
- (8) 中小企業の国際出願 ～都道府県別商標マドプロ出願～
- (9) 中小企業の国際出願 ～パリルート商標出願～

※日本から海外に出願される特許・商標のデータについては、1. に
記載

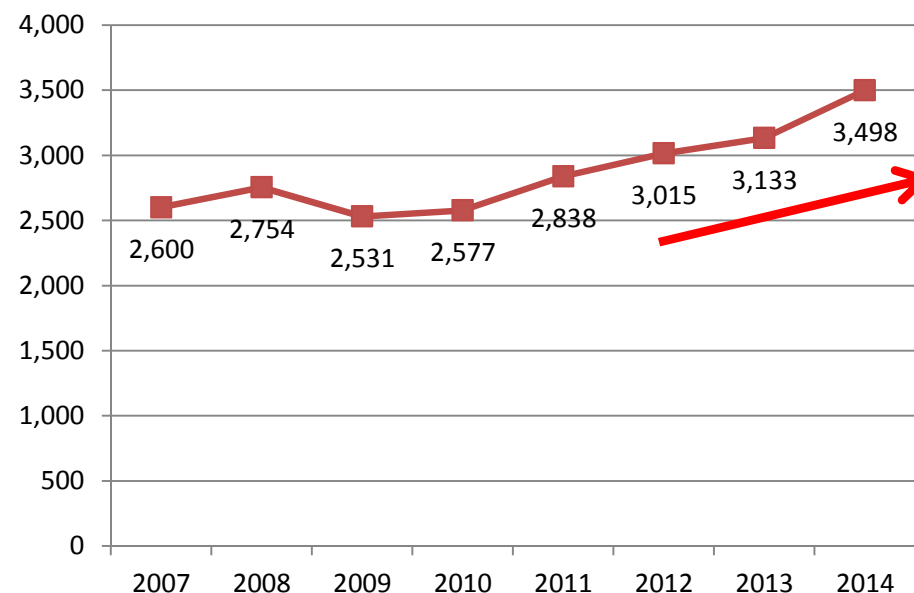
(1) 中小企業の国際出願～PCT出願件数～

- PCT出願件数（全体）は、近年急増しており、2010年に3万件を超え、2012年には4万件を超えたが、2014年は若干減少した。
- 2014年のPCT出願件数全体に占める中小企業の割合は、8.6%と少ないが、対前年比11.7%増となり、引き続き増加傾向にある（大企業は対前年比で6.1%減）。



総務部普及支援課調べ

中小企業のPCT出願推移(件数)

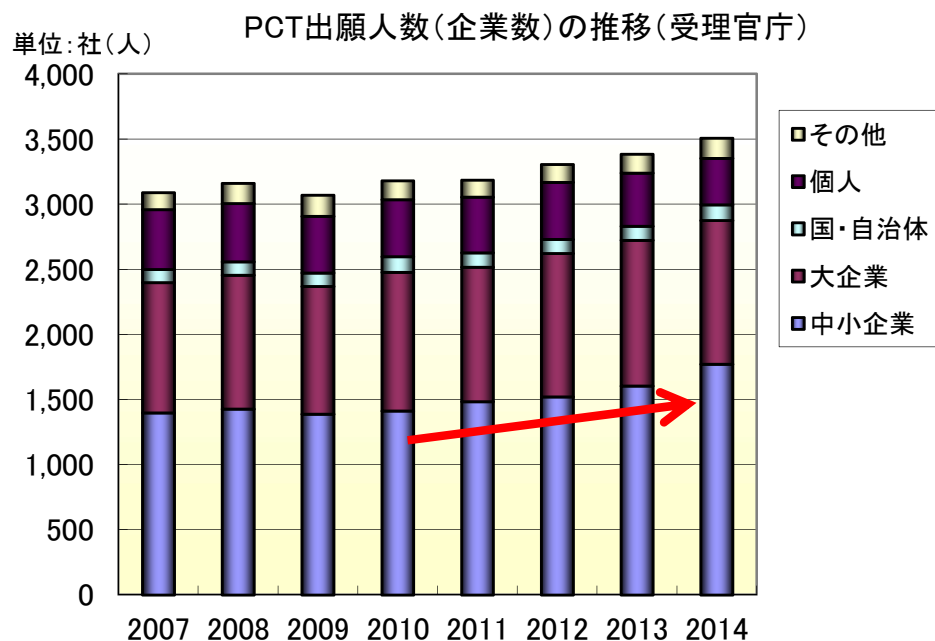


総務部普及支援課調べ

(2) 中小企業の国際出願～PCT出願者数～

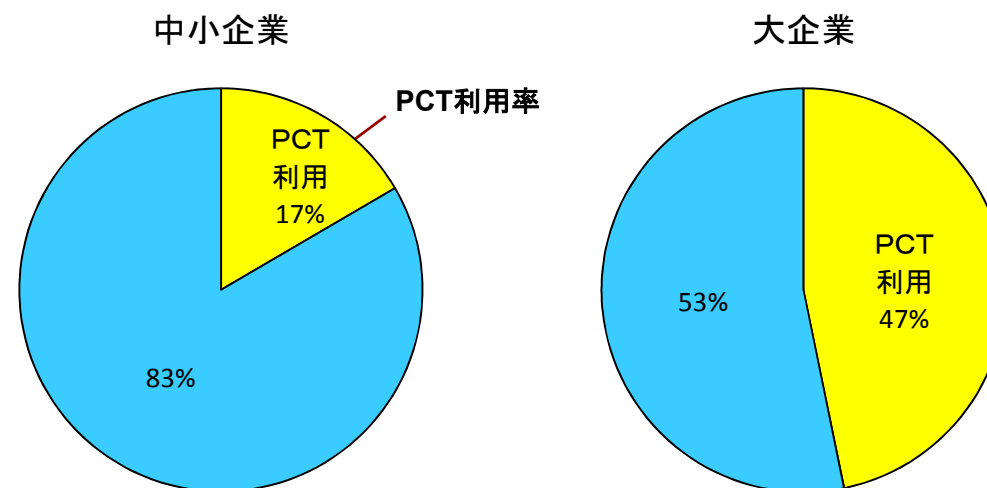
- PCT出願をした中小企業数をみると、近年増加傾向にあり、2014年是对前年度比10.4%増となり、PCT出願全体の50%を占めている。
- しかし、2014年に国内に特許出願した大企業のうち、47%の大企業がPCT出願も利用しているのに対し、中小企業においては、17%の利用に留まっている。

【出願者数】



総務部普及支援課調べ

【PCT出願利用率（2014年）】

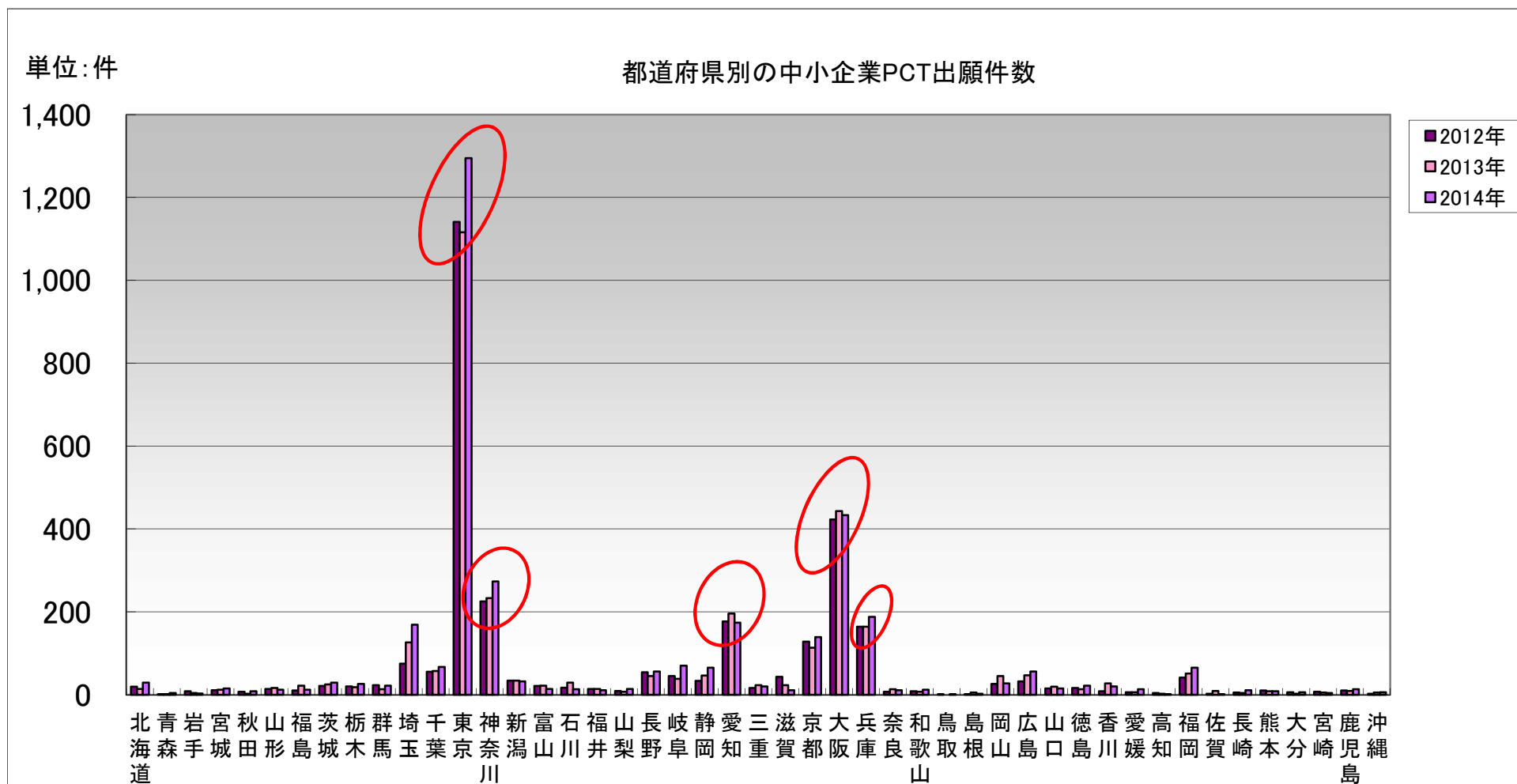


総務部普及支援課調べ

PCT出願利用率：日本国内に特許出願している企業数のうち、
PCT出願をしている企業数の割合
(PCT出願企業数／国内特許出願企業数)

(3) 中小企業の国際出願～都道府県別PCT出願～

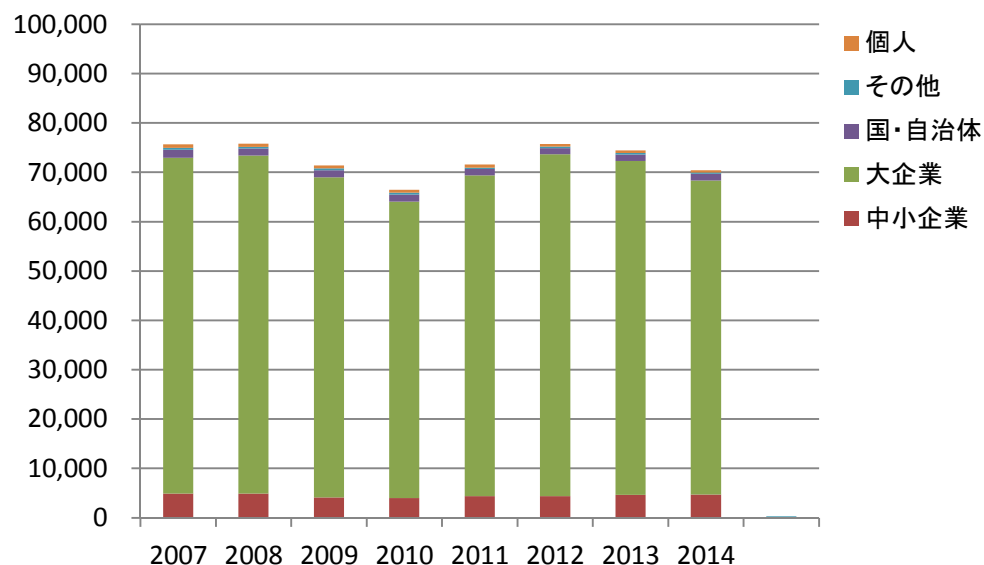
- 中小企業のPCT出願を都道府県別にみると、東京と大阪に出願が集中しており、全国の5割（2014年は49.4%）を占めている。
- 近年、大都市圏の出願が増加傾向にあり、中小企業全体の出願が増加している要因となっている。



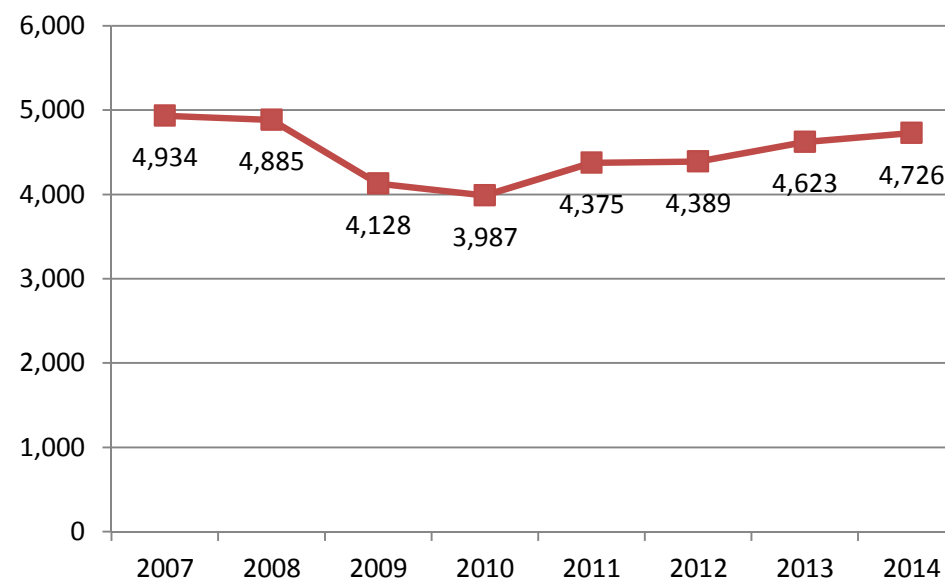
(4) 中小企業の国際出願～パリルート特許出願～

■ 中小企業による海外特許出願は近年増加傾向にあり、PCT出願の増加に加えて、優先権主張を伴う出願（パリルート出願）も増加傾向にある。

パリルート特許出願件数



中小企業のパリルート出願推移(件数)



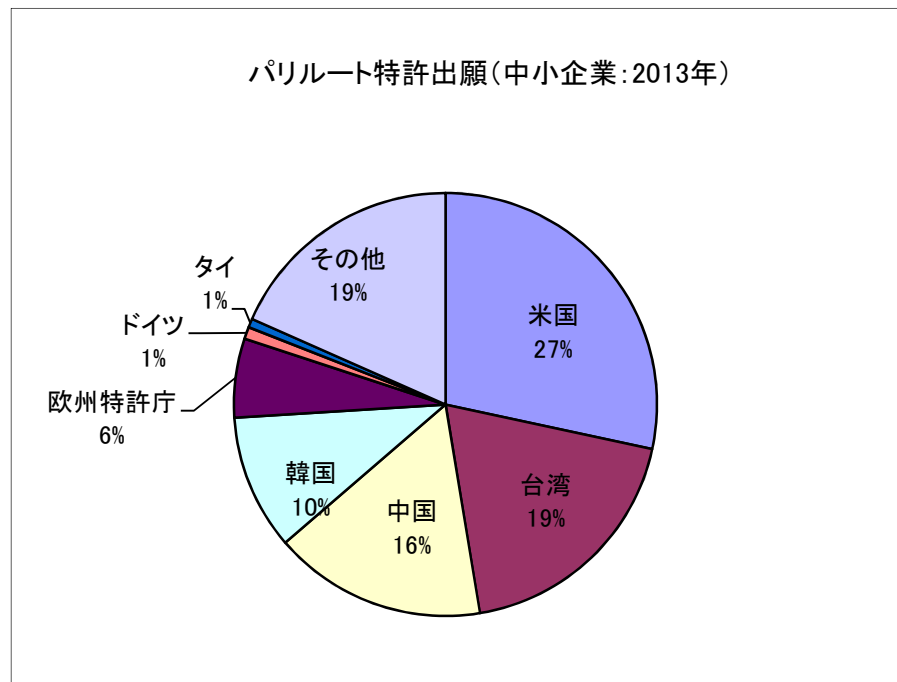
総務部普及支援課調べ（パリルート特許出願件数は、優先権証明書申請件数から推計）

(5) 中小企業の国際出願～パリルート特許出願②～

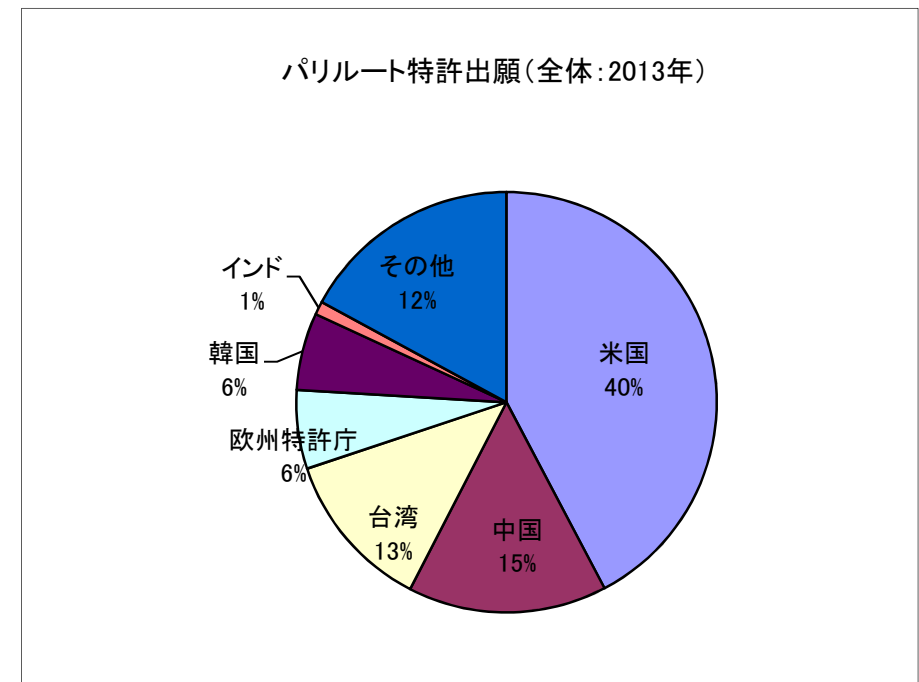
- 中小企業のパリルート特許出願は【右図】、40数ヶ国に及んでおり、中小企業においても国内出願から海外出願にシフトする傾向が強まっている（特許出願全体では約90ヶ国に出願）。
- 主な出願国は、米国、中国、台湾、韓国、欧州であり、この5ヶ国・地域で全体の80%を占めている（2013年の優先権証明書発行件数及び優先権データ交換件数から推計）。

【全体】

【中小企業】



総務部普及支援課調べ

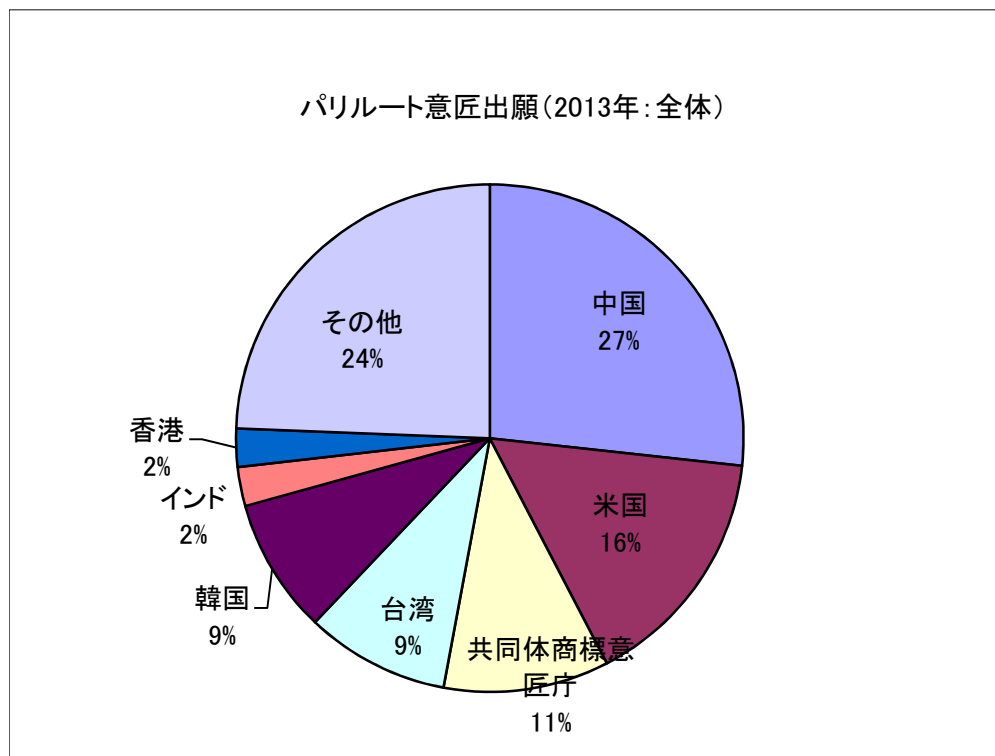


総務部普及支援課調べ

(6) 中小企業の国際出願～パリルート意匠出願～

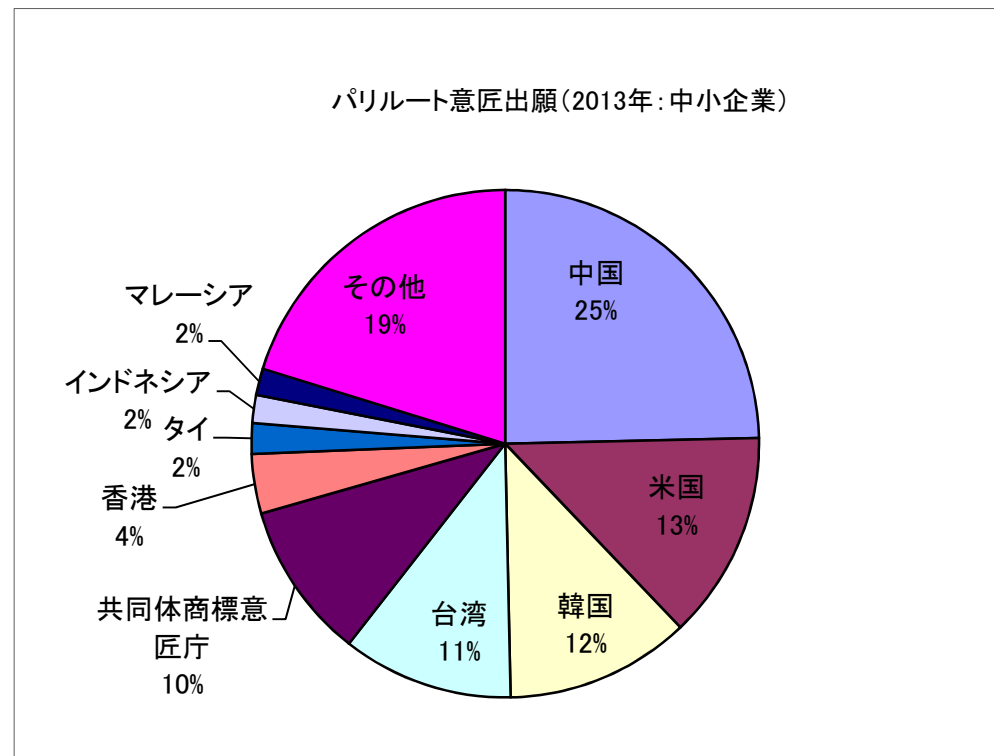
- 中小企業のパリルート意匠出願は【右図】、全体の16%と件数は少ないものの出願国は約60ヶ国に及んでおり、海外出願の傾向が高まっている（意匠出願全体では約80ヶ国に出願）。
- 主な出願国は、中国、米国、韓国、台湾、欧州であり、この5ヶ国・地域で全体の71%を占めている（2013の優先権証明書発行件数から推計）。

【全体】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】



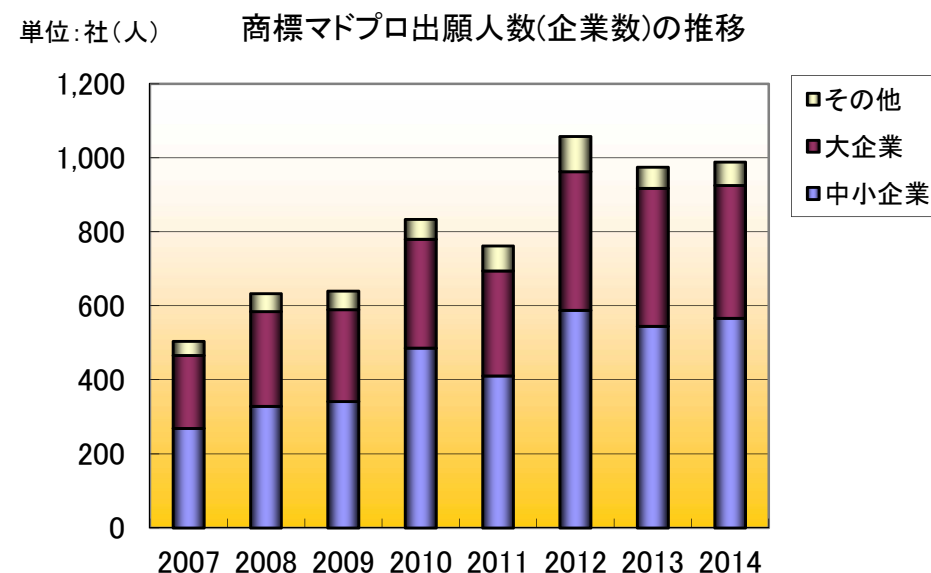
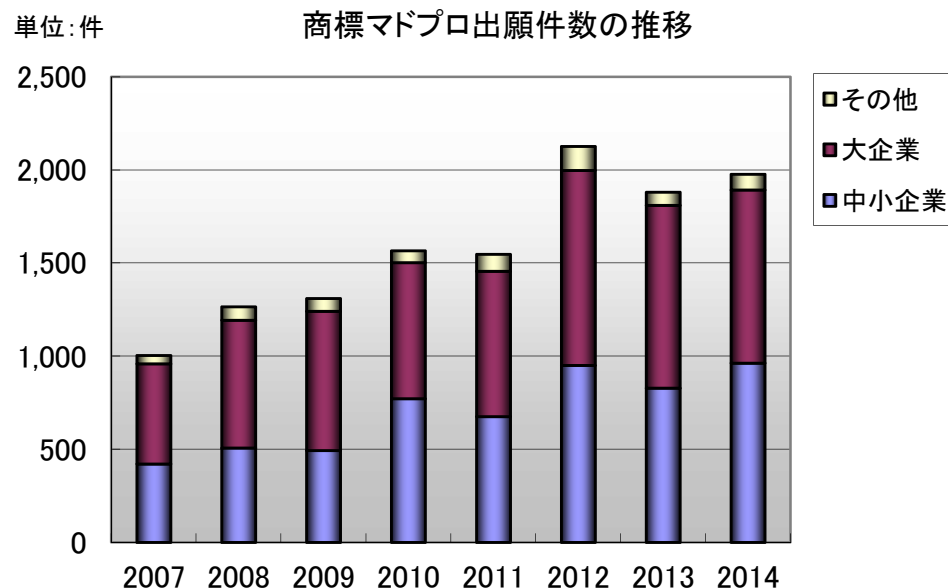
総務部普及支援課調べ

(7) 中小企業の国際出願～商標マドプロ出願～

- 商標マドプロ出願は、この数年、出願件数・出願企業数ともに増減を繰り返していたが、2014年は、出願件数全体で対前年比6.3%増、うち中小企業の出願は対前年比16.3%増。出願人数で見ると、全体では対前年比2.9%増、うち中小企業の出願企業数は対前年比4.0%増となった（大企業の出願件数は対前年比5.3%減、企業数は3.8%減）。
- 商標マドプロ出願に占める中小企業の割合は、出願件数ベースで48%、出願企業数ベースでは57%となっている。

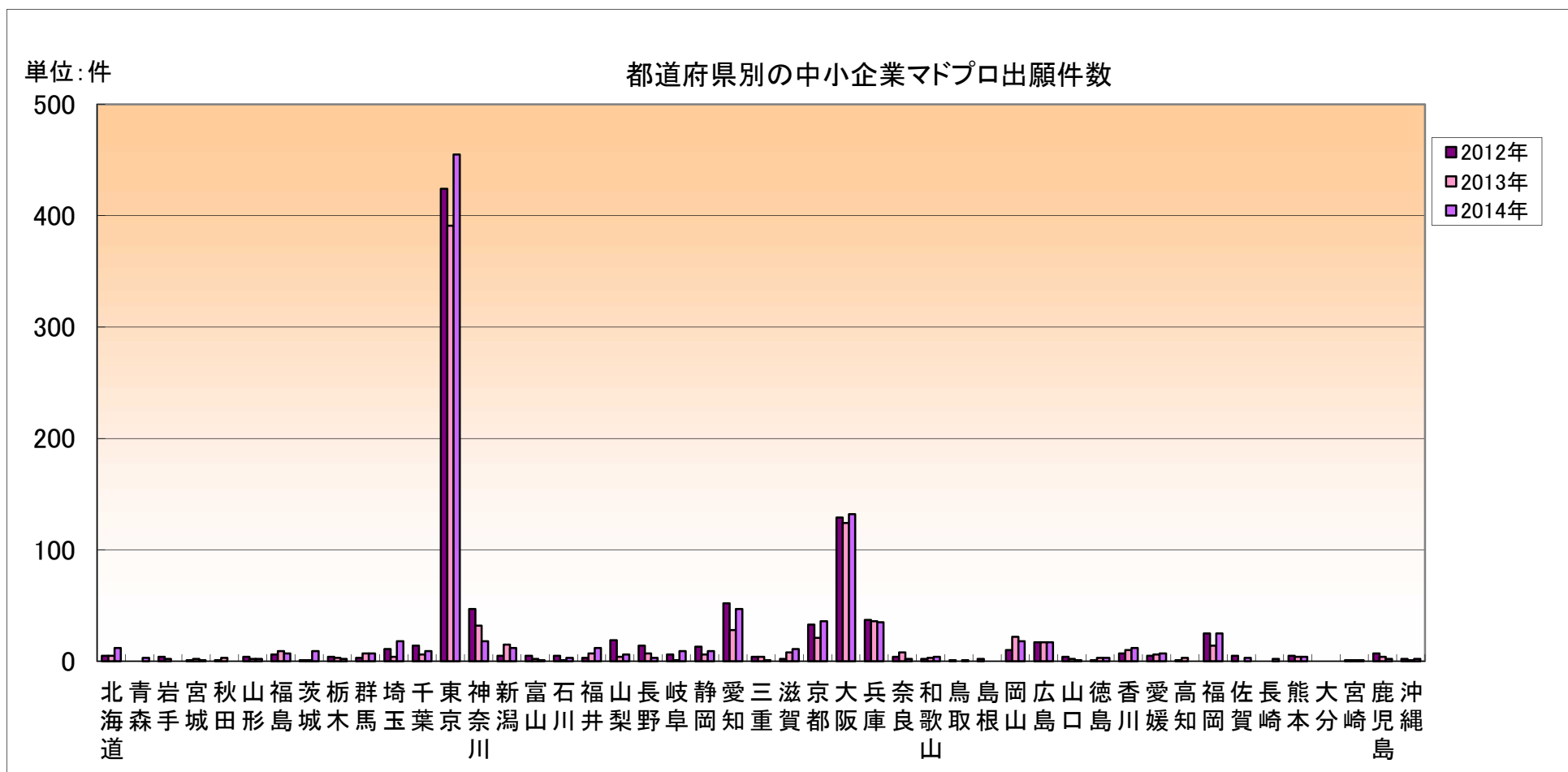
【出願件数】

【出願人数】



(8) 中小企業の国際出願～都道府県別商標マドプロ出願～

- 中小企業の商標マドプロ出願を都道府県別にみると、東京に出願が集中しており、全国の5割近くを占めている（2014年は47.2%）。
- そのため、東京の出願動向が中小企業全体の出願に影響を与えているが、近年は大阪の出願が増加傾向にあり、この2大都市で全国の6割（2014年は60.9%）となっている。



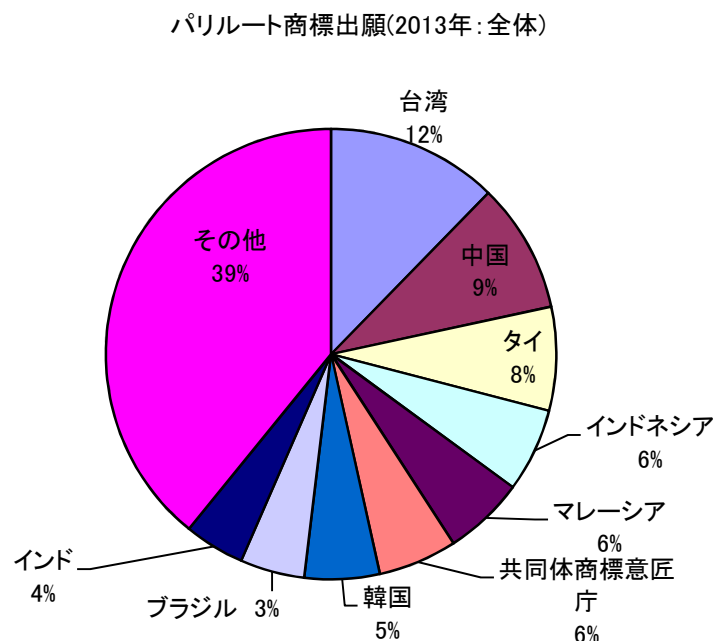
総務部普及支援課調べ

(9) 中小企業の国際出願～パリルート商標出願～

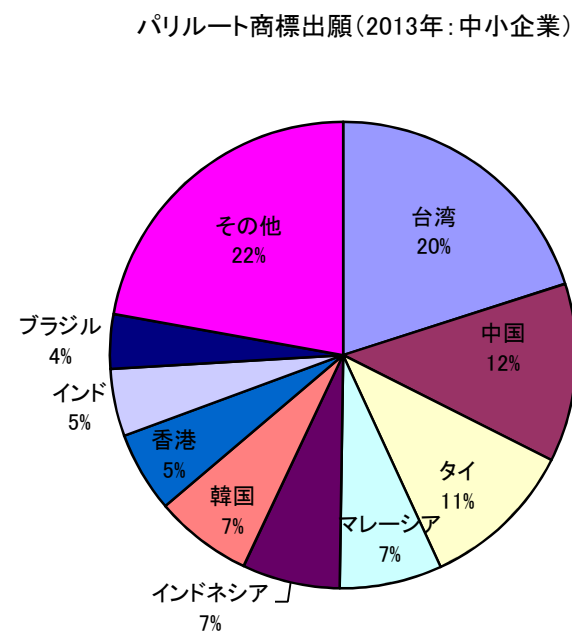
- 中小企業のパリルート商標出願は【右図】、50数ヶ国に及んでいる（商標出願全体では約150ヶ国に出願）。
- 主な出願国は、台湾、中国、インドネシア、タイ、韓国、インドであり、この6ヶ国・地域で全体の64%を占めている（2013年の優先権証明書発行件数から推計）。

【全体】

【中小企業】



総務部普及支援課調べ



総務部普及支援課調べ